SIMPURE N

FOMA® N600i 取扱説明書

SIMPURE N をお買い上げのお客様へ

■お客様へのご案内

・「SIMPURE N FOMA N600i 取扱説明書」において、以下のように読み替えていただきますようお願いいたします。

・本紙について、最新の情報はドコモのホームページに掲載しております。

・「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）
※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります

記載箇所 （ページ／項目）	現　状	変更後
P.20 ディスプレイの見かた（右下）	着信音量を「消去」に設定中	電話着信音量およびメール着信音量を最小に設定中
P.21 ディスプレイの見かた （おしらせ）	● FOMA 端末を折り畳んだ状態のとき、 を押して不在着信や新着メールの確認ができます。 ・不在着信／新着メールがあるときは、着信ランプが青色に点滅します。 ：	● FOMA 端末を折り畳んだ状態のとき、 を押して不在着信や新着メールの確認ができます。 ・不在着信／新着メールがあるときは、着信ランプが青色に点灯します。 ： （着信ランプの状態を「青色に点灯」に変更）
P.31 電話を受ける （おしらせ）	― （記載なし）	● キャッチホンの契約をしていない FOMA カードをお使いの場合、通話を保留できません。
P.51 通話に関する設定を行う （手順 2）	**オートリダイヤル** 電話がかからなかったとき、自動的にその電話番号にダイヤルし直すかどうかを設定します。	**オートリダイヤル** 電話がかからなかったとき（相手がお話中のとき）、自動的にその電話番号にダイヤルし直すかどうかを設定します。
P.111 スケジュール機能を利用する （おしらせ） P.112 めざまし時計を使う （おしらせ）	― （記載なし）	● スケジュール／めざまし時計のアラーム音量は「電話着信音量」の設定に従います。 ● 以下の画面を表示させたまま、アラーム設定時刻になった場合、設定したアラーム音ではなく「ピピッ」という音が鳴ります。 ・「スケジュール」画面 ・「スケジュール」登録メニュー ・「めざまし時計」一覧 ・「めざまし時計」登録メニュー
P.121 新しいサービスを登録する （手順６）	6 「YES」	（左記の記述を削除）

（裏面につづく）

記載箇所 （ページ／項目）	現　状	変更後
P.122 応答メッセージを登録する （手順４）	４　コマンドを入力→応答メッセージを入力→「YES」	４　コマンドを入力→応答メッセージを入力 （「YES」を削除）
P.132 国際ローミングサービスについて （左上）	● 国際ローミングサービスの利用に WORLD WING のお申し込みは不要です。	● 国際ローミングサービスの利用に WORLD WING のお申し込みは不要です。ただし 2005 年 8 月 31 日以前に FOMA サービスをご契約し、「WORLD WING」をお申し込みいただいていないお客様は、初回のみお申し込みが必要です。→ P.24
P.158 故障かな？と思ったら、まずチェック （現象） ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	（チェックする項目） ・発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 (参照ページ） 30	（左記の記述を削除）
P.159 故障かな？と思ったら、まずチェック （現象） 通話中、相手の声が聞こえにくい	（チェックする項目） ・「受話音量」を「レベル 0」に設定していませんか。音量を変更してください。 (参照ページ） 48	（左記の記述を削除）
P.169 索引 （タ行）	着信音選択	着信音設定

ネットワークサービスをご利用いただくために　FOMA SIMPURE N FOMA N600i

FOMA SIMPURE N でご利用可能なネットワークサービスは下記の通りとなります。ネットワークサービス内容および操作方法は、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

表の見方

- ネットワークサービスの操作方法は「画面のメニューに従って操作（端末画面からの操作)」、「ダイヤルでの操作」「サービスコードでの操作」の３通りの方法があります。
- サービスコードでの操作は「待受画面」から電話をかけるのと同じ手順ですべてのコードを入力し、☎ を押して発信してください。

	端末操作	ダイヤル	サービスコードでの操作／補足事項		
	メニュー操作	ダイヤル番号	サービスコード	端末に表示されるメッセージ	メッセージの意味
留守番電話サービス　（取扱説明書 118、119 ページ）					
留守番電話サービスの開始	○	①④①①☎	—		
留守番電話サービスの停止	○	①④①⓪ ☎	—		
新しい伝言メッセージの再生 / 保存 / 消去	○	①④①⑦ ☎→①	—		
留守番電話サービスの設定確認	○	—	—		
保存した伝言メッセージの再生 / 保存 / 消去	○	①④①⑥ ☎→①	—		
留守番電話センターへのお問い合わせ	○	—	—		
伝言メッセージ件数増加時の鳴動設定	○	—	—		
留守番電話応答メッセージの設定	—	①④①⑥☎→⑨→②	—		
発信者番号案内の設定	—	①④①⑥☎→⑨→③	—		
呼出時間の設定	○	①④①⑨ ☎	—		
応答メッセージの録音	—	①④①⑥☎→⑨→①	—		
応答メッセージの変更	—	①④①⑥☎→⑨→②	—		
留守番電話⇔不在案内の切替	—	①④①⑥☎→⑨→①	—		

	端末操作	ダイヤル	サービスコードでの操作／補足事項		
	メニュー操作	ダイヤル番号	サービスコード	端末に表示されるメッセージ	メッセージの意味
遠隔操作					
遠隔操作の開始	ー	①⑤⑨ ☎→①	⊛①②⑤(#)	125*7*1#	遠隔操作を開始
				125*7*3#	すでに開始に設定中
				125*0#	サービス未契約
遠隔操作の停止	ー	①⑤⑨ ☎→⓪	(#)①②⑤(#)	125*6*2#	遠隔操作を停止
				125*6*0#	すでに遠隔操作を停止に設定中
				125*0#	サービス未契約
キャッチホン　（取扱説明書 119、120 ページ）					
キャッチホンの開始	○	ー	ー		
キャッチホンの停止	○	ー	ー		
キャッチホンの設定確認	○	ー	ー		
転送でんわサービス　（取扱説明書 120、121 ページ）					
転送先電話番号の登録	○	①④②⑨ ☎→③	ー		
転送先電話番号の変更	○	①④②⑨ ☎→③	ー		
転送でんわサービスの開始	○	①④②① ☎	ー		
転送でんわサービスの停止	○	①④②⓪ ☎	ー		
転送でんわサービスの設定確認	○	①④②⑨ ☎→④	ー		
呼出時間の設定	ー	①④②⑨ ☎→①	ー		
転送ガイダンスあり設定	ー	①④②⑨ ☎→②	ー		
転送ガイダンスなし設定	ー	①④②⑨ ☎→②	ー		
留守番電話接続	○	①④②① ☎	ー		

	端末操作	ダイヤル	サービスコードでの操作／補足事項		
	メニュー操作	ダイヤル番号	サービスコード	端末に表示されるメッセージ	メッセージの意味
遠隔操作					
遠隔操作の開始	—	①⑤⑨ ☎→①	(*)①②⑤(#)	125＊7＊1#	遠隔操作を開始
				125＊7＊3#	すでに開始に設定中
				125＊0#	サービス未契約
遠隔操作の停止	—	①⑤⑨ ☎→⓪	(#)①②⑤(#)	125＊6＊2#	遠隔操作を停止
				125＊6＊0#	すでに遠隔操作を停止に設定中
				125＊0#	サービス未契約
通話中着信設定					
通話中着信設定の開始	—	—	(*)①④⑥(#)	146＊7#	サービスを開始
				146＊0#	サービス未契約
通話中着信設定の停止	—	—	(#)①④⑥(#)	146＊6#	サービスを停止
				146＊0#	サービス未契約
通話中着信設定の設定確認	—	—	(*)(#)①④⑥(#)	146＊7#	開始に設定中
				146＊6#	停止に設定中
				125＊0#	サービス未契約
デュアルネットワークサービス					
ネットワークの切替	—	①⑤④⓪ ☎→ A	(*)①④⑦(*)A(#)	147＊7＊3#	すでに開始に設定中
				147＊7＊1#	ネットワーク切替を開始
				操作内容をご確認ください	ネットワーク暗証番号間違い
				147＊0#	サービス未契約
			サービスコード / ダイヤルの A には 4 桁のネットワーク暗証番号を入力します。		
デュアルネットワークの設定確認	—	①⑤④⑥ ☎	(*)(#)①④⑦(#)	147＊7#	FOMA を利用中
				147＊6#	MOVA を利用中
				147＊0#	サービス未契約
英語ガイダンスサービス					
発信時の設定	—	①④⑤⑧ ☎→①	(*)①④⑤(*)B(*)(#)	145＊7＊B＊C#	設定完了
			サービスコードの B にはお客様自身のガイダンス設定として 0：日本語、1：英語のいずれかを入力します。		

	端末操作	ダイヤル	サービスコードでの操作／補足事項		
	メニュー操作	ダイヤル番号	サービスコード	端末に表示されるメッセージ	メッセージの意味
着信時の設定	—	①④⑤⑧ ☎→②	⊛①④⑤⊛⊛C#⃝	145＊7＊B＊C#	設定完了
			サービスコードの C にはお客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス設定として 0：日本語、1：日本語＋英語、2：英語＋日本語のいずれかを入力します。 設定が発信・着信のどちらかであっても、応答は発着信両方の設定内容を表示します。		
発信時 / 着信時両方の設定	—	—	⊛①④⑤⊛B⊛C#⃝	145＊7＊B＊C#	設定完了
英語ガイダンスの設定確認	—	—	⊛#⃝①④⑤#⃝	＊145＊B＊C#	B と C の番号で設定内容を確認
発信者番号通知サービス　（取扱説明書 28 ページ）					
発信者番号通知の事前設定	○	—	—		
発信者番号非通知の事前設定	○	—	—		
発信者番号通知を通話毎に設定	○	①⑧⑥ D ☎	D には通知先電話番号を入力します。		
発信者番号非通知を通話毎に設定	○	①⑧④ D ☎	D には通話先電話番号を入力します。		
迷惑電話ストップサービス（取扱説明書 121 ページ）					
電話番号指定拒否登録	—	①④④ ☎→③	⊛①②②⊛①⊛E#⃝	122＊1＊7#	設定完了
			サービスコードの E には拒否登録する電話番号が入ります。		
迷惑電話着信拒否登録	○	①④④ ☎→②	—		
登録リストの 1 件削除（最古登録番号削除）	—	—	#⃝①②②⊛③#⃝	最も古い登録を削除しました	
				迷惑電話ストップサービス未契約です	
登録リストの 1 件削除（最新登録番号削除）	○	①④④ ☎→④	—		
登録リストの全件削除（ストップ登録の全件削除）	○	①④④ ☎→⑨	—		

	端末操作	ダイヤル	サービスコードでの操作／補足事項		
	メニュー操作	ダイヤル番号	サービスコード	端末に表示されるメッセージ	メッセージの意味
番号通知お願いサービス					
番号通知お願いサービスの開始	―	①④⑧ ☎→①	(*)①④⑨(#)	149＊7＊1#	サービスを開始
				149＊7＊3#	すでに開始に設定中
番号通知お願いサービスの停止	―	①④⑧ ☎→⓪	(#)①④⑨(#)	149＊6#	サービスを停止
				149＊6#	すでに停止に設定中
番号通知お願いサービスの設定確認	―	①④⑧ ☎	(*)(#)①④⑨(#)	149＊7#	開始に設定中
				149＊6#	停止に設定中
公共モード（電源 OFF 時）（取扱説明書 33 ページ）					
公共モードの開始	―	(*)②⑤②⑤① ☎	(*)①③⑨(*)①(*)①(#)	139＊1＊7＊3＊1#	すでに開始に設定中
				139＊1＊7＊1＊1#	サービスを開始
公共モードの停止	―	(*)②⑤②⑤⓪ ☎	(#)①③⑨(*)①(#)	139＊1＊6＊0＊0#	すでに停止に設定中
				139＊1＊6＊2＊1#	サービスを停止
公共モードの設定確認	―	(*)②⑤②⑤⑨ ☎	(*)(#)①③⑨(*)①(#)	139＊1＊7＊1#	サービス設定中
				139＊1＊6＊0#	サービス停止中

i モードサービス /SMS をご利用いただくために

FOMA SIMPURE N
FOMA N600i

FOMA SIMPURE N でご利用可能な i モードサービス /SMS は下記の通りとなります。
サービス内容および操作方法は、『i モード操作ガイド』または『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

対応サービス	対応	対応サービス	対応
i モード			
サイト接続	○	3D サウンド	×
インターネット接続	○	i モーション	○ *
アクセス制限機能	○	着モーション／着うた®	×
Phone to ／ AV Phone to ／ Mail to ／ Web to	○	V ライブ	×
Bookmark	○	キャラ電	×
画面メモ	○	SSL 通信	○
i チャネル	×	赤外線通信機能	×
トクだねニュース便	○	赤外線リモコン機能	×
ドコモコイン	○	FOMA カード動作制限機能	○
Flash（フラッシュ）	×	メッセージ R（リクエスト）	○
PDF 対応ビューア	×	メッセージ F（フリー）	○
i モードメール			
メール送信／メール受信	○	デコメール	×
メール選択受信	○	チャットメール	×
メールの返信	○	Phone to/ AV Phone to/ Mail to/Web to	○
メールの転送	○		
センター問い合わせ	○	メールアドレス設定	○
i ショット送信／ i ショットメール受信	○	メール受信／拒否設定	○
i モーションメールの送信	○	メールサイズ制限	○
i モーションメールの受信	○	メール機能停止／再開	○
i アプリ			
i アプリ	○	プリインストールアプリ　G ガイド番組表リモコン	×
i アプリ DX	×		
おサイフケータイ（i モード FeliCa）			
おサイフケータイ	×	プリインストールアプリ　電子マネー「Edy（エディ）」	×

対応サービス	対応	対応サービス	対応
海外利用			
国際ローミング	○	国際 MMS	○
SMS			
SMS 送信／ SMS 受信	○	SMS センター (SMSC) 設定	○
メッセージ有効期限設定	○	送達通知 (ステータスレポート) の有無設定	○

*: ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。また、ASF 方式コンテンツのｉモーションは再生できません。ｉモーションによっては、データを取得しても正しく動作しない場合があります。

※：「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N600i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMAはあなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はTLS ／ SSL をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるTLS／SSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しTLS／SSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（P.24）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（P.27、28）
3. 本体のボタンなど役割を確認しましょう（P.18）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（P.20）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（P.22）
6. 電話のかけかた受けかたを確認しましょう（P.30）

- この『FOMA N600i取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N600i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

本書の記載について（クイックマニュアル→P.172）

本書では次のような記載をしています。
海外で利用するときに役に立つ情報や注意事項などは「海外利用」の章にまとめて記載しています。

海外で利用するときには「海外利用」の章をご活用ください。→P.131

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」（P.50）で設定した画像を表示しない状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げのときの設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧（P.142）をご覧ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

クイックマニュアルでは、基本的な操作について記載しています。また、クイックマニュアル（海外利用編）では、海外利用時に必要な設定や基本的な操作方法を記載しております。

目　次

ｉアプリ 97

データBOX 101

その他の機能 109

ネットワークサービス 117

データ通信 123

文字入力 127

海外利用 131

付録 141

索引／クイックマニュアル 167

安全上のご注意 必ずお守りください

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を示していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	説明	記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水で濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パックN12　FOMA ACアダプタ01　FOMA海外兼用ACアダプタ01
その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

濡らさないでください。

水やペットの尿など水が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

2.FOMA端末の取扱いについて

警告

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末は折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用しますと、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

ハンズフリーを「ON」に設定してスピーカで通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

FOMA端末を開くときに、ヒンジ部（可動部）の周辺に指を挟まないようにご注意ください。
けがなどの原因となります。

3.電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4.アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。

FOMA ACアダプタ01：
　ACアダプタ：AC100V

FOMA海外兼用ACアダプタ01：
　AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災の原因となります。

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタは、ふろ場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

指示

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

⚠警告

禁止	**アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。** 感電、発熱、火災の原因となります。
電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 感電、火災、故障の原因となります。
電源プラグを抜く	**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。** 感電、発煙、火災の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。** 落雷、感電の原因となります。
禁止	**充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。** FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。** 感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く	**お手入れの際は、コンセントやソケットからプラグを抜いてから、行ってください。** 感電の原因となります。
禁止	**アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。** 感電、火災の原因となります。
禁止	**濡れた電池パックを充電しないでください。** 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。
指示	**アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。** コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

5.FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示	**FOMA カード（IC 部分）を取り外す際にご注意ください。** 手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取扱いについて

■　本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

水をかけないでください。

- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

- お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、染みになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

極端な高温、低温は避けてください。

- 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

使用中や充電中にFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

- 故障の原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。

- 故障、破損の原因となります。

カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

電池パックは消耗品です。

- 使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。

・ 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

次のような場所では、充電しないでください。

・ 周囲の温度が5℃以下または35℃以上になるところ
・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
・ 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

・ 車のバッテリーを消耗させる原因となります。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

・ 故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

使用中、充電中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・ 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

極端な高温・低温は避けてください。

他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

・ データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

・ 故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

・ 故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA 」「mova」「iモード」「iアプリ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「i モーション」「メッセージF」「mopera」「mopera U」「iモーションメール」「i ショット」「sigmarion」「musea」「ショートメール」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。
- NetFrontおよび NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標です。
- JV-Lite2および JV-Lite®2 は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

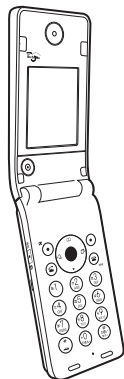
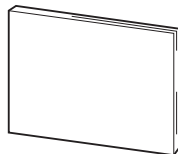
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
  5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
  5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
  5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.2 for FOMA Internet Editionを搭載しています。
  NetFront v3.2は、株式会社ACCESSの製品です。

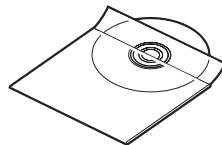
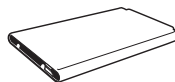
Windowsの表記について

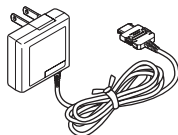
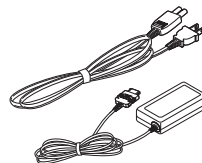
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
- 本書では、Windows® Millennium EditionをWindows Me と記載しています。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

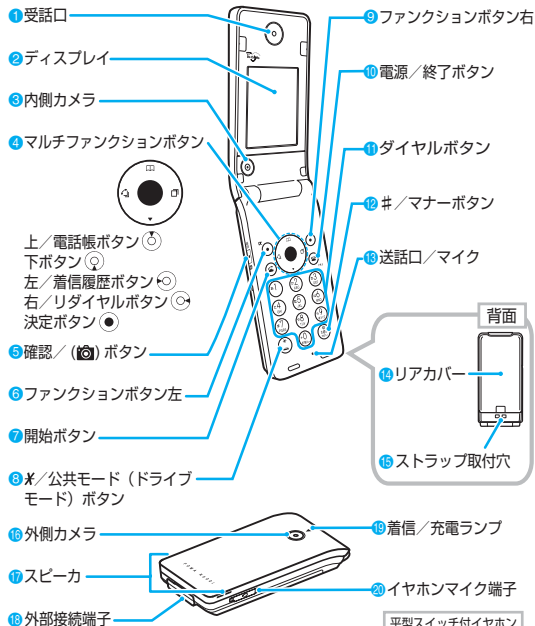
FOMA N600i
（保証書、リアカバー N11含む）

FOMA N600i取扱説明書（本書）

※P.173にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA N600i用 CD-ROM

電池パック N12
（取扱説明書付き）

主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01（保証書、取扱説明書付き）

FOMA海外兼用ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.157

ご使用の前に

各部の主な機能と名称

本書では、各ボタンを以下のようなアイコンで表しています。

サイズ (mm)※1	高さ 92× 幅 44× 厚さ 19.2
質量 (g)※2	約 95

※1：高さ、厚さは折り畳んでいるときのものです。
※2：電池パックを装着しているときのものです。

①受話口
- 相手の声がここから聞こえます。

②ディスプレイ
- ディスプレイの見かた→P.20

③内側カメラ
- テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信します。→P.38
- 自分の静止画や動画を撮影します。→P.61、63

④マルチファンクションボタン

上／電話帳ボタン
- カーソルを上方向へ移動させます。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、英字、数字に変換します。→P.128
- 1秒以上押して受話音量画面を表示します。で受話音量を調節できます。
- 電話帳メニュー画面を表示します。→P.41
- 表示内容を上方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。

下ボタン
- カーソルを下方向へ移動させます。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、英字、数字に変換します。→P.128
- 1秒以上押して受話音量画面を表示します。で受話音量を調節できます。
- 表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。

左／着信履歴ボタン
- カーソルを左方向へ移動させます。
- 着信履歴を表示します。→P.36
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

右／リダイヤルボタン
- カーソルを右方向へ移動させます。
- リダイヤルを表示します。→P.35
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

決定ボタン
- 操作を決定します。
- 画面下中央のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.21
- ｉモードメニューを表示します。→P.65

⑤確認／（📷）ボタン（本書ではサイドボタンと呼びます。）
- FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メール確認します。→P.21
- FOMA端末を開いているとき、1秒以上押してカメラを起動します。→P.59

⑥ファンクションボタン左 ◉［左］
- 画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.21
- 1秒以上押してｉアプリメニューを表示します。→P.97

⑦開始ボタン
- 音声電話をかけます。→P.30
- 音声電話を受けます。→P.31
- テレビ電話を受けます。→P.39

⑧✗／公共モード（ドライブモード）ボタン *
- 「✗」や「http://」などの文字列を入力します。
- 待受画面表示中に1秒以上押して公共モードに設定します。→P.31
- 電話番号入力中に1秒以上押してP（ポーズ）を入力します。
  ※：電話番号の先頭に P（ポーズ）を入力したり、連続して入力することはできません。

⑨ファンクションボタン右 ◉［右］
- 画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.21
- メールメニューを表示します。→P.77
- 1秒以上押してｉモード問い合わせを行います。→P.75、83

⑩電源／終了ボタン
- 1秒以上押して電源を入れます。→P.27
- 2秒以上押して電源を切ります。→P.27
- 通話を終了します。

⑪ダイヤルボタン 0 ～ 9
- 電話番号をダイヤルします。→P.30、38
- 文字や数字を入力します。→P.127
- 0 を1秒以上押して「+」を入力します。→P.136、138
- 1 を1秒以上押して留守番電話画面を表示します。→P.118

⑫#／マナーボタン #
- 「#」や記号を入力します。
- 1秒以上押してマナーモードに設定します。→P.49

⑬送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
- カメラで動画を撮影するときにマイクになります。

⑭リアカバー

⑮ストラップ取付穴

⑯外側カメラ
- テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信します。→P.38
- 風景などの静止画や動画を撮影します。→P.61、63

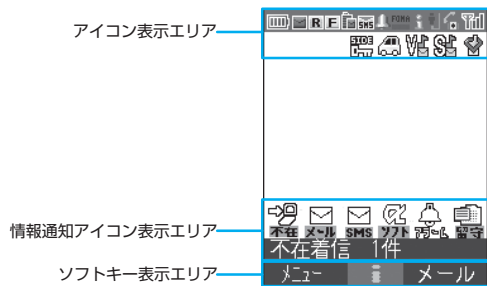
⑰スピーカ
- 着信音やハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

⑱外部接続端子
- 各種オプション類を接続するときに使用する端子です。

⑲着信／充電ランプ
- 音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージR（リクエスト）、メッセージF（フリー）を受信したときに点滅します。
- 充電中は赤色に点灯します。

⑳イヤホンマイク端子
- 別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクなどを差し込んでご利用になれます。→P.115

ディスプレイの見かた

ディスプレイには、以下のような項目が表示されます。

アイコン表示エリアに表示されるアイコン

アイコン	アイコンの内容	参照ページ
	電池が十分残っているとき	－
	電池がやや少なくなっているとき	－
	電池が少なくなっているとき	－
	電池がかなり少なくなっているとき	－
	電池がほとんどないとき ※：電池の残量は目安としてご確認ください。	－
（灰色）	未読メールあり	82
（赤色）	受信BOX満杯	82
R（オレンジ色）	未読メッセージR（リクエスト）あり	73
R（赤色）	メッセージR（リクエスト）満杯	75
F（黄緑色）	未読メッセージF（フリー）あり	73
F（赤色）	メッセージF（フリー）満杯	75
（灰色）	ｉモードセンターにメールあり	83
（赤色）	ｉモードセンターのメール満杯	83
（オレンジ色）	ｉモードセンターにメッセージR（リクエスト）あり	75
（赤色）	ｉモードセンターのメッセージR（リクエスト）満杯	75
（黄緑色）	ｉモードセンターにメッセージF（フリー）あり	75
（赤色）	ｉモードセンターのメッセージF（フリー）満杯	75
（オレンジ色）	未読のSMS（ショートメッセージ）あり	93
（赤色）	SMS（ショートメッセージ）満杯	93
	FOMAカードのSMS（ショートメッセージ）満杯	－
	スケジュール、めざまし時計を設定中	111、112
	FOMAネットワーク接続中	132、135
	3Gネットワーク接続中	132、135
	GSM／GPRSネットワーク接続中	132、135
	ｉモード中	－
（赤色と緑色）	ｉモード通信中	－
	パケット通信中	－
	パケット通信中（発信）	－
（水色）	パケット通信中（データ送受信中）	－
	USBケーブル接続中	－
	音声電話中	30
	テレビ電話中	38
	電波の受信レベル	27
	サービスエリア外や電波の届かないところにいるときに表示	27
	サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中	53
	公共モード設定中	31
	バイブレータ設定中	48
	着信音量を「消去」に設定中	48
	マナーモード設定中	49

情報通知アイコン表示エリアに表示されるアイコン

情報通知アイコン表示エリアには、各機能の受信／起動状態を示すアイコンが表示されます。を押すと情報通知アイコンにカーソルが移動します。情報通知アイコンが複数表示されている場合は、で選択することができます。を押すと各機能が起動します。
各アイコンの通知内容と選択後の表示／起動内容は以下のようになります。

アイコン	通知内容	選択後の表示／起動内容	参照ページ
不在	不在着信があったことを通知します。	不在着信履歴が表示されます。	36
メール	新着のメールを受信したことを通知します。	最新のメールが保存されている受信BOXフォルダ画面が表示されます。	86
SMS	新着のSMS(ショートメッセージ)を受信したことを通知します。	最新のSMS(ショートメッセージ)が保存されている未読SMSフォルダの一覧画面が表示されます。	94
ソフト	ｉアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動失敗情報画面が表示されます。	100
アラーム	スケジュール、めざまし時計のアラームが鳴らなかったことを通知します。また、アラームに応答できなかったときにもこのアイコンが表示されます。	鳴らなかったアラームや応答しなかったアラームの一覧画面が表示されます。	111 112
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが保存されていることを通知します。	留守番電話サービスを起動します。	118

おしらせ

- 情報通知アイコンの選択中は、時計が表示されません。
- FOMA 端末を折り畳んだ状態のとき、を押して不在着信や新着メールの確認ができます。
  - ・不在着信／新着メールがあるときは、着信ランプが青色に点滅します。
  - ・不在着信／新着メールがないときは、着信ランプが緑色に点滅します。
  - ・バイブレータを「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

ソフトキー表示エリア

表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

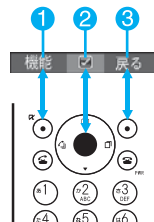
■ 1のソフトキーを実行する場合

[左]を押します。
[機能] が表示されているときに押すと、機能メニューが表示されます。

■ 2のソフトキーを実行する場合

を押します。
[ ] などが表示されているときに押すと、操作を決定します。

■ 3のソフトキーを実行する場合

[右]を押します。

メニュー機能について

FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりするには、各機能をメインメニューから呼び出して表示します。メインメニューを表示するには待受画面で◉[左]を押します。
メニューは以下のような構成になっています。

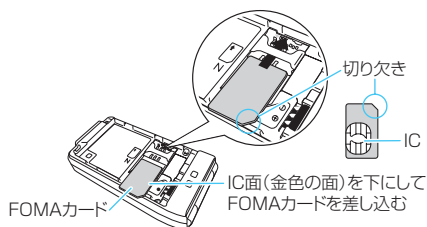
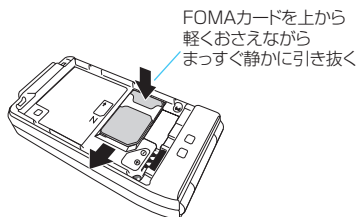
メニュー	機能	参照ページ
メール	送受信メールの閲覧や新規作成、送信ができます。 ・受信BOX　・ｉモード問い合わせ ・送信BOX　・メール選択受信 ・保存BOX　・SMS ・新規メール作成　・メール設定	77
ｉモード	サイト接続などのｉモードサービスが利用できます。 ・iMenu　・Internet ・Bookmark　・メッセージ ・画面メモ　・ｉモード問い合わせ ・ラストURL　・ｉモード設定	65
ｉアプリ	いろいろなソフトを呼び出して利用できます。 ・ソフト一覧　・αバイブレータ ・α照明設定　・自動起動失敗情報	97
各種設定	FOMA端末に関する各機能を設定します。 ・着信／音量　・ロック／セキュリティ ・時計　・アプリケーション通信設定 ・マナーモード ・ディスプレイ　・テレビ電話 ・通話　・その他	47
データBOX	画像や動画、音楽などを楽しめます。 ・マイピクチャ　・メロディ ・ｉモーション　・保存容量確認	101
カメラ	静止画、動画を撮影できます。 ・フォトモード　・ムービーモード	59
サービス	ネットワークサービスの操作や設定を行います。 ・サービス問い合わせ　・転送でんわ ・発信者番号通知　・迷惑電話ストップ ・留守番電話　・追加サービス ・キャッチホン　・サービスダイヤル	117
電話帳	電話帳の登録、検索、設定などを行います。 ・電話帳登録　・グループ設定 ・電話帳検索　・通話履歴 ・指定着信拒否設定　・自局番号表示 ・電話帳登録件数	41
ツール	スケジュールや電卓など、便利な機能を利用できます。 ・スケジュール　・テキストメモ ・めざまし時計　・定型文 ・電卓　・ユーザ辞書	109

FOMAカードを使う

FOMAカードとはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

● FOMA カードの取り付け／取り外しは、FOMA 端末の電源を切って電池パックを外し、FOMA端末を閉じた状態で行ってください。

● 取り付けかた

● 取り外しかた

おしらせ

● 無理に取り付けようとしたり、無理に取り外そうとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

● FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

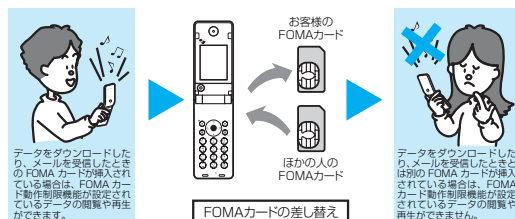
PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させる4～8桁の暗証番号です。

PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です（本FOMA端末ではPIN2コードを利用する機能はありません）。

● 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。

FOMAカードの動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。iモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。

FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「」が表示されます。

FOMAカードの機能差分について

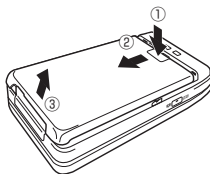
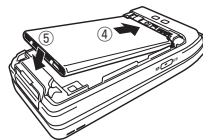
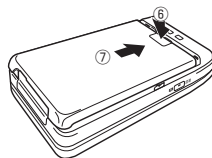
FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末でFOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

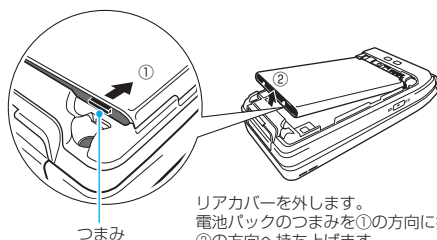
機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMA方式またはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。
※：2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。
※：一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

● 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
● 電池パックの取り付け／取り外しの際は、FOMA端末を手で持った状態で行うことをおすすめします。

電池パックの取り付けかた

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外します。

電池パックの注意書き面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の金属端子が合うように④の方向に取り付けてから、⑤の方向へはめ込みます。

リアカバーを約3mmあけた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑥の方向へ押し付けながら⑦の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

電池パックの取り外しかた

リアカバーを外します。
電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げます。

おしらせ

● 無理に付けようとするとFOMA端末側の充電端子が壊れることがあります。

電池の使用時間の目安について

電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。

ネットワーク※	連続通話時間	連続待受時間
FOMA／3G	音声電話　：約140分 テレビ電話：約90分	静止時：約350時間 移動時：約250時間
GPRS／GSM	音声電話　：約170分	約250時間

※：本FOMA端末でご利用できるネットワークについてはP.132を、利用できる通信サービスの違いについてはP.135を参照してください。

● 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
● 連続待受時間とは FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリを起動すると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
● 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
● 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
● データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラを使用したときも、通話（通信）・待受時間は短くなります。

電池パックの寿命について

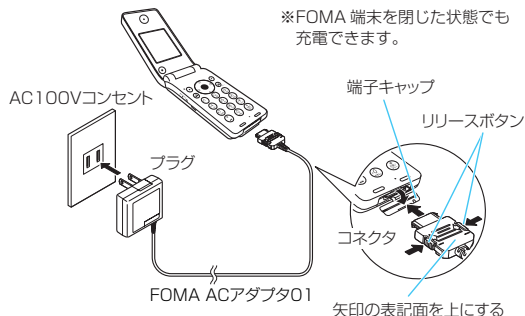
FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パックN12をご利用ください。

● 電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
● 1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
● 電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

充電する

FOMA端末を充電する

- 充電時間の目安は約180分です。
- ここではFOMA ACアダプタ01を使った充電方法を例に説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 ACアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

充電がはじまります。

・充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。電源が入っている場合、充電中は「▥」が点滅し、充電が終了すると、「▥」が点灯します。

4 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタのコネクタを FOMA端末から引き抜く

・コネクタを引き抜く際は、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

5 ACアダプタのプラグをコンセントから抜く

6 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- 電源OFFの状態で充電を開始した場合は、しばらくたってから充電ランプが点灯します。
- FOMA端末（本体）の充電ランプが点滅する場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び充電ランプが点滅する場合は、ACアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

電池が切れたときは？

電池切れアラームが鳴ります。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合は、いずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 通話中に電池が切れた場合は、「ピッピッピッ」音を受話器から鳴らすことでお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。

電源を入れる／切る

● お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。
● 電源を入れる前に FOMA カードが正しく取り付けられていることを確認してください。

電源を入れる

1 ☎（1秒以上）

FOMA端末の電源が入り、待受画面が表示されます。

■「圏外」が表示されている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「Ｙıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

Ｙıl→Ｙı→Ｙ

■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると待受画面が表示されます。

■ はじめて電源を入れた場合

初期設定を行ってください。→P.27

おしらせ

● 本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。なお、検索中は「圏外」と表示される場合があります。

電源を切る

1 ☎（2秒以上）

終了画面が表示され、FOMA端末の電源が切れます。

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れたときは、初期値設定の確認画面が表示されます。初期値設定を実行すると、「日付設定」、「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「ボタン確認音量」を設定することができます。

1 初期値設定画面で「YES」

2 日付を設定

・日付設定について→P.49

3 時計を設定

・時計設定について→P.49

4 端末暗証番号を変更

・端末暗証番号の変更について→P.57

5 ボタン確認音量を変更

・ボタン確認音量の変更について→P.48

おしらせ

● 初期設定中に☎を押すなどして初期値設定を途中で終了しても、すでに設定が完了した機能は有効になります。

<発信者番号通知>

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。電波状況のよいところで行ってください。
- 発信者番号通知は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 発信者番号通知サービスの詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 **待受画面表示中に⦿[左]→(サービス)→「発信者番号通知」**

2 **「発信者番号通知設定」→「通知する」/「通知しない」→ネットワーク暗証番号を入力**

発信者番号の通知/非通知が設定されます。

■ 発信者番号通知サービスの設定内容を確認する場合

「番号通知設定確認」

<自局番号>

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号(自局番号)を表示して確認できます。

1 **待受画面表示中に⦿[左]→0**

おしらせ

- お客様の個人データ(名前、フリガナ、メールアドレス)を登録することもできます。→P.45

電話のかけかた／受けかた

電話をかける

1 **相手の市外局番からダイヤルする**

電話番号入力画面が表示されます。

・最大57桁まで入力して発信できます。

2 **を押す**

相手が電話に出ると**通話中画面**が表示され、相手と通話できます。

■ ハンズフリーに切り替える場合

を押す

・を押すたびに、ハンズフリーON／OFFが切り替わります。

・通常の通話では「」、ハンズフリー通話では「」が表示されます。

■ 受話音量を調節する場合

を押す

3 **通話が終了したら または [右] を押す**

・FOMA端末を折り畳んで通話を終了することもできます。

電話番号入力画面の機能メニュー

● **電話番号入力画面**を表示中に[左]で機能メニューを表示します。

項　目		説　明
発番号設定	相手に電話番号を通知するかしないかを設定します。	
	通知しない	相手に電話番号を通知しません。
	通知する	相手に電話番号を通知します。
	発番号設定消去	「発信者番号通知」(P.28)の設定内容で電話番号が通知されます。
プレフィックス	電話番号に付加する特定の番号を選択します。特定の番号はあらかじめ登録できます。→P.51	
電話帳登録	ダイヤルした電話番号を電話帳に登録します。→P.42	
SMS作成	ダイヤルした電話番号にSMS(ショートメッセージ)を作成して送信します。→P.92	
音声電話発信	ダイヤルした電話番号に音声電話をかけます。	
テレビ電話発信	ダイヤルした電話番号にテレビ電話をかけます。→P.38	

おしらせ

● ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声が歪んで聞こえたりする場合があります。

電話番号の入力を間違えたとき

● 番号を挿入する場合

を押して挿入したい位置にカーソルを移動し、番号を入力します。

● 番号を削除する場合

を押して削除したい番号の右にカーソルを合わせて[右]を押します。

● 入力し直す場合

を押すか、[右]を1秒以上押すと待受画面に戻ります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプが点滅し、着信画面が表示されます。バイブレータを「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

■ 着信音を消す場合

[左]を押す

■ 着信を拒否する場合

[右]を押す

2 または を押す

通話中画面が表示され、相手と通話できます。

■ ハンズフリーに切り替える場合

を押す

・を押すたびに、ハンズフリーON／OFFが切り替わります。

■ 受話音量を調節する場合

を押す

3 通話が終了したら または [右]を押す

通話中画面の機能メニュー

● **通話中画面**を表示中に [左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
保留／通話	通話中の電話を保留します。
消音／消音解除	自分の声が相手に聞こえないようにします。
通話中発信	通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。→P.120
電話帳参照／登録	通話中の電話帳の操作内容を「電話帳登録」、「電話帳検索」から選択します。→P.42、44
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。→P.28

おしらせ

● 本FOMA端末は応答保留ができません（着信中に を押すと、着信を切断します）。
● 非通知／通知不可能／公衆電話からの着信の場合、相手の電話番号は表示されず、非通知理由が表示されます。
● 転送されてきた電話の場合は、転送元と発信元の電話番号が表示されます。ただし、転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。

<公共モード（ドライブモード）>

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（画面に「圏外」が表示されているときも可能です）。
● 公共モード設定中でも電話をかけることができます。
● 本機能は、データ通信中はご利用できません。
● 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面表示中に （1秒以上）を押す

公共モードが設定され、「 」が表示されます。

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

・マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除する場合

を1秒以上押す

公共モードが解除され、「 」の表示が消えます。

おしらせ

● 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。

・音声電話／テレビ電話着信音　　・メール、SMS着信音
・メッセージR、メッセージF着信音　・スケジュールのアラーム音
・めざまし時計のアラーム音　　・電池切れアラーム音
・充電確認音　　・iアプリのソフト起動

公共モード（ドライブモード）に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。ただし、着信履歴には記録されます。

● 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

各ネットワークサービスと公共モードを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。※1	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。留守番電話サービスセンターに接続されず、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2※3	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※4
キャッチホン	相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※1：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴にも記憶されません。
※2：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴にも記憶されません。
※3：相手に流れる転送ガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。転送ガイダンスの設定方法については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
※4：転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません（3G-324M：第3世代携帯テレビ電話の国際規格）。

＜公共モード（電源OFF）＞

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中に ＊ 2 5 2 5 1 ☎ を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合

＊ 2 5 2 5 0 ☎ を押す

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

＊ 2 5 2 5 9 ☎ を押す

おしらせ

● 公共モード（電源OFF）は電源をONにするだけでは解除されません。「＊25250」をダイヤルして解除するまで設定は継続されます。

公共モード（電源OFF）に設定すると

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

● 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）を同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。留守番電話サービスセンターに接続されず、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※1	相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※2
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※1：相手に流れる転送ガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。転送ガイダンスの設定方法については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
※2：転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません（3G-324M：第3世代携帯テレビ電話の国際規格）。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときに自分の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させせることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。
発信者番号通知の設定には、以下の3種類があります。

機能名	説　明
発信者番号通知	自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定します。→P.28
「186」／「184」ダイヤル	自分の電話番号を通知するかどうかを、相手の電話番号の前に「186」／「184」をダイヤルして設定します。 <例：電話番号を通知しない場合> 「184」をダイヤル→相手の電話番号をダイヤル→（発信キー）を押す
発番号設定	自分の電話番号を通知するかどうかを、**電話番号入力画面**の機能メニューから設定します。

おしらせ

- 海外からの発着信時は、ネットワークの状況によって発信者番号が通知されない場合があります。

<WORLD CALL>

国際電話をかける

● 海外利用についての詳細は「海外利用」をご覧ください。→P.131

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 **009130→010→国番号→市外局番→相手先電話番号の順にダイヤルする**

2 **（発信キー）を押す**

ダイヤルした電話番号に国際電話がかかります。

■ 国際テレビ電話をかける場合

（●）を押す

3 **通話が終了したら（終話キー）または（・）[右]を押す**

おしらせ

- 国際テレビ電話の接続が可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。

<リダイヤル>

前にかけた相手にかけ直す

- リダイヤルは音声電話、テレビ電話の電話番号を合計30件まで記憶できます。
- 記憶されているリダイヤルが最大件数を超えた場合、古いものから順に削除されます。
- 同じ電話番号にかけたときは、最新のものが記憶されます。

1 待受画面表示中に ◯ を押す

リダイヤル一覧画面が表示されます。

・待受画面表示中に ● [左]→「電話帳」→「通話履歴」→「リダイヤル」を選択してもリダイヤル一覧画面を表示できます。

2 電話をかけたいリダイヤルを選択する

リダイヤル詳細画面が表示されます。

3 ☎ を押す

選択したリダイヤルの電話番号に電話がかかります。

4 通話が終了したら ☎ または ● [右] を押す

リダイヤルの一覧／詳細画面の機能メニュー

- **リダイヤル一覧**／**詳細画面**を表示中に ● [左] で機能メニューを表示します。

項　目		説　明
発番号設定※		相手に電話番号を通知するかしないかを設定します。
	通知しない	相手に電話番号を通知しません。
	通知する	相手に電話番号を通知します。
	発番号設定消去	「発信者番号通知」（P.28）の設定内容で電話番号が通知されます。
プレフィックス※		電話番号に付加する特定の番号を選択します。特定の番号はあらかじめ登録できます。→P.51
電話帳登録		リダイヤルに記憶されている電話番号を電話帳に登録します。→P.42
テレビ電話発信		リダイヤルに記憶されている電話番号にテレビ電話をかけます。→P.38
ｉモードメール作成		リダイヤルに記憶されている宛先にｉモードメールを作成して送信します。→P.78
SMS作成		リダイヤルに記憶されている電話番号にSMS（ショートメッセージ）を作成して送信します。→P.92
削除		リダイヤルを1件削除します。
全削除		リダイヤルをすべて削除します。

※：リダイヤルの詳細画面でのみ選択できます。

リダイヤルに表示されるアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
（黒色）	音声電話の発信	（黒色）	テレビ電話の発信

＜着信履歴＞

着信履歴を利用する

かかってきた電話番号は、日時や名前（電話帳に登録されている場合）などの情報とともに着信履歴に記憶されます。

- 着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を合計30件まで記憶できます。
- 記憶されている着信履歴が最大件数を超えた場合、古いものから順に削除されます。

1 待受画面表示中に を押す

着信履歴一覧画面が表示されます。

・待受画面表示中に[左]→「電話帳」→「通話履歴」→「着信履歴」を選択しても着信履歴一覧画面を表示できます。

2 確認したい着信履歴を選択する

着信履歴詳細画面が表示されます。

詳細画面には、日付、時刻、通話の種類、通話時間（呼出時間）、相手の名前、電話番号が表示されます。

3 を押す

選択した着信履歴の電話番号に電話がかかります。

4 通話が終了したら または [右]を押す

おしらせ

- 非通知／通知不可能／公衆電話からの着信の場合、非通知理由が表示されます。

着信履歴一覧／詳細画面の機能メニュー

- **着信履歴一覧**／**詳細画面**を表示中に[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
不在着信全表示※1	着信履歴一覧画面の表示中、不在着信履歴のみの表示に切り替わります。	
発番号設定※2	相手に電話番号を通知するかしないかを設定します。	
	通知しない	相手に電話番号を通知しません。
	通知する	相手に電話番号を通知します。
	発番号設定消去	「発信者番号通知」（P.28）の設定内容で電話番号が通知されます。
プレフィックス※2	電話番号に付加する特定の番号を選択します。特定の番号はあらかじめ登録できます。→P.51	
電話帳登録	着信履歴に記憶されている電話番号を電話帳に登録します。→P.42	
テレビ電話発信	着信履歴に記憶されている電話番号にテレビ電話をかけます。→P.38	
ｉモードメール作成	着信履歴に記憶されている宛先にｉモードメールを作成して送信します。→P.78	
SMS作成	着信履歴に記憶されている電話番号にSMS（ショートメッセージ）を作成して送信します。→P.92	
削除	着信履歴を1件削除します。	
全削除	着信履歴をすべて削除します。	

※1：着信履歴一覧画面でのみ選択できます。

※2：着信履歴の詳細画面でのみ選択できます。

着信履歴に表示されるアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
（緑色）	音声電話の着信	（緑色）	テレビ電話の着信
	音声電話の不在着信		テレビ電話の不在着信

テレビ電話のかけかた／受けかた

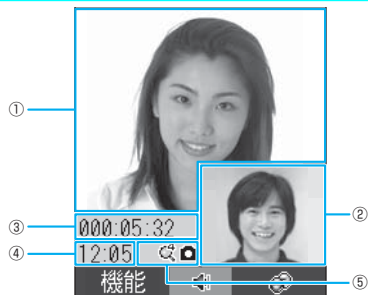
テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。

● ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1： 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2： 3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話画面の見かた

①親画面：お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。
②子画面：お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。
③通話時間が表示されます。
④現在の時刻が表示されます。
⑤テレビ電話の各種機能の設定内容が表示されます。

テレビ電話の各種機能のアイコン

：送信中の画像を4倍の大きさで表示
：送信中の画像を2倍の大きさで表示
：送信中の画像を等倍で表示
：ハンズフリー OFF
：ハンズフリー ON
：カメラ画像を送信中
：代替画像を送信中
：内側カメラの映像を送信中
：外側カメラの映像を送信中

テレビ電話をかける

1 **相手の市外局番からダイヤルする**

電話番号入力画面（P.30）が表示されます。

2 **を押す**

相手が電話に出ると**テレビ電話中画面**が表示され、相手と通話できます。

■ ハンズフリーに切り替える場合

を押す

・ を押すたびに、ハンズフリーON／OFFが切り替わります。

■ 送信中の画像を拡大／縮小する場合

を押す

■ 外側カメラの映像を送信する場合

[右]を押す

・ [右] を押すたびに、外側カメラと内側カメラが切り替わります。

・ 外側カメラと内側カメラを切り替える場合、数秒程度の時間がかかることがあります。

■ カメラ画像／代替画像を切り替える場合

を押す

・ を押すたびに、カメラ画像と代替画像が切り替わります。

3 **通話が終了したら を押す**

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認のうえおかけ直しください	電話番号を間違えた場合
お話中です	お話し中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
公共モード（ドライブモード） しばらくたってからおかけ直しください	相手が公共モード中の場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定しているか、転送先がテレビ電話非対応の場合
接続できませんでした	上記以外の場合

電話番号入力画面の機能メニュー

● **電話番号入力画面**を表示中に⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
発番号設定	相手に電話番号を通知するかしないかを設定します。	
	通知しない	相手に電話番号を通知しません。
	通知する	相手に電話番号を通知します。
	発番号設定消去	「発信者番号通知」（P.28）の設定内容で電話番号が通知されます。
プレフィックス	電話番号に付加する特定の番号を選択します。特定の番号はあらかじめ登録できます。→P.51	
電話帳登録	ダイヤルした電話番号を電話帳に登録します。→P.42	
SMS作成	ダイヤルした電話番号にSMS（ショートメッセージ）を作成して送信します。→P.92	
音声電話発信	ダイヤルした電話番号に音声電話をかけます。→P.30	
テレビ電話発信	ダイヤルした電話番号にテレビ電話をかけます。	

テレビ電話を受ける

1 **テレビ電話がかかってくる**

着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

■ 着信音を消す場合

⊙[左]を押す

■ 着信を拒否する場合

⊙[右]を押す

2 **☎または●を押す**

☎を押すと相手にカメラ画像が送信され、●を押すと代替画像が送信されます。

テレビ電話中画面が表示され、相手とテレビ電話ができます。

■ ハンズフリーに切り替える場合

●を押す

・●を押すたびに、ハンズフリーON／OFFが切り替わります。

■ 送信中の画像を拡大／縮小する場合

⊙を押す

■ 外側カメラの映像を送信する場合

⊙[右]を押す

・⊙[右]を押すたびに、外側カメラと内側カメラが切り替わります。

・外側カメラと内側カメラを切り替える場合、数秒程度の時間がかかることがあります。

■ カメラ画像／代替画像を切り替える場合

☎を押す

・☎を押すたびに、カメラ画像と代替画像が切り替わります。

3 **通話が終了したら☎を押す**

テレビ電話中画面の機能メニュー

● **テレビ電話画面**を表示中に ⦿ [左]で機能メニューを表示します。

項　目		説　明
テレビ電話画面設定		親画面の表示内容を設定します。
	親画面相手画像表示	親画面に相手側のカメラ映像を表示します。
	親画面自画像表示	親画面に自分側のカメラ映像を表示します。
	相手画像のみ表示	テレビ電話画面に相手側のカメラ映像のみ表示します。
	自画像のみ表示	テレビ電話画面に自分側のカメラ映像のみ表示します。
画像品質設定		テレビ電話中に送受信する映像の画質、動きの優先順位を設定します。
	標準	標準的な画質、動きで映像を送受信します。
	画質優先	きめ細やかな画質で映像を送受信します。動きの少ない映像の場合に有効です。
	動き優先	滑らかな動きで映像を送受信します。動きの多い映像の場合に有効です。
色調切替		画像の色を「通常」、「セピア」、「白黒」から選択します。
内側カメラ／外側カメラ		映像を送信するカメラを外側カメラ／内側カメラに切り替えます。 ・ 外側カメラと内側カメラを切り替える場合、数秒程度の時間がかかることがあります。
代替画像送信／自画像送信		送信する映像を自画像／代替画像に切り替えます。
自局番号表示		自分の電話番号を表示します。→P.28

おしらせ

- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.34
- ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声が歪んで聞こえたりする場合があります。

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話中の親画面の表示内容や映像の品質、色調など、テレビ電話に関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に ⦿ [左]→ (各種設定)→「テレビ電話」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明
テレビ電話画面設定	「テレビ電話中画面の機能メニュー」→P.40
画像品質設定	
色調切替	
発信時自画像送信	テレビ電話をかけるとき、相手に送信する画像を自画像か代替画像に設定します。
音声自動再発信	テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけるか待受画面に戻るかを設定します。

電話帳

電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。登録内容は次のとおりです。

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大500件	最大50件
グループ	グループ0～19に分類可能	グループ0～10に分類可能
電話番号	1つの電話帳につき3件まで登録可能 7種類のカテゴリアイコンを選択可能	1つの電話帳につき1件 カテゴリアイコンはなし
メールアドレス	1つの電話帳につき3件まで登録可能 3種類のカテゴリアイコンを選択可能	1つの電話帳につき1件 カテゴリアイコンはなし
静止画	1つの電話帳につき1件	登録不可
メモリ番号	001～500	001～050
その他のデータ	1つの電話帳につき名前、フリガナ、指定着信拒否設定をそれぞれ1件	1つの電話帳につき名前、フリガナをそれぞれ1件

● 名前の表示について

電話帳に電話番号やメールアドレスを登録しておくと、次のような場合に相手の名前が表示されます。

- 電話の発着信時
- 通話中
- リダイヤル、着信履歴の一覧／詳細画面表示時
- ｉモードメール、SMSの一覧／詳細画面表示時

● 画像の表示について

電話帳に静止画を登録しておくと、電話の着信時に画像が表示されます。

＜電話帳登録＞

電話帳に登録する

1 待受画面表示中に ◎ →「電話帳登録」

2 「本体」／「FOMAカード(UIM)」→名前を入力

FOMA端末（本体）の電話帳では全角16文字、半角32文字まで登録できます。
FOMAカードの電話帳では全角10文字、半角21文字まで登録できます。

3 フリガナを確認

フリガナが間違っている場合は修正してください。
FOMA端末（本体）の電話帳では半角32文字まで登録できます。
FOMAカードの電話帳では全角12文字、半角25文字まで登録できます。

4 以下の項目を設定

項　目	説　明
電話番号	電話番号を入力し、カテゴリアイコンを選択します。 ・ FOMA端末（本体）の電話帳では26桁まで電話番号を入力できます。 ・ 青色のFOMAカードの電話帳では20桁まで、緑色のFOMAカードの電話帳では26桁まで電話番号を入力できます。 ・ FOMAカードの電話帳ではカテゴリアイコンを選択できません。電話番号を登録後にカテゴリアイコン が表示されます。
メールアドレス	メールアドレスを入力し、カテゴリアイコンを選択します。 ・ FOMA端末（本体）の電話帳およびFOMAカードの電話帳にそれぞれ50文字まで入力できます。 ・ FOMAカードの電話帳ではカテゴリアイコンを選択できません。メールアドレスを登録後にカテゴリアイコン が表示されます。 ・ シークレットコード（数字4桁）がついたメールアドレスを登録する場合は、「電話番号XXXX」または「電話番号XXXX@docomo.ne.jp」（XXXXはシークレットコード）を登録します。

項　目	説　明
グループ	FOMA端末（本体）の電話帳では「0」～「19」、FOMAカードの電話帳では「0」～「10」の範囲で登録するグループを選択します。 ・グループを選択しない場合は、自動的に「グループ0」に登録されます。
静止画※	電話がかかってきたときに表示される静止画を選択します。 フォルダを選択→静止画を選択
指定着信拒否※	登録中の相手から電話がかかってきたとき、着信を拒否するかしないかを設定します。
メモリ番号	FOMA端末（本体）の電話帳では「001」～「500」、FOMAカードの電話帳では「001」～「050」の範囲でメモリ番号を入力します。 ・メモリ番号を指定しない場合は、空き番号の若い順に割り当てられます。

※：FOMAカードの電話帳では設定できません。

おしらせ

- 電話帳に登録した静止画が削除された場合は、電話帳の静止画も同じように削除されます。
- 電話帳に登録した静止画の設定は、各種設定メニューの「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定したときに有効になります。→P.48
- 個々の電話帳の「指定着信拒否」の設定は、電話帳メニューの「指定着信拒否設定」を「ON」に設定したときに有効になります。→P.58

■お願い

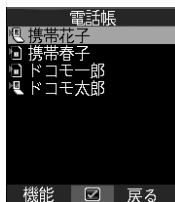
- 「電話帳」に登録した内容は、別にメモを取ることをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.157）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もあります。あらかじめご了承ください。
  万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

＜電話帳検索＞

電話帳を検索する

1 待受画面表示中に ⓞ →「電話帳検索」

2 以下の検索方法を選択して電話帳を検索

検索が終了すると、検索条件を満たした電話帳が**電話帳一覧画面**に表示されます。FOMA端末（本体）に登録されている電話帳には「📱」、FOMAカードに登録されている電話帳には「▣」が表示されます。

項　目	説　明
フリガナ検索※1	フリガナの一部を入力→◉ ・ すべてを入力しなくても検索できます。
名前検索※1	名前の一部を入力→◉ ・ すべてを入力しなくても検索できます。
電話番号検索※1	電話番号の一部を入力→◉ ・ すべてを入力しなくても検索できます。
グループ検索	グループを選択→◉
メモリ番号（本体）※1	3桁のメモリ番号を入力→◉
メモリ番号（FOMAカード）※1	
行検索※2	検索したい行を選択→◉

※1：登録されているすべての電話帳を一覧表示したい場合は、検索条件を入力せずに◉を押します。

※2：登録されているすべての電話帳を一覧表示したい場合は、「全検索」を選択します。

3 詳細を確認する電話帳を選択

電話帳詳細画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面から電話をかける場合

電話帳を選択→☎

複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号にかかります。

4 電話帳の詳細を確認

■ 電話帳の詳細画面から音声電話をかける場合

電話番号を選択→☎

■ 電話帳の詳細画面からテレビ電話をかける場合

電話番号を選択→◉

電話帳一覧画面の機能メニュー

● **電話帳一覧画面**を表示中に ⊙［左］で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
電話帳登録	FOMA端末（本体）またはFOMAカードに新しく電話帳を登録します。
FOMAカードへコピー／本体へコピー	反転表示している電話帳がFOMA端末（本体）の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの場合は「本体へコピー」を選択します。
削除	反転表示した1件の電話帳を削除します。
選択コピー	選択した複数の電話帳をコピーします。 FOMA端末（本体）の電話帳を選択した場合はFOMAカードの電話帳に、FOMAカードの電話帳を選択した場合はFOMA端末本体の電話帳にコピーします。 **電話帳を選択→⊙［左］**
選択削除	選択した複数の電話帳を削除します。 **削除する電話帳を選択→⊙［左］**
全削除	FOMA端末（本体）とFOMAカードの電話帳をすべて削除します。 **端末暗証番号を入力**

電話帳詳細画面の機能メニュー

● **電話帳詳細画面**を表示中に⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目		説　明
発番号設定	相手に電話番号を通知するかしないかを設定します。	
	通知しない	相手に電話番号を通知しません。
	通知する	相手に電話番号を通知します。
	発番号設定消去	「発信者番号通知」(P.28)の設定内容で電話番号が通知されます。
プレフィックス	電話番号に付加する特定の番号を選択します。特定の番号はあらかじめ登録できます。→P.51	
電話帳編集	電話帳の登録内容を修正します。	
電話帳削除	電話帳を削除します。	
	電話番号削除／メールアドレス／静止画削除	選択している電話番号／メールアドレス／静止画のみ削除します。
	1件削除	詳細画面表示中の電話帳を削除します。
iモードメール作成	反転表示したメールアドレスにiモードメールを作成して送信します。→P.78	
SMS作成	反転表示した電話番号にSMS(ショートメッセージ)を作成して送信します。→P.92	
FOMAカードへコピー／本体へコピー	詳細表示している電話帳がFOMA端末(本体)の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの場合は「本体へコピー」を選択します。	

<電話帳登録件数>

電話帳の登録状況を確認する

1 待受画面表示中に○→「電話帳登録件数」

FOMAカード／FOMA端末(本体)の電話帳の登録可能件数(空き)と登録件数(使用)が表示されます。

<グループ設定>

グループ名を変更する

●「グループ0」のグループ名は変更できません。

1 待受画面表示中に○→「グループ設定」

2 グループを選択→グループ名を入力

■ **グループ名をお買い上げ時の名前に戻す場合**

グループを選択→⊙[左]→「グループ名初期化」

<自局番号>

個人データを登録する

お客様の個人情報(名前、フリガナ、メールアドレス)を登録できます。

1 待受画面表示中に○→「自局番号表示」

2 ⊙[左]→端末暗証番号を入力→以下の項目を設定

項　目	説　明
名前	お客様の名前を入力します。
フリガナ	名前のフリガナを入力します。 ・名前を入力しても自動的にはフリガナは設定されません。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。

3 ⊙[左]

<クイックダイヤル>

少ないボタン操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳で、メモリ番号を「002」〜「009」に登録すると、2から9のうちの1つを1秒以上押すだけで音声電話をかけることができます。

1 待受画面表示中に2〜9を1秒以上押す

各種設定

着信音を設定する

着信音の音量やメロディ、バイブレータの振動パターンなど、着信に関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に●[左]→（各種設定）→「着信／音量」

2 以下の項目を設定

項　目		説　明
音量設定		電話着信音量、メール着信音量、受話音量、ボタン確認音量をそれぞれ設定します。 音量を設定する項目を選択→✥→●
着信音設定		電話、テレビ電話、メール、SMS（ショートメッセージ）、メッセージR、メッセージFを着信／受信したときの着信音をそれぞれ設定します。 ・ 着信音の選択中に●[左]を押すと、着信音を再生できます。
呼出時間設定		電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたときの呼出動作について設定します。
	無音時間設定	電話がかかってきてから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。 無音時間を入力→●
	時間内不在着信表示	呼出動作を開始しなかった着信を、着信履歴に表示するかしないかを設定します。
バイブレータ		電話、テレビ電話、メール、SMS（ショートメッセージ）、メッセージR、メッセージFを着信／受信したときの振動パターンを一括で設定します。 ・ 振動パターンを選択すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。
電話帳画像着信設定		電話帳に静止画を登録している相手から電話がかかってきたとき、ディスプレイに静止画を表示するかしないかを設定します。
着信アンサー設定		電話がかかってきたとき、すぐに応答できるように設定します。
	エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、☎以外に●、✥、0～9、＊、＃、▮を押しても電話に出ることができます。 ・ テレビ電話の場合は無効になります。
	クイックサイレント	電話がかかってきたとき、✥、●[左]、0～9、＊、＃、▮を押すと、着信音および振動を止めることができます。 ・ 着信音および振動を止めても、呼出は継続されます。
	OFF	電話がかかってきたとき、☎、●を押したときのみ電話に出ることができます。

おしらせ

● 「バイブレータ」を設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。

あらかじめ登録されている着信音・メロディ一覧

表示	曲名	作曲者名※1※2
トロイメライ	トロイメライ	SCHUMANN ROBERT ALEXANDER
ラ・カンパネラ	ラ・カンパネラ	LISZT FRANZ
カノン	カノン	PACHELBEL JOHANN
ハンガリー舞曲	ハンガリー舞曲	BRAHMS JOHANNES
タイスの瞑想曲	タイスの瞑想曲	MASSENET JULES EMILE FREDERIC
フレンチポップ	－	－
ジャズ	－	－
ボサノバ	－	－
ウェーブ	－	－

※1： 作曲者のローマ字は大文字で表記しています。
※2： 作曲者はJASRACホームページに準拠して表記しています。
※3： JASRAC権利管理楽曲はありません。

<時計>

日付・時刻を設定する

日付・時刻の設定や時計の表示パターンなど、時計に関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に ● [左]→ (各種設定)→「時計」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明
時刻設定	現在の時刻を設定します。 時刻表示選択を「12時間」に設定している場合 で時（12時間制）／分／AM、PMを選択し で数値を選択→ ● 時刻表示選択を「24時間」に設定している場合 で時（24時間制）／分を選択し で数値を選択→ ●
日付設定	現在の年月日を設定します。 で年(西暦)／月／日を選択し で数値を選択→ ●
時刻表示選択	時計を12時間で表示するか、24時間で表示するかを設定します。
時計表示設定	待受画面で時計を表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- 時計を正しく設定しないと、ｉアプリの自動起動や、再生期限・再生期間が設定されているｉモーションをダウンロードできません。
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合は、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

<マナーモード>

マナーモードを設定する

マナーモードの種類やオリジナルマナーモードの内容を設定します。
待受画面で （マナーボタン）を1秒以上押すと、ここで選択したマナーモードが設定されます。

- 音声電話中／テレビ電話中に を1秒以上押して、マナーモードの設定／解除を行うこともできます。

マナーモードを変更する

1 待受画面表示中に ● [左]→ (各種設定)→「マナーモード」

2 「マナーモード選択」→以下の項目から選択

項　目	説　明
マナーモード	スピーカから出る音を消去し、着信などを振動でお知らせします。
オリジナルマナー１	マナーモード設定中の各種動作をお好みに応じて設定できます。
オリジナルマナー２	

オリジナルマナーを設定する

1 待受画面表示中に ● [左]→ (各種設定)→「マナーモード」

2 「オリジナルマナー」→「オリジナルマナー１」／「オリジナルマナー２」→以下の項目を設定

項　目	説　明
音量設定	マナーモード設定中の着信音量、ボタン確認音量、受話音量、メール着信音量、アラーム音量を設定します。 音量を設定する項目を選択→ → ●
着信音設定	マナーモード設定中に電話、テレビ電話、メール、SMS（ショートメッセージ）、メッセージR、メッセージFを着信／受信したときの着信音をそれぞれ設定します。 ・着信音の選択中に ● [左]を押すと、着信音を再生できます。

項　目	説　明
バイブレータ	オリジナルマナー設定中に電話、テレビ電話、メール、SMS（ショートメッセージ）、メッセージR、メッセージFを着信／受信したときの振動パターンを一括で設定します。 ・ 振動パターンを選択すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。
通話中マイク感度	オリジナルマナー設定中に通話したときのマイク感度を「標準」、「アップ」から選択します。
低電圧アラーム	オリジナルマナー設定中に電池切れアラームを鳴らすか鳴らさないかを設定します。

おしらせ

● マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。

<ディスプレイ>

画面・照明について設定する

待受画面に表示する画像や画面の配色、照明の明るさなど、画面・照明に関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に⦿[左]→(各種設定)→「ディスプレイ」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明	
ウェイクアップ表示	FOMA端末の電源を入れたときに表示される画像やメセージを「OFF」、「メッセージ」、「内蔵画像」から選択します。 ・「メッセージ」を選択した場合は、⦿[左]を押してメッセージを入力してください。	
待受画面	待受画面に表示する画像を設定します。	
	カレンダー	待受画面に設定した画像を背景にしてカレンダーを表示するかどうかを設定します。
	マイピクチャ	あらかじめFOMA端末に登録されている画像をマイピクチャ（P.102）から選択します。
配色パターン	画面の配色パターンを「グレー」、「白」、「赤」から選択します。 ・ 配色パターンを選択すると、そのパターンで画面が表示されます。	
省電力モード	照明の明るさと省電力モードが起動するまでの時間を設定します。	
	照明設定	照明の明るさを「レベル3」～「レベル1」から選択します。
	待ち時間	省電力モードが起動するまでの時間を「5秒」、「10秒」、「20秒」、「40秒」、「60秒」、「常時点灯」から選択します。 ・「常時点灯」に設定すると、省電力モードは起動しません。

項　目	説　明
バイリンガル	各機能名やメッセージなどの表示言語を日本語または英語に切り替えます。 ・ FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定内容はFOMAカードに記憶されます。 ・ 日本語表示から英語表示に切り替える場合は「English」、英語表示から日本語表示に切り替える場合は「日本語」を選択します。

おしらせ

● 待受画面のサイズ（178×180ドット）より大きい画像を待受画面に設定する場合、縦横の比率を変えずに縮小されて画像全体が表示されます。待受画面のサイズより小さい画像の場合は等倍で表示されます。

<通話>

通話に関する設定を行う

自動リダイヤルや特定の番号の設定、通話時間の確認など、通話に関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に ⦿[左]→ （各種設定）→「通話」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明	
オートリダイヤル	電話がかからなかったとき、自動的にその電話番号にダイヤルし直すかどうかを設定します。 ・「ON」に設定すると、7回まで自動的にリダイヤルします。	
プレフィックス設定	電話番号の前につける特定の番号（プレフィックス）を設定します。 プレフィックスを新しく設定する場合 「<未登録>」を反転表示→⦿[左]→「編集」を選択→登録名を入力→番号を入力 プレフィックスを編集する場合 編集する項目を選択→⦿[左]→「編集」を選択→登録名、番号を編集 プレフィックスを１件削除する場合 削除する項目を選択→⦿[左]→「削除」 プレフィックスを全件削除する場合 ⦿[左]→「全削除」→端末暗証番号を入力	
通話時間	通話時間を確認、リセットします。	
	通話時間	直前の通話時間と前回リセットしてから現在までの積算通話時間を表示します。
	積算リセット	積算通話時間をリセットします。 端末暗証番号を入力→「YES」

おしらせ

●「通話時間」で表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

＜ロック／セキュリティ＞

ロック／セキュリティを設定する

FOMA端末のロックや、暗証番号の変更など、セキュリティに関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に⦿[左]→ (各種設定)→「ロック／セキュリティ」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明
オールロック	「ほかの人が使用できないようにする」→P.58
PIN設定	「PINコードを変更する」→P.57
端末暗証番号変更	「端末暗証番号を変更する」→P.57

＜アプリケーション通信設定＞

ネットワークに関する設定を行う

ネットワーク内の通信事業者の検索方法や通信事業者の優先順位設定など、ネットワークに関する機能を設定します。

1 待受画面表示中に⦿[左]→ (各種設定)→「アプリケーション通信設定」

2 以下の項目を設定

項　目	説　明
ネットワーク接続モード選択	「海外利用に関する設定を行う」→P.137
ネットワーク検索	
優先ネットワーク設定	
ネットワーク切替	
ネットワーク名表示設定	
接続先選択※	ｉモード以外のサービスを受けたいとき、別のプロバイダを接続先に設定します。 接続先を登録する場合 「<未登録>」を選択→⦿[左]→端末暗証番号を入力→「編集」を選択→「タイトル」、「接続先名称」、「接続先アドレス」を入力→⦿[左] 接続先を１件削除する場合 削除する接続先を選択→⦿[左]→端末暗証番号を入力→「削除」 接続先を全件削除する場合 ⦿[左]→端末暗証番号を入力→「全削除」

※：通常は設定を変更する必要はありません。

＜テレビ電話＞

テレビ電話について設定する

テレビ電話中の親画面の表示内容や映像の品質、色調など、テレビ電話に関する機能を設定します。

1 **待受画面表示中に⊙[左]→(各種設定)→「テレビ電話」**

2 **以下の項目を設定**

項　目	説　明
テレビ電話画面設定	「テレビ電話中画面の機能メニュー」→P.40
画像品質設定	
色調切替	
発信時自画像送信	「テレビ電話の設定を変更する」→P.40
音声自動再発信	

＜その他＞

その他の機能を設定する

イヤホンマイク接続時の電話の受けかたや文字の入力方式、着信ランプの点滅パターンなど、さまざまな機能を設定します。

1 **待受画面表示中に⊙[左]→(各種設定)→「その他」**

2 **以下の項目を設定**

項　目		説　明
オート着信		FOMA端末にイヤホンマイクを接続しているとき、かかってきた音声電話を自動で受けるか受けないかを設定します。
サイドボタン操作		FOMA端末を折り畳んでいるとき、サイドボタンを無効にするかしないかを設定します。
充電確認音		充電をはじめたときや完了したときに、確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。
文字入力方式		過去に入力した文字列の利用方法を設定します。
	ワード予測	読みを入力したとき、予測候補を表示するかしないを設定します。
	学習履歴クリア	FOMA端末に記憶されている過去に入力した文字列を初期状態に戻します。
イルミネーション		着信ランプの点滅のしかたを設定します。
	着信イルミネーション選択	音声電話、テレビ電話、メール、SMS（ショートメッセージ）、メッセージR、メッセージFを着信／受信したときの着信ランプの点滅色と点滅パターンをそれぞれ設定します。
	通話中イルミネーション	音声電話中、テレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定します。
設定リセット		各機能の設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ・ 設定リセットされる機能については、「メニュー一覧」（P.142）をご覧ください。
端末初期化		お買い上げ後に登録したすべてのデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ・ 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。 ・ 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、ｉアプリのソフト、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護しているデータも削除されます）。

おしらせ

● 充電確認音の設定にかかわらず、次の場合は確認音が鳴りません。
・ 待受画面以外の画面が表示されている場合
・ 公共モード設定中の場合
・ マナーモード設定中の場合
・ 電源がOFFの場合
・ 電話着信音量をレベル0に設定している場合

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

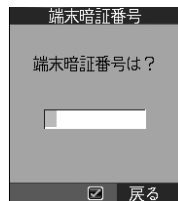
■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

● 端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.57

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉を押します。

- 入力した端末暗証番号は、ディスプレイに「★」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

● ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※：「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

● ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ４つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
iモードから変更される場合は、「iMenu」→「⑧オプション設定」→「②ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

● PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ４つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請などに使用する４～８桁の暗証番号です。
※：本FOMA端末ではPIN2コードを利用する機能はありません。

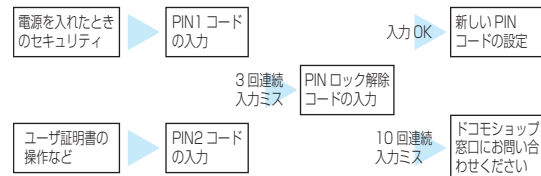
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN２コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1／PIN2コードを入力し、◉を押します。

- 入力したPIN1／PIN2コードは「★」で表示され、数字は表示されません。
- 3回誤ったPIN1／PIN2コードを入力した場合は、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残り回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）。正しいPIN1／PIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。

● PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

＜端末暗証番号変更＞

端末暗証番号を変更する

1 待受画面表示中に◉[左]→ (各種設定)→「ロック／セキュリティ」

2 「端末暗証番号変更」→端末暗証番号を入力→新しい端末暗証番号を入力→新しい端末暗証番号を再度入力

＜PIN設定＞

PINコードを変更する

- PINコードに関する設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPINコードをそのままご利用になれます。
- PIN1／PIN2 コードの入力を通算で3回間違えると、自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

1 待受画面表示中に◉[左]→ (各種設定)→「ロック／セキュリティ」

2 「PIN設定」→以下の項目を設定

項　目	説　明
PIN1コード変更※ PIN2コード変更	現在設定されているPIN1／PIN2コードを変更します。 端末暗証番号を入力→PIN1／PIN2コードを入力→新しいPIN1／PIN2コードを入力→新しいPIN1／PIN2コードを再度入力
PIN1 コード入力設定	FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するかしないかを設定します。 ・「ON」に設定すると、FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードの入力画面が表示されます。PIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

※：PIN1 コードを変更する場合は、「PIN1 コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

● PINロックの解除について

PIN1／PIN2コードの入力を通算で3回間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされたことを通知するメッセージが表示されます。PINロック中はPINロック解除コードを入力する画面が表示されます。その場合は、8桁のPINロック解除コードを入力していったんPIN1／PIN2コードのロックを解除し、新しいPIN1／PIN2コードを設定する必要があります。

- PINロック解除コードはFOMA契約申込書（お客様控え）に記載されています。PINロック解除コードの入力を通算で10回間違えると、FOMAカードが完全にロックされます。FOMA契約申込書（お客様控え）をなくさないように大切に保管してください。
- PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

＜オールロック＞

ほかの人が使用できないようにする

ほかの人がFOMA端末を操作できないように、FOMA端末をロックします。

- ロック中は、下記以外の操作ができなくなります。
  - ・電源を入れる／切る
  - ・緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける

1 待受画面表示中に⊙[左]→(各種設定)→「ロック／セキュリティ」

2 「オールロック」→端末暗証番号を入力

FOMA端末がロックされ、ディスプレイに「オールロック中」の文字が表示されます。

■ ロックを解除するには

端末暗証番号を入力する

・端末暗証番号の入力を5回続けて間違えると、FOMA端末の電源が切れます。再度電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。

＜メールセキュリティ＞

メールを無断で表示できないようにする

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

1 待受画面表示中に⊙[右]→「メール設定」

2 「表示設定」→「メールセキュリティ設定」

3 ●→端末暗証番号を入力→「OK」

4 セキュリティをかけるBOXを選択→「OK」

＜指定着信拒否設定＞

指定着信拒否設定を有効にする

個々の電話帳で登録した「指定着信拒否」を有効にします。本機能を有効にすると、指定着信拒否を設定した電話番号からの電話を受けないようになります。

- 電話帳の「指定着信拒否」の設定については、「電話帳に登録する」（P.42）を参照してください。

1 待受画面表示中に◎→「指定着信拒否設定」

2 端末暗証番号を入力

3 「ON」

■ 指定着信拒否設定を無効にする場合

「OFF」を選択する

カメラ

カメラをご使用の前に

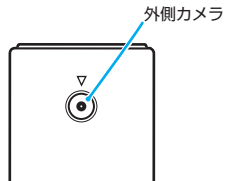
FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

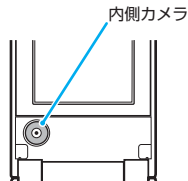
● カメラの使いかた

・ 静止画を撮影する→P.61
・ 動画を撮影する→P.63

外側カメラと内側カメラを切り替えるときは、撮影画面で◉[左]を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

■ 外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示:画面に表示された向きで撮影されます）。

■ 内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示されます（鏡像表示：画面に表示された向きとは逆向きに撮影されます）。

● カメラにCMOSカメラを使い、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影ではランダムな色の点のノイズが増えますので、ご了承ください。
● 撮影する前に、柔らかい布などでカメラのレンズをきれいにふいておいてください。カメラのレンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
● FOMA端末を閉じるときにカメラのレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
● FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
● レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

カメラ利用にあたってのご注意

■ 撮影するときのご注意

● 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
● 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れることがありますのでご注意ください。
● 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
● カメラ撮影中は電池の消費量が多いため、撮影が終了したらすみやかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
● シャッター音、タイマーの開始音は、「マナーモード」や「公共モード」に設定中でも一定の音量で鳴ります。また、シャッター音、タイマーの開始音の音量は変更できません。
● 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべくFOMA端末が動かないようにしっかりと固定して撮影するか、セルフタイマーを使って撮影してください。

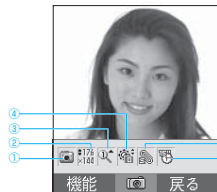
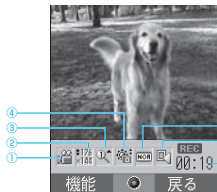
■ 著作権について

● FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

① カメラモードを示します。
- ：フォトモード
- ：ムービーモード（「動画メモ」の場合）※
- ：ムービーモード（「メール添付」の場合）※

※：「動画容量設定」（P.63）で設定します。

② 撮影する画像サイズが表示されます。

（フォトモードの場合）
- ：VGA（640×480）
- ：CIF（352×288）
- ：待受（176×180）
- ：メール大（176×144）
- ：メール小（128×96）

（ムービーモードの場合）
- ：サイズ大（176×144）
- ：サイズ小（128×96）

③ ズームの設定状態を示します。
- ：1倍
- ：2倍
- ：4倍

④ ／／／／：撮影する画像の明るさを示します。

⑤「画像保存設定」の設定を示します。
- ：制限なし
- ：メール（大）
- ：メール（小）

⑥ カメラモード切替の設定を示しています。
- ／／：連写モード
- ／／：セルフタイマー設定

⑦「動画保存設定」の設定を示します。
- ：標準
- ：画質優先
- ：時間優先

⑧「撮影種別設定」の設定を示します。
- ：通常
- ：映像のみ
- ：音声のみ

⑨ 撮影経過時間が「分：秒」で表示されます

＜静止画撮影＞

静止画を撮影する

1 待受画面表示中に[左]→（カメラ）→「フォトモード」

静止画撮影画面が表示されます。
静止画撮影画面表示中は、着信ランプが青色に点灯します。

■ 撮影する明るさを調整する場合
で明るさを調整

■ ズームを使う場合
でズーム倍率を調整

2 カメラを被写体に向ける→ または[]

撮影時には着信ランプが赤色に点灯します。
静止画が撮影され、静止画確認画面が表示されます。

■ 撮影し直す場合
[右]→「YES」

■ 撮影した静止画を添付したｉモードメールを作成する場合
[左]→ｉモードメールを作成
「ｉモードメールを作成／送信する」→P.78

3

保存する静止画のファイル名が表示され、タイトルを編集できます。

4

マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

静止画撮影画面の機能メニュー

● **静止画撮影画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目		説　明
内側カメラ／外側カメラ		外側カメラと内側カメラを切り替えます。→P.60
ムービーモード		ムービーモードに切り替えます。
画像サイズ選択		撮影する画像サイズをVGA（640×480）、CIF（352×288）、待受（176×180）、メール大（176×144）、メール小（128×96）から選択します。
画像保存設定		撮影する静止画のファイル容量を設定します。
	制限なし	ファイル容量を制限せずに撮影します。
	メール（大）	100Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
	メール（小）	9Kバイトまでのファイル容量で撮影します。 ・ 画像サイズをVGA（640×480）またはCIF（352×288）に設定している場合は選択できません。
ホワイトバランス設定		撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調節します。
	オート	自動的に色あいを補正して撮影します。
	晴天	晴れている野外に適した設定で撮影します。
	曇天	曇っている野外や日陰に適した設定で撮影します。
	電球	白熱電球の明かりに適した設定で撮影します。
色調切替		撮影する画像の効果を設定します。
	通常	通常のカラー撮影をするときに選択します。
	セピア	セピア調の画像で撮影するときに選択します。
	白黒	白黒（モノクロ）の画像で撮影するときに選択します。
明るさ調節		撮影する明るさを「－2」～「＋2」の5段階で調整します。

項　目		説　明
カメラモード切替		静止画を連続撮影したり、セルフタイマー使って撮影できます。
	フォトモード	通常の静止画撮影に戻ります。
	連写モード	静止画を連続撮影します。 **連続撮影する枚数を選択**
	セルフタイマー設定	セルフタイマーで撮影をします。 **セルフタイマーの時間を選択**
ズーム		撮影時のズーム倍率を選択します。 ・ 画像サイズをVGA（640×480）またはCIF（352×288）に設定している場合は、ズーム倍率を変更できません。 ・ 画像サイズを待受（176×180）に設定している場合は、「×4」を選択できません。
フレーム選択		静止画に重ねて撮影するフレームを選択します。 フレームを確認する場合 **フレームを反転表示→⊙[左]** フレーム撮影を解除する場合 **「OFF」を選択** ・ 画像サイズをVGA（640×480）に設定している場合や、カメラモードを連写モードに設定している場合は、フレームを選択できません。
シャッター音選択		シャッター音を設定します。 シャッター音を確認する場合 **シャッター音を反転表示→⊙[左]**

＜動画撮影＞

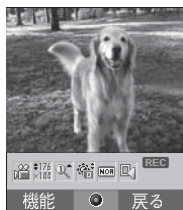
動画を撮影する

内蔵カメラを使って音声付きの動画を撮影できます。

1 待受画面表示中に[左]→（カメラ）→「ムービーモード」

動画撮影画面が表示されます。
動画撮影画面表示中は、着信ランプが青色に点灯します。

■ 撮影する明るさを調整する場合
で明るさを調整

■ ズームを使う場合
でズーム倍率を調整

2 カメラを被写体に向ける→ または[]

着信ランプが赤色に点灯し、撮影が開始されます。
動画容量設定で設定したファイル容量になると、撮影は自動的に終了します。

3 または[]

撮影が終了して、**動画確認画面**が表示されます。

■ 撮影した動画を再生して確認する場合
[左]→「再生」

■ 撮影し直す場合
[右]→「YES」

■ 撮影した動画を添付したｉモードメールを作成する場合
[左]→ｉモードメールを作成
「ｉモードメールを作成／送信する」→P.78

4

保存する動画のファイル名が表示され、タイトルを編集できます。

5

ｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

動画撮影画面の機能メニュー

● **動画撮影画面**表示中に[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
内側カメラ／外側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。→P.60	
フォトモード	フォトモードに切り替えます。	
画像サイズ選択	撮影する画像サイズをサイズ大（176×144）またはサイズ小（128×96）から選択します。	
動画容量設定	撮影する動画のファイル容量を設定します。	
	メール添付	95Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
	動画メモ	500Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
動画保存設定	動画を撮影するときの画質、撮影時間を設定します。	
	標準	標準の画質、撮影時間で撮影します。
	画質優先	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
	時間優先	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。 ・ 被写体の動きや撮影する明るさによって撮影時間は変動します。
ホワイトバランス設定	撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調節します。	
	オート	自動的に色あいを補正して撮影します。
	晴天	晴れている野外に適した設定で撮影します。
	曇天	曇っている野外や日陰に適した設定で撮影します。
	電球	白熱電球の明かりに適した設定で撮影します。
明るさ調節	撮影する明るさを「－2」～「＋2」の5段階で調整します。	
ズーム	撮影時のズーム倍率を選択します。	
撮影種別設定	通常	動画と音声を録画します。
	映像のみ	映像のみの動画として録画します。
	音声のみ	音声のみの動画として録音します。

動画確認画面の機能メニュー

● **動画確認画面**表示中に ◉ [左] を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
再生	撮影した動画を再生します。
保存	撮影した動画がｉモーションのカメラフォルダに保存されます。
ｉモードメール作成	撮影した動画を添付したｉモードメールを作成します。→P.78

おしらせ

● 動画撮影中にボタン操作を行うと、ボタン操作音が録音されることがありますのでご注意ください。

ｉモード

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

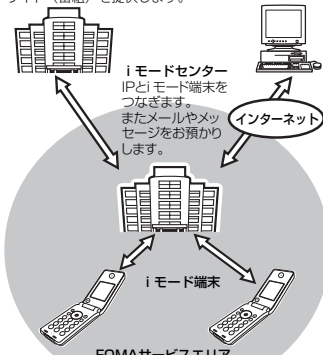
■ サイト（番組）接続

ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続

ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ ｉモードメール

ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらに静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへご契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイトやホームページを表示する

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途申し込みが必要なことがあります）。

1 待受画面表示中に◉→「iMenu」

2 「メニューリスト」→サイトの項目を選択

サイト画面が表示されます。
SSL対応ページを表示中には「 」が表示されます。

■ ページの取得を中止する場合

ページ取得中に◉

3 ｉモード中に☎→「YES」

● 「みんなＮらんど」について

iMenuの中のサイト「みんなＮらんど」からｉアプリのソフトなどのいろいろなデータをダウンロードすることができます。
「みんなＮらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。
「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなＮらんど」の順に選択します

おしらせ

- サイトによっては、画像を表示できない場合があります。また、サイトによっては、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。

サイト画面の機能メニュー

● **サイト画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
Bookmark登録	表示中のページのURLをブックマークに登録します。→P.69	
画面メモ保存	表示中のページを画面メモに保存します。→P.70	
画像保存	「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.72	
詳細表示	URL表示	表示中のページのURLを表示します。
	ページ情報	表示中のページの詳細情報を表示します。
	証明書	表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。
Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示します。→P.69	
Internet	URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P.68	
画面メモ一覧	画面メモ一覧画面を表示します。→P.70	
iMenu	iMenu画面を表示します。	
ホーム	「ホームURLを表示する」→P.68	
再読み込み	表示中のページを新しい情報に更新します。	
ｉモードメール作成	表示中のページのURLを本文に貼り付けたり、反転表示したURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成することができます。→P.78	
文字コード変換	表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。	
電話帳登録	サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 **電話番号またはメールアドレスを選択→電話帳に登録**（P.42）	
リトライ	表示中のページのアニメーションを最初から再生します。	

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。
- URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

1 待受画面表示中に◉→「Internet」
2 「URL入力」→URLを入力→◉

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続することができます。

1 待受画面表示中に◉→「ラストURL」

ホームURLを表示する

ホームURLに登録されているページ（P.76）を表示します。

1 待受画面表示中に◉→「Internet」
2 「ホーム」

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として記録します。

1 待受画面表示中に◉→「Internet」
2 「URL履歴」
URL履歴画面が表示されます。
3 URLを選択

おしらせ
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。

URL履歴画面の機能メニュー

- URL履歴画面表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
接続	選択したURLのインターネットホームページに接続します。
URL入力	URLを編集します。
削除	反転表示したURLを削除します。
全削除	登録されているURLをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」
ｉモードメール作成	選択したURLを本文に貼り付けたｉモードメールを作成します。→P.78

ブックマークに登録する

よく見るインターネットホームページやサイトへすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。

1 「サイト画面」(P.67) →◉[左]→「Bookmark登録」→「OK」

■ 登録されているブックマークがいっぱいの場合

登録済みのブックマークを削除してから新規登録します。

「YES」→削除するブックマークを選択

おしらせ

- サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 待受画面表示中に●→「Bookmark」

Bookmark一覧画面が表示されます。

2 ブックマークを選択

Bookmark一覧画面の機能メニュー

- **Bookmark 一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
接続	選択したブックマークのインターネットホームページやサイトに接続します。
タイトル編集	ブックマークのタイトルを編集します。 タイトルを入力→「OK」
削除	反転表示したブックマークを削除します。
選択削除	複数のブックマークを削除します。 削除するブックマークのチェックボックスを選択→◉[左]→「削除」→「YES」
全削除	登録されているブックマークをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」
URL表示	ブックマークのURLを表示します。
URLコピー	ブックマークのURLをコピーします。
ｉモードメール作成	選択したURLを本文に貼り付けたｉモードメールを作成します。→P.78

サイトの内容を保存する

一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。

● 画面メモは最大10件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により変動します。

1 「サイト画面」（P.67）→⊙[左]→「画面メモ保存」→「YES」

■ 保存されている画面メモがいっぱいの場合

保存済みの画面メモを削除してから新規保存します。

「YES」→削除する画面メモを選択

画面メモを表示する

1 待受画面表示中に●→「画面メモ」

画面メモ一覧画面が表示されます。

2 画面メモを選択

画面メモ詳細画面が表示されます。

画面メモ一覧画面の機能メニュー

● **画面メモ一覧画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
画面メモ表示	選択した画面メモを表示します。
タイトル編集	画面メモのタイトルを編集します。 タイトルを入力→「OK」
削除	反転表示した画面メモを削除します。
選択削除	複数の画面メモを削除します。 削除する画面メモのチェックボックスを選択→⊙[左]→「削除」→「YES」
全削除	登録されている画面メモをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」
URL表示	画面メモのURLを表示します。
保護／保護解除	反転表示した画面メモを保護／保護解除します。

画面メモ詳細画面の機能メニュー

● **画面メモ詳細画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
画像保存	「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.72	
詳細表示	URL表示	表示中の画面メモのURLを表示します。
	ページ情報	表示中の画面メモの詳細情報を表示します。
	証明書	表示中の画面メモがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。
リトライ	表示中の画面メモのアニメーションなどを最初から再生します。	
タイトル編集	表示中の画面メモのタイトルを編集します。 タイトルを入力→「OK」	
削除	表示中の画面メモを削除します。	
保護／保護解除	表示中の画面メモを保護／保護解除します。	

おしらせ

● 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除すると削除できます。

Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイトのページやメールなどに表示されている情報（電話番号、メールアドレス、URL）を利用して、簡単な操作で音声電話、テレビ電話を発信したり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示することができます。

Phone To機能

サイトのページやメールに表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話を発信することができます。

● テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。

<例：サイトの画面で音声電話をかけるとき>

1 「サイト画面」（P.67）→電話番号を選択

2 「音声電話発信」

■ テレビ電話をかける場合

「テレビ電話発信」

Mail To機能

サイトのページやメールに表示されているメールアドレスにメールを送ることができます。

<例：受信メール詳細画面でメールを送信するとき>

1 「受信メール詳細画面」（P.86）→メールアドレスを選択

2 ｉモードメールを作成して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.78の操作3～5を参照してください。

Web To機能

サイトのページやメールに表示されているURLのインターネットホームページを表示できます。

<例：受信メール詳細画面からページを表示するとき>

1 「受信メール詳細画面」（P.86）→URLを選択

おしらせ

- サイトによっては、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能をご利用になれない場合があります。
- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

サイトからデータをダウンロードする

サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモ、メッセージRやメッセージFから画像を保存すると、待受画面などに設定できます。

● 待受画面に設定するには→P.50
● 画像は、マイピクチャの「INBOX」フォルダに保存されます。

<例：サイトに表示されている画像を保存するとき>

1 サイト画面の機能メニュー（P.67）→「画像保存」

2 ●→画像を選択→「YES」

保存する画像のタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

3 ●

■ 画面メモから画像を保存する場合

画面メモ詳細画面の機能メニュー（P.70）→「画像保存」→●→画像を選択→「YES」

■ メッセージR、メッセージFから画像を保存する場合

メッセージ詳細画面の機能メニュー（P.74）→「ファイル保存」→画像を選択→「YES」

おしらせ

●「画像表示設定」（P.76）を「OFF」に設定しているときは保存できません。

サイトからデータファイルをダウンロードする

サイトからメロディなどのデータファイルをダウンロードして保存し、着信音などに設定して利用することができます。

● 着信音に設定するには→P.48

<例：サイトからメロディをダウンロードするとき>

1 「サイト画面」（P.67）→データファイルを選択

2 「保存」

保存するメロディのタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

3 ●

サイトからｉモーションを取得して再生・保存する

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込むことができます。

● 再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。ASF形式のｉモーションは取り込むことができません。
● ｉモーションは、ｉモーションの「INBOX」フォルダに保存されます。

1 「サイト画面」（P.67）→ｉモーションを選択

2 「再生」

「ｉモーション再生中の操作について」→P.106

3 「保存」

保存するｉモーションのタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

4 ●

おしらせ

● ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
●「自動再生設定」（P.76）で「自動再生する」に設定されている場合は、ｉモーションを取得後、再生します。
● ｉモーションの保存件数について→P.102

<メッセージR／メッセージF>

メッセージサービスを利用する

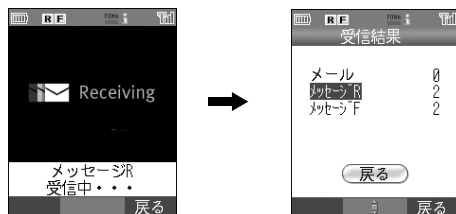
メッセージを表示する

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR、メッセージFがｉモードセンターから自動的に送られてきます。

● 受信したメッセージRは最大20件、メッセージFは最大10件、FOMA端末にそれぞれ保存できます。

1 **メッセージを受信すると、「R」（オレンジ色）や「F」（黄緑色）のアイコンが点滅し、メッセージ受信中であることを示すメッセージが表示される**

「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージ一覧画面が表示されます。

おしらせ

● 新しいメッセージR、メッセージFが届いたときは、ｉモードメールセンターに保管されているメッセージR、メッセージFやｉモードメールも合わせて受信します。

● メッセージR、メッセージFを受信したときに、すでに最大保存件数までメッセージR、メッセージFが保存されていた場合、未読または保護されているメッセージR、メッセージF以外で一番古いメッセージR、メッセージFから順に削除して受信します。

メッセージR、メッセージF画面の見かた

メッセージR、メッセージF画面は、以下のように表示されます。

● メッセージR、メッセージF 一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージR、メッセージF 詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。

一覧画面
（2行表示）

一覧画面
（1行表示）

詳細画面

①メッセージの種類を示しています。

：未読のメッセージR

：既読のメッセージR

：未読のメッセージF

：既読のメッセージF

②　：保護されているメッセージR、メッセージF

③　：添付または貼り付けられているファイルを示しています。

④受信した時刻や日付を示しています。当日受信したメッセージは時刻が、前日までに受信したメッセージは日付が表示されます。

メッセージ一覧画面の機能メニュー

● **メッセージ一覧画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
削除	反転表示したメッセージR、メッセージFを削除します。	
選択削除	複数のメッセージR、メッセージFを削除します。 削除するメッセージのチェックボックスを選択→ ⊙[左]→「削除」→「YES」	
全削除	メッセージR、メッセージFをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
保護／保護解除	反転表示したメッセージR、メッセージFを保護／保護解除します。	
ソート	指定した条件に従ってメッセージR、メッセージFを並び替えます。	
	題名順（昇順）	題名の昇順に並び替えます。
	題名順（降順）	題名の降順に並び替えます。
	古い順	日付の古い順に並び替えます。
	新しい順	日付の新しい順に並び替えます。
フィルタ	指定した条件に従ってメッセージR、メッセージFを表示します。	
	全表示	すべてのメッセージを表示します。
	未読のみ	未読のメッセージだけを表示します。
	既読のみ	既読のメッセージだけを表示します。
	保護のみ	保護されているメッセージだけを表示します。
	未保護のみ	保護されていないメッセージだけを表示します。
	貼付けデータのみ	データが貼り付けられているメッセージだけを表示します。
	添付ファイルのみ	ファイルが添付されているメッセージだけを表示します。

メッセージ詳細画面の機能メニュー

● **メッセージ詳細画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します

項　目	説　明
削除	表示中のメッセージR、メッセージFを削除します。
保護／保護解除	表示中のメッセージR、メッセージFを保護／保護解除します。
電話帳登録	メッセージ本文にあるメールアドレスや電話番号を反転表示して電話帳に登録します。 「YES」→電話帳に登録（P.42）
メロディ保存	メッセージR、メッセージFに添付または貼り付けられているメロディを保存します。
ファイル保存	メッセージR、メッセージFに添付されている画像を保存します。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.72

メッセージがあるかどうかを問い合わせる

● ｉモードセンターに届いたメッセージR、メッセージFは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはｉモードセンターに保管されます。
●問い合わせる項目は「ｉモード問合わせ設定」（P.76）で設定します。

1 待受画面表示中に●→「ｉモード問い合わせ」

2 新しく受信したｉモードメールとメッセージR、メッセージFの件数を確認

おしらせ

●「」（オレンジ色）または「」（黄緑色）のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージRまたはメッセージFが保管されています。ｉモードセンターに保管されているメッセージRまたはメッセージFがいっぱいになると「」（赤色）または「」（赤色のアイコンの表示になります。
●「」（赤色）「」（赤色）「」（赤色）などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR、メッセージFを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージR、メッセージFを削除するか、未読のメールやメッセージR、メッセージFを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に削除されます。ただし、保護されているメールやメッセージR、メッセージFは削除されません。

ｉモードの設定を行う

● ホーム表示設定

ホーム表示を利用するための設定をします。（お買い上げ時の設定：「無効」）

1 待受画面表示中に◉→「ｉモード設定」

ｉモード設定画面が表示されます。

2 「ホームURL」→「有効」

■ ホーム設定を無効にする場合

「無効」

3 ホームURLのボックスを選択→ホームURLを入力→「OK」

● 表示に関する設定

1 「ｉモード設定画面」→「表示設定」→以下の項目から選択

項　目	説　明
文字サイズ設定	サイトのページ、画面メモ、メッセージRやメッセージFの詳細画面の本文の文字サイズを設定します（お買い上げ時の設定：「標準表示」）。
画像表示設定	サイトのページや画面メモの詳細画面の画像を表示するかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「表示する」）。
スクロール設定	サイトのページ、画面メモ、メッセージRやメッセージFの詳細画面で◎を押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行」、「3行」または「5行」から選択します（お買い上げ時の設定：「1行」）。
メッセージ一覧表示設定	メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。「1行表示」または「2行表示」から選択します（お買い上げ時の設定：「2行表示」）。

項　目	説　明
貼付けメロディ設定	メッセージR、メッセージFに貼付されているメロディを有効にするかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「有効」）。

● 証明書設定

SSL証明書の内容を確認したり、有効/無効の設定をします。

1 「ｉモード設定画面」→「証明書」

2 有効／無効にする証明書を反転表示→◉［左］→「有効／無効設定」

■ 証明書の詳細を確認する場合

確認する証明書を反転表示→◉［左］→「証明書表示」

● その他の設定

1 「ｉモード設定画面」→「その他の設定」→以下の項目から選択

項　目	説　明
接続待ち時間設定	サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を「60秒」、「90秒」から設定します。「無制限」に設定すると接続は自動的に中止されません（お買い上げ時の設定：「60秒間」）。
自動再生設定	ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「自動再生する」）。
ｉモード問合わせ設定	「ｉモード問い合わせ」（P.75）をするときに問い合わせる項目を設定します（お買い上げ時の設定：「メール」、「メッセージR」、「メッセージF」）。 **問い合わせをする項目のチェックボックスを選択→「OK」**
ｉモード設定確認	「ｉモード設定」で設定した内容を確認できます。
ｉモード設定リセット	「ｉモード設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。 **端末暗証番号を入力→「OK」**

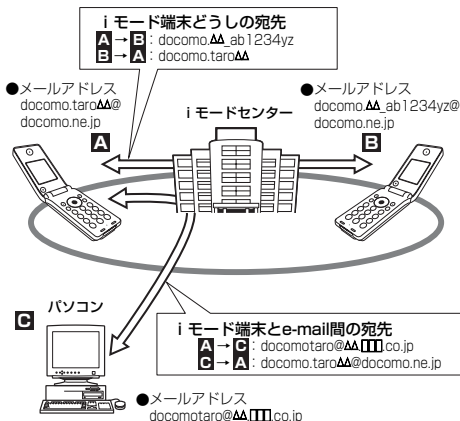
メール

ｉモードメールとは

ｉモードをご契約されるだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
詳しくはｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
ｉモードご契約時のメールアドレスは以下のようになります。

■ 新規にｉモードをご契約の場合

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例) abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
<お客様のメールアドレスの確認方法>
Menu画面→8 オプション設定→1 メール設定→「アドレス確認」

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりするときは、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全体を使用します。

- ｉモードメールの送信方法は→P.78
- ｉモードメールの受信方法は→P.82

ｉモードメールを作成／送信する

1 待受画面表示中に●[右]→「新規メール作成」

新規メール作成画面が表示されます。

2 「To」→宛先を入力

相手がシークレットコードを登録しているときは、宛先を「電話番号XXXX」または「電話番号XXXX@docomo.ne.jp」（XXXXはシークレットコード）と入力します。

3 「Sub」→題名を入力

題名に入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。

4 「≡」→本文を入力

本文に入力できる文字数は全角で5,000文字、半角で10,000文字までです。

5 内容を確認→●[左]→「送信」

おしらせ

- 送信メールと保存メールの合計で100件まで保存できます。
- FOMA 端末に保存されている送信メールと保存メールの合計が最大保存件数または最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に削除されます。ただし、保護されている送信メールは削除されません。必要な送信メールは保護することをおすすめします。→P.88
- 相手のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、相手がシークレットコードを設定しているかどうかを確認し、設定しているときは相手のシークレットコードをつけて送信してください。
  ・電話帳への登録について→P.42
  シークレットコードについては『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、ｉモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。
- 宛先に「，（カンマ）」やスペース（空白）が入力されている場合は送信できません。
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても送信できなかったことを示すメッセージが表示される場合があります。メールは送信BOXに保存されます。
- 相手がｉモードのご契約をされている場合は、movaサービスのｉモード端末に対してもFOMA端末からｉモードメールを送信できます。
- 宛先・題名・本文入力時の機能メニューについて→P.129

新規メール作成画面の機能メニュー

● **新規メール作成画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目		説　明
送信		編集中のメールを送信します。
保存		編集中のメールを保存BOXに保存します。 保存したメールは後で送信できます。→P.81
宛先追加		宛先はCc、Bccも含めて5件まで登録できます。
	電話帳参照	電話帳を検索してメールアドレスを追加します。→P.44
	直接入力	直接メールアドレスを入力して追加します。
宛先※1		宛先を反転表示した状態で以下の操作が行えます。
	電話帳参照	電話帳を検索してメールアドレスを入力します。→P.44
	直接入力	直接メールアドレスを入力します。
	Toに変更※2	CcまたはBccの宛先を通常の宛先に変更します。
	Ccに変更※2	ToまたはBccの宛先をCcの宛先に変更します。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
	Bccに変更	ToまたはCcの宛先をBccの宛先に変更します。入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。
	宛先削除	追加した宛先を削除します。
添付ファイル		ｉモードメールに画像、ｉモーション、メロディのデータを添付します。→P.80
署名貼付		メールの本文に署名を貼り付けます。→P.90
本文削除		編集中のメールの本文を削除します。
メール削除		編集中のメールを削除します。

※1：Toの宛先を設定せずにｉモードメールを送信することはできません。
※2：入力したメールアドレスは受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

ｉモードメールにファイルを添付する

ｉモードでは、次のようなファイルを添付して送信することができます。

ファイルの種類	1件のメールにつき添付できる最大ファイル数	備　考
メロディ	10件	メロディと画像を合わせて最大10件、10,000バイト（全角5,000文字相当）まで添付することができます。ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します。
画像※1		
大容量静止画※2	1件	大容量静止画と動画／ｉモーションは、どちらか1件だけを添付することができます。 ※ｉモーションによっては、添付できないものもあります。
動画／ｉモーション※3 （ｉモーションメール）		

※1：内蔵カメラで撮影した静止画やサイトからダウンロードした10,000バイト以下のJPEG形式、GIF形式の画像。

※2：10,000バイトを超えて100Kバイト以下のJPEG形式の画像。ただし、ｉショットセンターでｉモード対応端末で受信するのに適したサイズに変換して送信されます。10,000バイトを超えるGIF形式の画像をメールに添付することはできません。

※3：100Kバイトまでの動画／ｉモーション

1 「新規メール作成画面」（P.78）→◉[左]→「添付ファイル」

項　目	説　明
添付ファイル追加	「マイピクチャ」、「ｉモーション」、「メロディ」フォルダから添付するファイルを選択します。
添付ファイル削除	添付ファイルを削除します。
添付ファイル確認	添付した画像の表示、ｉモーションやメロディの再生を行います。→P.102、104、107

■ movaサービスのｉモード端末へ画像をｉショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmovaサービスのｉモード端末へｉショットとして送信できます。
movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。ただし、movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
複数のファイルを添付したり、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したすべてのファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。

おしらせ

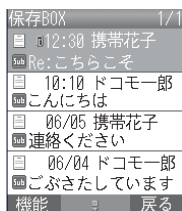
- 画像を送信した場合は、送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
- ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- 添付されたメロディやGIF形式の画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止に設定されているファイルは、添付することができません。
- 内蔵カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。また、本FOMA端末では、撮影した静止画／動画についてFOMA端末外への出力を禁止することができませんので、プライバシー等にご配慮ください。
- 受信側がN600i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

保存したｉモードメールを送信する

保存しているｉモードメールを編集して送信できます。

1 **待受画面表示中に ⊙[右]→「保存BOX」**

保存メール一覧画面が表示されます。

2 **メールを選択→宛先、題名、本文を編集して送信**

保存メール一覧画面の機能メニュー

● **保存メール一覧画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
送信	反転表示したメールを送信します。	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	複数のメールを削除します。 削除するメールのチェックボックスを選択→⊙[左]→「削除」→「YES」	
全削除	保存メールをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。	
	題名順（昇順）	題名の昇順に並び替えます。
	題名順（降順）	題名の降順に並び替えます。
	アドレス順（昇順）	送信元のメールアドレスの昇順に並び替えます。
	アドレス順（降順）	送信元のメールアドレスの降順に並び替えます。
	古い順	日付の古い順に並び替えます。
	新しい順	日付の新しい順に並び替えます。
フィルタ	指定した条件に従ってメールを表示します。	
	全表示	すべてのメールを表示します。
	添付ファイルのみ	ファイルが添付されているメールだけを表示します。

ｉモードメールを読む／返信する／転送する

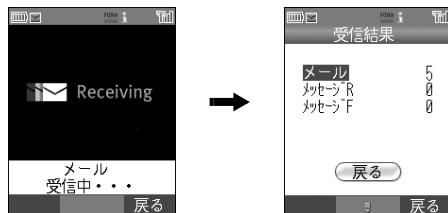
ｉモードメールを表示する

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

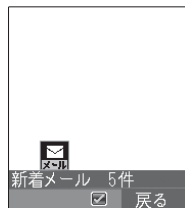
●受信したｉモードメールは、FOMA端末には最大200件保存できます。

1 ｉモードメールを受信すると、「　」（灰色）のアイコンが点滅し、ｉモードメール受信中であることを示すメッセージが表示される

「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている受信メールが最大保存件数または最大保存容量を超えた場合は、受信時に古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.88
- FOMA 端末に保存されている未読または保護されている受信メールが最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信することができず、「　」（赤色）が表示されます。これらのアイコンが消えるまでFOMA端末に保存されている受信メールを削除するか、未読のメールを読んだり、保護を解除した後に「ｉモード問い合わせ」をすると、新しいメールを受信することができます。
- 新しいメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されているほかのメールやメッセージR、メッセージFも合わせて受信します。

新着ｉモードメールを表示する

1 待受画面表示中→◎→「メール」

2 受信したメールを選択

おしらせ

- 表示できない文字はスペース（空白）で表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。
- パソコンなどから受信したメールの場合、そのメール本文中のPhone To機能、AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能が使用できないことがあります。

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり､受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

●本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」（P.90）を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待受画面表示中に●[右]→「メール選択受信」

以降の操作については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

● ｉモードメールが届いたときは

ｉモードセンターからメールを受信したことを通知されたときは､「 」(灰色）は表示されず､センターにメールが保管されていることを示す「 」(灰色）のアイコンが表示されます。

おしらせ

- メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
  - ・待受画面表示中に●→「iMenu」→「メニューリスト」→「メール選択受信」
- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合は、自動的にメールを受信することができません。

ｉモードメールがあるかどうか問い合わせる

●ｉモードセンターに届いたメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはｉモードセンターに保管されます。

●問い合わせる項目は「ｉモード問合わせ設定」（P.90）で設定します。

1 待受画面表示中に●[右]→「ｉモード問い合わせ」

2 新しく受信したｉモードメールとメッセージR､メッセージFの件数を確認→●

おしらせ

- 「 」（灰色）のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されています。ｉモードセンターに保管されているｉモードメールがいっぱいになると「 」（赤色）のアイコンの表示になります。
- 「 」（赤色）「 R 」（赤色）「 F 」（赤色）などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メールやメッセージR、メッセージFを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージR、メッセージFを削除するか、未読のメールやメッセージR、メッセージFを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に削除されます。ただし、保護されているメールやメッセージR、メッセージFは削除されません。
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「 」（灰色）のアイコンが表示されないことがあります。

ｉモードメールに返事を出す

●返信するｉモードメールの題名には「Re:」が追加されます。

1 **「受信メール詳細画面」(P.86)→◉[左]→「返信」→「返信」→題名、本文を編集して送信**

これ以降の詳しい操作手順については、P.78の操作3～5を参照してください。

■ 同報の宛先のすべてに返信したい場合

「返信」→「全員に返信」

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

おしらせ

●送信元が「photo-server@docomo-camera.ne.jp」のｉショットメールには返信できません。

本文を引用して返信する

受信したｉモードメールの本文を引用して返信することもできます。

●引用したｉモードメールの添付ファイルは削除されます。

1 **「受信メール詳細画面」(P.86)→◉[左]→「返信」→「引用返信」→題名、本文を編集して送信**

これ以降の詳しい操作手順については、P.78の操作3～5を参照してください。

返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。

■ 同報の宛先のすべてに引用返信したい場合

「返信」→「全員に引用返信」

おしらせ

●ｉモードメール本文にメロディなどの貼り付けデータがある場合、引用返信をしても貼り付けデータは引用できません。

ｉモードメールをほかの宛先に転送する

●転送するｉモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。

1 **「受信メール詳細画面」(P.86)→◉[左]→「転送」→宛先を入力**

宛先の詳しい入力操作について→P.79

題名や本文を編集して転送することもできます。

2 **◉[左]→「送信」**

おしらせ

●転送するｉモードメールにメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。

●画像がダウンロードされていなかった場合、画像は添付されません。

●ｉモードメール本文に貼り付けデータがある場合は、転送しても貼り付けたデータは引用できません。

ｉモードメールから添付データを再生・保存する

ｉモードメールからメロディを再生・保存する

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたメロディをFOMA端末に保存できます。

●送信元がN600i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

<例：添付されたメロディを保存する場合>

1 「受信メール詳細画面」（P.86）→メロディのファイル名を反転表示

2 ◉[左]→「メロディ保存」→「YES」

保存するメロディのタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

3 ◉

メロディの「INBOX」フォルダに保存されます。

■ メロディをとめる場合

☎、0～9、*[✗]または#[#]

■ メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合

「自動再生設定」（P.91）を「自動再生しない」に設定

■ 保存されているメロディがいっぱいのとき

不要なメロディを削除してから保存します。

おしらせ

●複数のデータが貼り付けされている場合は、貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

画像メールの画像を保存する

受信したｉモードメールに添付された画像を保存できます。

1 「受信メール詳細画面」（P.86）→画像のファイル名を反転表示

2 ◉[左]→「添付ファイル保存」→「YES」

保存する画像のタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

3 ◉

マイピクチャの「INBOX」フォルダに保存されます。

■ 保存されている画像がいっぱいのとき

不要な画像を削除してから保存します。

■ 大容量静止画を保存する場合

ｉモードメールを受信してもFOMA端末に保存されないため、ｉモードセンターから取得して保存します。

「受信メール詳細画面」→URLを選択→「YES」→◉[左]→「画像保存」

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

ｉモーションメールとして送られてきたｉモーションのデータは、メールを受信してもFOMA端末に取得されていないため、ｉモーションメールセンターから取得してから保存します。

●ｉモーション閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。

●あらかじめ、ｉモーションメールを選択します。

1 「受信メール詳細画面」（P.86）→URLを選択→「YES」

2 「保存」

保存するｉモーションのタイトルが表示され、タイトルを編集できます。

3 ◉

ｉモーションの「INBOX」フォルダに保存されます。

■ ｉモーションの取得を途中で中止する場合

ダウンロード中に◉→「YES」

おしらせ

●「自動再生設定」（P.76）で「自動再生する」に設定されている場合は、ｉモーションを取得後、再生します。

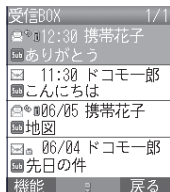
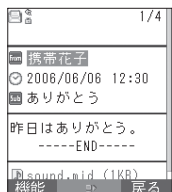
送信／受信メールBOXのｉモードメールを表示する

ｉモードメールは受信メールで最大200件、送信メールと保存メールの合計で最大100件保存できます。保存できるメールの件数は、データ量により変動します。

<例：受信メールの本文を読むとき>

1 待受画面表示中に◉[右]→「受信BOX」

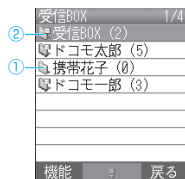
2 フォルダを選択→メールを選択

メールメニュー画面　受信フォルダ一覧画面

受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

■ 前後のメールを表示する場合

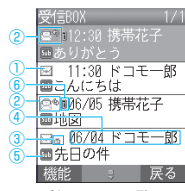
メール詳細画面→◈

◉[右]を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

● フォルダ一覧画面の見かた

受信フォルダ一覧画面

①：未読メールがないことを示しています。
②：未読メールがあることを示しています。

● メール一覧画面の見かた

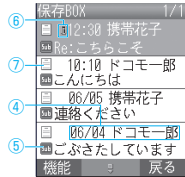
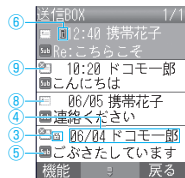
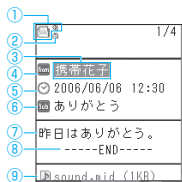
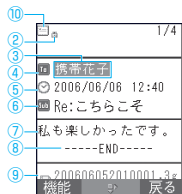
受信メール一覧画面

保存メール一覧画面

送信メール一覧画面

①：未読のメール
②：既読のメール
　：返信したメール
　：転送したメール
③：保護されているメール
④：送受信した時刻や日時、送信元／宛先を示しています。
⑤：題名を示しています。
⑥：ファイルが添付されていることを示しています。
⑦：保存しているｉモードメール
⑧：送信に成功したｉモードメール
⑨：送信に失敗したｉモードメール

● メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面

⑩ ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
1/4
携帯花子
2006/06/06 12:40
Re:こちらこそ
私も楽しかったです。
-----END-----
機能 戻る

送信メール詳細画面

①：受信
- ：受信メール
- ：返信したメール
- ：転送したメール

②：保護されているメール

③：送信元／宛先を示しています。

④：送信タイプ／宛先タイプを示しています。
- ：送信元から宛先に指定
- ：送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定
- ：送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定
- ：送信した宛先
- ：コピーとして同報送信した宛先
- ：ほかの同報送信の宛先に表示されないよう同報送信した宛先

⑤：送受信した時刻や日時を示しています。

⑥：題名を示しています。

⑦：メールの本文を示しています。

⑧：本文の終わりに表示されます。

⑨：添付ファイルや貼付データがあるときは、アイコンとファイル名・バイト数が表示されます。画像が添付されているときはその画像も表示されます。
- ：メロディが貼り付けられていることを示しています。
- ：貼り付けられているメロディのデータが正しくないことを示しています。
- ：貼り付けられているデータが正しくないことを示しています。
- ：メロディが添付されていることを示しています。
- ：画像が添付されていることを示しています。
- ：動画が添付されていることを示しています。
- ／：大容量の静止画／動画が添付されていることを示しています。閲覧用URLを選択すると、ファイルを取得できます。→P.85
- ：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

⑩：送信
- ：送信に成功したｉモードメール
- ：送信に失敗したｉモードメール

受信フォルダ一覧画面の機能メニュー

● **受信フォルダ一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
フォルダ追加	新しくフォルダを追加します。 フォルダ名を入力→◉
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。 フォルダを反転表示→フォルダ名を入力→◉
フォルダ削除	反転表示したフォルダを削除します。
自動振分け設定	受信BOXのフォルダにメールアドレスや題名を設定し、受信したメールをフォルダに自動的に振り分けます。 ・ 振り分け条件にメールアドレスと題名を同時に設定することはできません。 メールアドレスを設定する場合 ◉[左]→「アドレス振分け」→「電話帳参照」(P.44)または「直接入力」→メールアドレスを入力 ・ メールアドレスは５件まで登録できます。 題名を設定する場合 ◉[左]→「題名振分け」→題名を入力 振分け設定を１件解除／全件解除をする場合 ◉[左]→「解除」または「全件解除」→「YES」

おしらせ

- フォルダ内にメールがある場合は、フォルダを削除できません。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

受信メール一覧画面の機能メニュー

● **受信メール一覧画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
フォルダ移動	反転表示したメールをほかのフォルダへ移動します。 移動先のフォルダを選択	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	複数のメールを削除します。 削除するメールのチェックボックスを選択→⊙[左]→「削除」→「YES」	
全削除	受信メールをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
保護／保護解除	反転表示したメールを保護／保護解除します。	
ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。	
	題名順（昇順）	題名の昇順に並び替えます。
	題名順（降順）	題名の降順に並び替えます。
	アドレス順（昇順）	送信元のメールアドレスの昇順に並び替えます。
	アドレス順（降順）	送信元のメールアドレスの降順に並び替えます。
	古い順	日付の古い順に並び替えます。
	新しい順	日付の新しい順に並び替えます。
フィルタ	指定した条件に従ってメールを表示します。	
	全表示	すべてのメールを表示します。
	未読のみ	未読のメールだけを表示します。
	既読のみ	既読のメールだけを表示します。
	保護のみ	保護されているメールだけを表示します。
	未保護のみ	保護されていないメールだけを表示します。
	貼付けデータのみ	データが貼り付けられているメールだけを表示します。
	添付ファイルのみ	ファイルが添付されているメールだけを表示します。

送信メール一覧画面の機能メニュー

● **送信メール一覧画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
再編集	反転表示したメールを再編集して送信します。 宛先、題名、本文を編集→⊙[左]→「送信」	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	複数のメールを削除します。 削除するメールのチェックボックスを選択→⊙[左]→「削除」→「YES」	
全削除	送信メールをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
保護／保護解除	反転表示したメールを保護／保護解除します。	
ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。	
	題名順（昇順）	題名の昇順に並び替えます。
	題名順（降順）	題名の降順に並び替えます。
	アドレス順（昇順）	送信先のメールアドレスの昇順に並び替えます。
	アドレス順（降順）	送信先のメールアドレスの降順に並び替えます。
	古い順	日付の古い順に並び替えます。
	新しい順	日付の新しい順に並び替えます。
フィルタ	指定した条件に従ってメールを表示します。	
	全表示	すべてのメールを表示します。
	保護のみ	保護されているメールだけを表示します。
	未保護のみ	保護されていないメールだけを表示します。
	添付ファイルのみ	ファイルが添付されているメールだけを表示します。

受信メール詳細画面の機能メニュー

● **受信メール詳細画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
返信	「ｉモードメールに返事を出す」→P.84
転送	「ｉモードメールをほかの宛先に転送する」→P.84
フォルダ移動	表示中のメールをほかのフォルダへ移動します。 移動先のフォルダを選択
削除	表示中のメールを削除します。
保護／保護解除	表示中のメールを保護／保護解除します。
アドレス登録	送信元のメールアドレスを電話帳に登録します。 「YES」→電話帳に登録（P.42） 登録候補に複数のメールアドレスが存在する場合 登録するメールアドレスを選択→「YES」
電話帳登録	ｉモードメール本文にあるメールアドレスや電話番号を反転表示して電話帳に登録します。 「YES」→電話帳に登録（P.42）
メロディ保存	「ｉモードメールから添付データを再生・保存する」→P.85
添付ファイル保存	「画像メールの画像を保存する」→P.85
コピー	メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 ・ コピーは2,048バイトまで可能です。

送信メール詳細画面の機能メニュー

● **送信メール詳細画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
再編集	メールを再編集して送信します。 宛先、題名、本文を編集→⊙[左]→「送信」
削除	表示中のメールを削除します。
保護／保護解除	表示中のメールを保護／保護解除します。
アドレス登録	送信した宛先のメールアドレスを電話帳に登録します。 「YES」→電話帳に登録（P.42） 登録候補に複数の宛先が存在する場合 登録する宛先を選択→「YES」→電話帳に登録
電話帳登録	ｉモードメール本文にあるメールアドレスや電話番号を反転表示して電話帳に登録します。 「YES」→電話帳に登録（P.42）
コピー	メールの本文、題名をコピーします。 ・ コピーは2,048バイトまで可能です。

メール機能について設定する

● 通信に関する設定

1 待受画面表示中に◉[右]→「メール設定」

2 「受信設定」

メール設定画面が表示されます。

3 以下の項目から選択

<table>
<tr><th>項 目</th><th colspan="2">説 明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">メール選択受信設定</td><td colspan="2">メールの選択受信をするかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「OFF」）。</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>メールを自動受信しません。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>メールを自動受信します。</td></tr>
<tr><td>添付ファイル設定</td><td colspan="2">添付ファイルを受信するかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「メロディ有効」、「画像有効」）。
受信する添付ファイルのチェックボックスを選択→「OK」</td></tr>
<tr><td>ｉモード問合わせ設定</td><td colspan="2">「ｉモード問い合わせ」（P.83）をするときに問い合わせる項目を設定します（お買い上げ時の設定：「メール」、「メッセージR」、「メッセージF」）。
問い合わせをする項目のチェックボックスを選択→「OK」</td></tr>
</table>

● 編集に関する設定

1 「メール設定画面」→「編集設定」→以下の項目から選択

項 目	説 明
署名編集	本文の最後に書く自分の名前など（署名）を登録します（お買い上げ時の設定：自動貼付しない）。 「自動貼付」のチェックボックスを選択→署名のボックスを選択→署名を入力→「OK」 署名を自動貼り付けしない場合 署名の「自動貼付」のチェックボックスのチェックを外す→「OK」
引用符編集	受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭につける記号や文章（引用符）を編集します（お買い上げ時の設定：「>」）。 引用符のボックスを選択→引用符を入力→「OK」

● 表示に関する設定

1 「メール設定画面」→「表示設定」→以下の項目から選択

項 目	説 明
文字サイズ設定	メール詳細画面で表示されるメール本文の文字サイズを「縮小表示」または「標準表示」から選択します（お買い上げ時の設定：「標準表示」）。
スクロール設定	メール詳細画面で◎を押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行」、「3行」または「5行」から選択します（お買い上げ時の設定：「1行」）。
メール一覧表示設定	メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。「1行表示（題名）」、「1行表示（アドレス）」、「1行表示（名前）」、「2行表示（アドレス）」、「2行表示（名前）」から選択します（お買い上げ時の設定：「2行表示（名前）」）。

項　目	説　明
メールセキュリティ設定	ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります（お買い上げ時の設定：なし）。 端末暗証番号を入力→セキュリティをかけるBOXのチェックボックスを選択→「OK」 メールセキュリティを解除する場合 端末暗証番号を入力→解除するBOXのチェックボックスを外す→「OK」
自動再生設定	受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「自動再生する」）。
貼付けデータ設定	受信したｉモードメールに貼り付けられているメロディを有効にするかどうかを設定します（お買い上げ時の設定：「貼付けメロディ」）。

● その他の設定

1 「メール設定画面」→「その他の設定」→以下の項目から選択

項　目	説　明
メール設定確認	「メール設定」で設定した内容を確認できます。
メール設定リセット	「メール設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。 端末暗証番号を入力→「OK」

SMS（ショートメッセージ）を作成／送信する

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面表示中に●[右]→「SMS」→「SMS作成」

新規SMS画面が表示されます。

2 「To」入力欄に宛先の電話番号を入力

宛先は１件のみ入力できます。

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

「＋」（0を１秒以上押す）→国番号一相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。

・宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれているとき
・宛先の先頭以外に「＋」が含まれているとき
・宛先にスペースが含まれているとき

宛先の先頭に「184」／「186」を入力して送信しようとしたときは、「184」／「186」を削除してSMSを送信します。

3 「本文」入力欄に本文を入力

本文に入力できる文字数は全角で70文字、半角で160文字までです。

4 ●[左]→「送信」

送信成功したSMSは送信済みBOXに、送信失敗したSMSは送信BOXに保存されます。

● SMS（ショートメッセージ）送達通知について〈SMS送達通知表示〉

「SMS送達通知設定」（P.92）を「ON」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。
SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知（ ／ のアイコン）を選択して表示できます。

おしらせ

● movaサービスのｉモード端末ではSMSをｉモードメールとして受信します。また、movaサービスのｉモード端末などから送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
● SMS送信中に電池パックを取り外した場合、SMSは送信されず、保存BOXにも保存されません。
● SMS送達通知が設定されている場合には、movaサービスのｉモード端末にＳＭＳを送信できません。
● FOMA端末に保存されている送信SMSが最大保存件数または最大保存容量を超えた場合は、送信SMSのうち古いメールから順に自動的に削除されます。
● 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
● 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
● 発信者番号通知（P.28）を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
● 宛先・本文入力時の機能メニューについて→P.129

新規SMS画面の機能メニュー

● **新規SMS画面**表示中に●[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
送信	SMSを送信します。
保存	編集中のSMSを保存BOXに保存します。 保存したSMSは後で送信できます。→P.93
SMS有効期間設定	送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日」、「1日」、「2日」、「3日」から選択します。 「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
SMS送達通知設定	SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

保存したSMS（ショートメッセージ）を送信する

保存しているSMSを編集して送信できます。

1 待受画面表示中に[・][右]→「SMS」

2 「保存BOX」

保存SMS一覧画面が表示されます。

3 SMSを選択→宛先、本文を編集して送信

保存SMS一覧画面の機能メニュー

● 保存SMS一覧画面表示中に[・][左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
編集	保存したSMSを編集します。
削除	反転表示したSMSを削除します。
全削除	保存SMSをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

おしらせ

● SMSを保護することはできませんので、SMSの削除、全削除を行う際はご注意ください。

SMS（ショートメッセージ）を読む／返信する／転送する

SMS（ショートメッセージ）を表示する

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

● SMSの保存件数（受信SMS、送信SMS、送信済みSMS、保存SMS）は合計で最大200件となります。

● movaサービスのｉモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

1 SMSを受信すると、「[SMS]」（オレンジ色）のアイコンが表示され、SMS受信中であることを示すメッセージが表示される

待受画面には「[SMS]」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に保存されている未読の受信SMS、送信SMSおよび保存SMSの合計が最大保存件数になった場合は、新しいSMSを受信することができず、「[SMS]」（赤色）が表示されます。これらのアイコンが消えるまでFOMA端末に保存されている受信SMSを削除するか、未読のSMSを読んだ後に「SMS問い合わせ」をすると、新しいSMSを受信することができます。

● FOMA端末（本体）に保存されている未読のSMSが最大保存件数になった場合、「保存先設定」（P.96）でSMSの保存先をFOMAカードに設定していても、SMSを受信することはできません。

● FOMAカードに20件SMSが保存されている場合、SMSの受信ができません。この場合、「保存先設定」（P.96）でSMSの保存先をFOMA端末（本体）に設定していても受信することはできません。

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

1 待受画面表示中→◎→「✉SMS」

2 受信したSMSを選択

おしらせ

- 表示できない文字はスペース（空白）で表示されます。
- 「SMS 送達通知設定」（P.92）でSMS 送達通知を「ON」に設定した場合のみ、SMS 送達通知が送られてきます。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうか問い合わせる

- SMS センターに届いたメールは自動的に FOMA 端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。

1 待受画面表示中に◉[右]→「SMS」→「SMS問い合わせ」

2 新しく受信したSMSの件数を確認→◉

送信／受信メールBOXのSMS（ショートメッセージ）を表示する

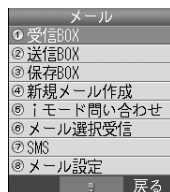
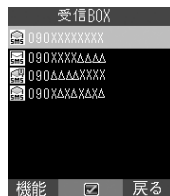
保存できるSMSの件数は、データ量により変動します。

＜例：受信SMSの本文を読むとき＞

1 待受画面表示中に◉[右]→「SMS」

2 「受信BOX」→SMSを選択

メールメニュー画面

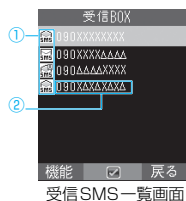
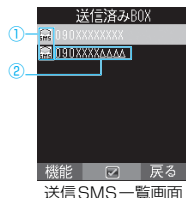
SMS
1 受信BOX
2 送信BOX
3 送信済みBOX
4 保存BOX
5 SMS作成
6 SMS問い合わせ
7 SMS設定
8 保存件数確認
件数=4　未読=1
戻る

SMSメニュー画面

受信SMS一覧画面

受信SMS詳細画面

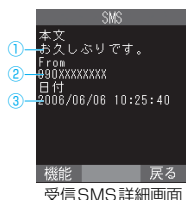
■ 前後のページを表示する場合

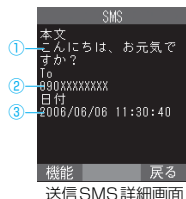
SMS詳細画面→◎

● SMS一覧画面の見かた

受信SMS一覧画面

① ：未読のSMS
：既読のSMS、または送信したSMS
：FOMAカード内にある未読のSMS
：FOMAカード内にある既読のSMS
：未読のSMS送達通知
：既読のSMS送達通知
：FOMAカード内にある未読のSMS送達通知
：FOMAカード内にある既読のSMS送達通知
②：送信元／宛先を示しています。

送信SMS一覧画面

※送信に失敗したSMSの場合、送信BOXの送信一覧画面が表示されます。表示内容は同じです。

● SMS詳細画面の見かた

受信SMS詳細画面

①：メールの本文を示しています。
②：送信元／宛先を示しています。
③：送受信した時刻や日時を示しています。

送信SMS詳細画面

※送信BOXと送信済みBOX内の送信SMS詳細画面における表示内容は同じです。

受信SMS／送信SMS一覧画面の機能メニュー

● **受信SMS／送信SMS一覧画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
表示	反転表示したSMSの詳細画面を表示します。
削除	反転表示したSMSを削除します。
全削除	受信SMS／送信SMSをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

受信SMS詳細画面の機能メニュー

● **受信SMS詳細画面**表示中に⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
返信	SMSの送信元に返信します。 本文を編集→⊙[左]→「送信」
転送	SMSの送信元に転送します。 宛先の電話番号を入力→⊙[左]→「送信」 本文を編集して転送することもできます。
削除	表示中のSMSを削除します。
電話番号一覧	SMSの送信元やSMS本文に表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話を発信したり、電話帳に電話番号を登録します。 音声電話をかける場合 電話番号を選択→⊙[左]→「発信」→「YES」→📞 電話帳に登録する場合 電話番号を選択→⊙[左]→「電話帳登録」→電話帳に登録（P.42）
FOMA カードへコピー／ FOMAカードからコピー	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーします。

おしらせ

- SMSを保護することはできませんので、SMSの削除、全削除を行う際はご注意ください。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- SMS送達通知（P.92）や留守番着信通知は返信／転送することはできません（留守番着信通知の詳細については、(『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

送信SMS詳細画面の機能メニュー

●送信SMS詳細画面表示中に⦿[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
送信	SMSを送信します。
編集	SMSを編集して送信します。 宛先、本文を編集→⦿[左]→「送信」
削除	表示中のSMSを削除します。

おしらせ

●SMSを保護することはできませんので、SMSの削除を行う際はご注意ください。

● FOMA端末本体とFOMAカードの保存件数を確認する

1 待受画面表示中に⦿[右]→「SMS」

2 「保存件数確認」

FOMA端末とFOMAカードの残件数（空き容量）と保存可能件数（総容量）がそれぞれ表示されます。

＜SMS設定＞

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

1 待受画面表示中に⦿[右]→「SMS」

2 「SMS設定」→以下の項目から選択

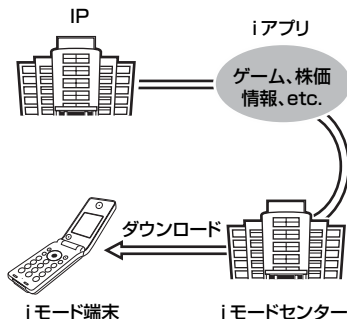
項　目		説　明
SMS center設定		ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。
	NTT DoCoMo	ドコモのSMSセンターを利用します。
	ユーザ設定	他社のSMSセンターを利用します。 SMSセンターのアドレスを入力
	リセット	「ユーザ設定」の内容を削除し、「NTT DoCoMo」に設定します。 端末暗証番号を入力→「YES」
保存先設定		SMSの保存先を「本体」または「FOMAカード」から選択します。

おしらせ

●「SMS center設定」は、通常は設定を変更する必要はありません。
●入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「*」が含まれていた場合は、「International」を選択することはできません。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。
ｉアプリのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

ｉモードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動できます。
● ダウンロードしたソフトは最大50件まで保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量により変動します。

1 サイト表示中→ソフトを選択

ダウンロードが完了したことを通知するメッセージが表示されたら、◉を押します。

■ **データの受信中にダウンロードを中止する場合**

ダウンロード中→◉

■ **ソフト設定画面が表示された場合**

ソフトを設定→◉

通信設定について→P.99

2 「YES」

ダウンロードしたソフトが起動します。

■ **ソフトを起動しない場合**

「NO」

■ **ソフトの起動を中止する場合**

ソフト起動中→◉

おしらせ

- 接続するサイトやソフトのデータ量によっては、ダウンロードできない場合があります。
- 保存されているソフトがいっぱいの場合、ソフトを削除してからダウンロードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。このとき、電波状況などによりソフトのダウンロードが失敗した場合、削除したソフトは元に戻せません。
- ソフトによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「通信設定」（P.99）で通信を行わないように設定することもできます。
- ダウンロード時に、携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信するかどうか確認のメッセージが表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。このとき、お客様の携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。中止する場合は「NO」を選択します。

ｉアプリを起動する

1 **待受画面表示中に◉[左]→ (ｉアプリ)→「ソフト一覧」**

ソフト一覧画面が表示されます。

2 **起動するソフトを選択**

● ｉアプリを終了する

☎ →「YES」

ソフト一覧画面の機能メニュー

● **ソフト一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
バージョンアップ	「ｉアプリをバージョンアップする」→P.100
削除	反転表示したソフトを削除します。
選択削除	複数のソフトを削除します。 削除するソフトのチェックボックスを選択→◉[左]→「削除」→「YES」
全削除	ソフトをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」
ソフト情報	ソフト名やバージョン、ファイルサイズなどｉアプリの詳細情報を表示します。
証明書	証明書の所有者・発行者を表示します。
通信設定	通信を行うソフトの場合、ソフトが通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、ソフトを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。
自動起動設定	自動起動が可能なソフトの場合、ソフトで指定されている間隔での自動起動を許可するかしないかを設定します。 ・ 自動起動を行う間隔は、ソフト情報を参照してください。
ソフト情報表示設定	ソフトをダウンロードするときにソフト情報を表示するかしないかを設定します。
トレース情報	ソフトのトレース情報を表示します。 トレース情報を削除する場合 ◉[左]→「YES」
システム情報	ソフトの使用データ容量と空きデータ容量を表示します。

お買い上げ時に登録されているソフト

本FOMA端末には「ページワン」と「ボトルレター」のソフトがあらかじめ登録されています。

ページワン

トランプゲームの「ページワン」です。最初に配られる5枚のカードを、場のカードと同じマーク、もしくは同じ数字のカードを出していき、１番早く手札をなくすと勝ちとなるゲームです。

1 **待受画面表示中に◉[左]→ (ｉアプリ）→「ソフト一覧」**

2 **「ページワン」**

3 **◉**

ゲームがはじまります。

■ 詳しい操作方法を表示する場合

◉[左]

ボトルレター

スタートからゴールまでの水路を上手につなげてボトルレターを届けるゲームです。

1 **待受画面表示中に◉[左]→ (ｉアプリ）→「ソフト一覧」**

2 **「ボトルレター」**

3 **「ゲーム開始」**

ゲームがはじまります。

■ 詳しい操作方法を表示する場合

「あそびかた」

ｉアプリの設定を行う

ｉアプリの照明を設定する

1 待受画面表示中に◉[左]→ α（ｉアプリ）→「α照明設定」

2 「システム依存」または「ソフト依存」を選択

「システム依存」を選択すると、FOMA端末の「省電力モード」（P.50）の設定内容が反映されます。ソフトでの照明の設定内容を反映させる場合は「ソフト依存」を選択します。

ｉアプリのバイブレータを設定する

1 待受画面表示中に◉[左]→ α（ｉアプリ）→「αバイブレータ」

2 「システム依存」または「ソフト依存」を選択

「システム依存」を選択すると、FOMA端末の「バイブレータ」（P.48）の設定内容にかかわらずバイブレータは動作しません。ソフトでのバイブレータの設定内容を反映させる場合は「ソフト依存」を選択します。

自動起動できなかったｉアプリの情報を表示する

1 待受画面表示中に◉[左]→ α（ｉアプリ）→「自動起動失敗情報」

自動起動設定（P.99）で設定したソフトが自動起動に失敗した場合、その内容を表示します。

■ 自動起動失敗情報を削除する場合

◉[左]→「YES」

ｉアプリをバージョンアップする

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面の機能メニュー（P.99）→「バージョンアップ」→「YES」

データBOX

画像を表示する

撮影した静止画やメールやサイトからダウンロードした画像は、データBOXのマイピクチャで表示します。

1 待受画面表示中に◉[左]→(データBOX)→「マイピクチャ」

2 フォルダを選択

画像一覧画面が表示されます。

3 画像を選択

マイピクチャ画面が表示されます。

■ 全体表示に切り替える場合

◉を押す

● データBOXの保存容量／件数について

データBOXには、内蔵されているデータを含めて合計13Mバイトまでの画像、ｉモーション、メロディを保存できます。データBOXの保存可能件数は、内蔵されているデータを含めて500件です。

画像一覧画面の機能メニュー

● **画像一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
名称変更	反転表示した画像のファイル名／タイトルを編集します ファイル名を編集する場合 「ファイル名編集」→ファイル名を編集→◉ タイトルを編集する場合 「タイトル編集」→タイトルを編集→◉	
イメージ表示	反転表示した画像を表示します。	
待受画面設定	反転表示した画像を待受画面に設定します。	
イメージ情報	ファイル名やファイルサイズなど画像の詳細情報を表示します。	
ｉモードメール作成	反転表示した画像を添付したｉモードメールを作成します。→P.78	
削除	反転表示した画像を削除します。	
全削除	フォルダ内の画像をすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
選択削除	複数の画像を削除します。 削除する画像を選択→◉[左]→「選択削除」→「YES」	
ソート	指定した条件に従って画像を並び替えます。	
	新しい順	保存した日付の新しい順に並び替えます。
	古い順	保存した日付の古い順に並び替えます。
	タイトル昇順	タイトルの昇順［数字（123）→ひらがな（あいう）→漢字］に表示します。
	タイトル降順	タイトルの降順［漢字→ひらがな（ういあ）→数字（321)］に表示します。
	大きい順	ファイル容量の大きい順に表示します。
	小さい順	ファイル容量の小さい順に表示します。
一覧表示切替	画像の一覧表示のしかたを設定します。	
	タイトル名一覧	タイトル名一覧に切り替えます。
	ピクチャ一覧	サムネイル表示に切り替えます。

マイピクチャ画面の機能メニュー

● **マイピクチャ画面**表示中に ⊙[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
スライドショー	フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。
待受画面設定	表示している画像を待受画面に設定します。
イメージ情報	ファイル名やファイルサイズなど画像の詳細情報を表示します。
ｉモードメール作成	表示している画像を添付したｉモードメールを作成します。→P.78
削除	表示している画像を削除します。

おしらせ

- 待受画面のサイズ（178×180ドット）より大きい画像を待受画面に設定する場合、縦横の比率を変えずに縮小されて画像全体が表示されます。待受画面のサイズより小さい画像の場合は等倍で表示されます。
- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。
- プリインストールフォルダ内の内蔵されている画像は、タイトル編集、削除ができません。
- 画像によっては待受画面に設定できない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像を添付してｉモードメール作成できません。

タイトル名一覧／ピクチャ一覧の見かた

■ タイトル名一覧
画面に9件の画像がタイトル名一覧で表示され、画像種別をアイコンで確認できます。

■ ピクチャ一覧
画面に4枚の画像がサムネイルで表示され、選択されている画像のタイトルと画像種別（アイコン）を確認できます。

● 画像種別アイコンについて

アイコン	説　明
	JPEG形式の画像
	GIF 形式の画像
	ファイル制限が設定されているJPEG形式の画像
	ファイル制限が設定されているGIF形式の画像
	FOMAカード動作制限に該当している画像

● データBOXの保存容量を確認するには

待受画面表示中に⊙[左]→（データBOX）→保存容量確認
マイピクチャ、ｉモーション、メロディの使用状況と、データBOX全体の使用状況・空き容量が表示されます。

動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションで再生します。

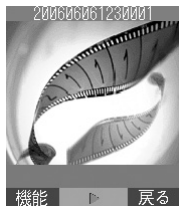
●「データBOXの保存容量／件数について」→P.102
●「サイトからｉモーションを取得して再生・保存する」→P.72
●「データBOXの保存容量を確認するには」→P.103

1 待受画面表示中に◉[左]→(データBOX)→「ｉモーション」

2 フォルダを選択

動画一覧画面が表示されます。

3 動画を選択

動画の再生がはじまります。
再生が終わると、**ｉモーション停止画面**になります。
再生中に◉を押すと再生を一時停止し、**ｉモーション一時停止画面**になります。

動画一覧画面の機能メニュー

●**動画一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
名称変更	反転表示した動画のファイル名／タイトルを編集します ファイル名を編集する場合 「ファイル名編集」→ファイル名を編集→◉ タイトルを編集する場合 「タイトル編集」→タイトルを編集→◉	
再生	反転表示した動画を再生します。	
ｉモーション情報	ファイル名やファイルサイズなど動画の詳細情報を表示します。	
ｉモードメール作成	反転表示した動画を添付したｉモードメールを作成します。→P.78	
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。	
削除	反転表示した動画を削除します。	
全削除	フォルダ内の動画をすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
選択削除	複数の動画を削除します。 削除する動画を選択→◉[左]→「選択削除」→「YES」	
ソート	指定した条件に従って動画を並び替えます。	
	新しい順	保存した日付の新しい順に並び替えます。
	古い順	保存した日付の古い順に並び替えます。
	タイトル昇順	タイトルの昇順［数字（123）→ひらがな（あいう）→漢字］に表示します。
	タイトル降順	タイトルの降順［漢字→ひらがな（ういあ）→数字（321）］に表示します。
	大きい順	ファイル容量の大きい順に表示します。
	小さい順	ファイル容量の小さい順に表示します。
一覧表示切替	動画の一覧表示のしかたを設定します。	
	タイトル名一覧	タイトル一覧に切り替えます。
	ピクチャ一覧	プレビュー表示に切り替えます。

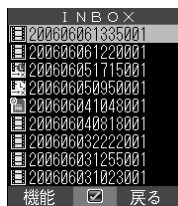
ｉモーション停止／一時停止画面の機能メニュー

● **ｉモーション停止／一時停止画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
再生	一時停止のとき、一時停止した位置から再生を再開します。
スライドショー	フォルダ内の動画を連続して再生します。
早送り	動画を早送りします。 通常の再生に戻る場合 ●を押して一時停止→◉[左]→「再生」
早戻し	ｉモーションを早戻しします。 通常の再生に戻る場合 ●を押して一時停止→◉[左]→「再生」
停止	ｉモーションを終了してｉモーション停止画面に戻ります。
ｉモーション情報	ファイル名やファイルサイズなど動画の詳細情報を表示します。
ｉモードメール作成	表示している動画を添付したｉモードメールを作成します。→P.78
削除	表示している動画を削除します。

おしらせ

● 再生制限つきのｉモーションや、FOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを添付してｉモードメールを作成することはできません。
● 早送り中は動画再生を停止し、無音となります。

タイトル名一覧／ピクチャー覧の見かた

■ タイトル名一覧
画面に9件の動画がタイトル名一覧で表示され、動画種別（アイコン）を確認できます。

■ ピクチャー覧
動画のプレビュー画像が表示され、選択されている動画のタイトルと動画種別（アイコン）を確認できます。

● 動画種別アイコンについて

アイコン	説　明
(アイコン)	MP4形式の動画、ｉモーション
(アイコン)	MP4形式の再生制限ありのｉモーション（再生可）
(アイコン)	MP4形式の再生制限ありのｉモーション（再生不可）
(アイコン)	ファイル制限が設定されている動画、ｉモーション
(アイコン)	FOMAカード動作制限に該当している動画、ｉモーション

ｉモーション再生中の操作について

ｉモーション再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
●	再生一時停止／再生を再開
⇕	音量調節 ・ レベル０～４の５段階で調節できます（音量レベルは表示されません）。
⇔	前後の動画やｉモーションの再生
・[左]	早送り／通常再生に戻す ・ 早送り中は動画再生を停止し、無音となります。
←を１秒以上	早戻し ・ ボタンを離すと通常再生に戻る
・[右]	終了
→を１秒以上	早送り ・ ボタンを離すと通常再生に戻る

<メロディ>

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生できます。

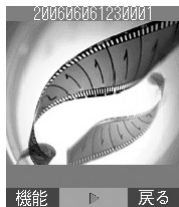
●「データBOXの保存容量／件数について」→P.102
●「データBOXの保存容量を確認するには」→P.103

1 待受画面表示中に◉[左]→(データBOX)→「メロディ」

2 フォルダを選択

メロディ一覧画面が表示されます。

3 メロディを選択

メロディの再生がはじまります。
再生が終わると、**メロディ停止画面**になります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

● **メロディ一覧画面**表示中に◉[左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明	
名称変更	反転表示したメロディのファイル名／タイトルを編集します ファイル名を編集する場合 「ファイル名編集」→ファイル名を編集→◉ タイトルを編集する場合 「タイトル編集」→タイトルを編集→◉	
再生	反転表示したメロディを再生します。	
着信音設定	反転表示したメロディを着信音に設定します。 項目を選択	
ｉモードメール作成	反転表示したメロディを添付したｉモードメールを作成します。→P.78	
メロディ情報	ファイル名やファイルサイズなどメロディの詳細情報を表示します。	
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。	
削除	反転表示したメロディを削除します。	
全削除	フォルダ内のメロディをすべて削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」	
選択削除	複数のメロディを削除します。 削除するメロディのチェックボックスを選択→◉[左]→「選択削除」→「YES」	
ソート	指定した条件に従ってメロディを並び替えます。	
	新しい順	保存した日付の新しい順に並び替えます。
	古い順	保存した日付の古い順に並び替えます。
	タイトル昇順	タイトルの昇順［数字（123）→ひらがな（あいう）→漢字］に表示します。
	タイトル降順	タイトルの降順［漢字→ひらがな（うい あ）→数字（321）］に表示します。
	大きい順	ファイル容量の大きい順に表示します。
	小さい順	ファイル容量の小さい順に表示します。

メロディ停止画面の機能メニュー

● **メロディ停止画面**表示中に [左]を押して機能メニューを表示します。

項　目	説　明
着信音設定	選択したメロディを着信音に設定します。 **項目を選択**
ｉモードメール作成	選択したメロディを添付したｉモードメールを作成します。→P.78
メロディ情報	ファイル名やファイルサイズなどメロディの詳細情報を表示します。
削除	選択したメロディを削除します。

おしらせ

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。
- プリインストールフォルダ内の内蔵されているメロディは、タイトル編集、削除ができません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているメロディを添付してｉモードメールを作成することはできません。

メロディ一覧の見かた

ＩＮＢＯＸ
ホノルルの夕べ
テーマソング
アメリカンロック
映画サウンド
ヒット曲
ＭＹ＆Ｋ
アニメの歌
湘南レース
なつかしのメロディ
機能　戻る

■ **メロディ一覧**
画面に9件のメロディがタイトル名一覧で表示され、メロディ種別（アイコン）を確認できます。

● メロディ種別アイコンについて

アイコン	説　明
	MFi形式のメロディ
	SMF形式のメロディ
	ファイル制限が設定されているMFi形式のメロディ
	ファイル制限が設定されているSMF形式のメロディ
	FOMAカード動作制限に該当しているメロディ

メロディ再生中の操作について

メロディ再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
	再生停止／再生を再開
	音量調節 ・ レベル0～4の5段階で調節できます（音量レベルは表示されません）。
	前後のメロディの再生
[右]	終了

その他の機能

＜マルチアクセス＞

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にSMSを受信したり、ｉモード中に音声電話を受けたりできます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる主な組み合わせパターンは次のとおりです。

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話		テレビ電話		ｉモードメール		SMS	
	発信	着信	発信	着信	送信	受信	送信	受信
音声通話中	△※1	△※1	ー	×	ー	×	ー	○
テレビ電話中	ー	×	ー	×	ー	×	ー	○
ｉモード中	○※2	○	○※2	×	○※3	△※4	ー	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	ー	×	ー	×	ー	×	ー	○
SMS送受信中	ー	○	ー	○	ー	○	ー	△※5

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。
ー：機能的に実現しない組み合わせです。

※1：「キャッチホン」をご契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発着信することができます。
※2：Phone To／AV Phone To機能を利用した場合のみ、音声電話／テレビ電話を発信できます。
※3：Mail To機能を利用した場合のみｉモードメールを送信できます。
※4：ｉモードを終了してから新たに発生したｉモードメール受信を行います。ダウンロード中の場合は、ダウンロード完了後にｉモードメール受信を行います。
※5：現在の送受信を終了してから新たに発生したSMS受信を行います。

おしらせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。
- テレビ電話中、パソコンなどと接続してのパケット通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。

ｉモード中の音声電話着信

ｉモードの接続中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、ｉモードを終了しないで音声電話に出ることができます。

- ｉモード中にテレビ電話を受けることはできません。

1

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

2 通話が終了したら

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

SMS送受信中の音声電話／テレビ電話着信

SMSの送受信中に音声電話／テレビ電話がかかってくると、音声電話／テレビ電話着信画面に切り替わり、SMSの送受信を終了しないで音声電話／テレビ電話に出ることができます。

1

音声通話中／テレビ電話中画面に切り替わり、通話ができます。

2 通話が終了したら

SMS送受信中のｉモードメール受信

SMSの送受信中にｉモードメールを受信すると、ｉモードメール受信画面に切り替わり、SMS送受信を中止しないでｉモードメールを確認することができます。

通信中のSMS（ショートメッセージ）受信

音声通話中やｉモード中などの通信中にSMSを受信すると、現在の通信中画面のままSMSを受信します。
SMSを受信すると、着信音は鳴らずに「SMS」（オレンジ色）が点灯して受信をお知らせします。現在の通信を終了後、受信したSMSを確認します。

<スケジュール>

スケジュール機能を利用する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、スケジュールの内容をお知らせします。スケジュールはカレンダーで管理します。
- スケジュールは60件まで登録できます。
- スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。

スケジュールを表示する

1 待受画面表示中に[左]→(ツール)→「スケジュール」

スケジュール画面が表示されます。

2 日付を選択する

スケジュール一覧画面が表示されます。

3 スケジュールを選択する

スケジュール詳細画面が表示されます。

スケジュール画面の機能メニュー

- **スケジュール画面**を表示中に[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
新規作成	新しくスケジュールを登録します。
日付選択	選択した日付に登録されているスケジュールを一覧で表示します。 で日付を選択→→スケジュール画面で選択した日付を確認→
スケジュール一覧	FOMA端末に登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
スケジュール件数	スケジュールの空き件数と登録できる件数を表示します。

スケジュール一覧画面の機能メニュー

- **スケジュール一覧画面**を表示中に[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
詳細表示	反転表示したスケジュールの詳細画面を表示します。
新規作成	新しくスケジュールを登録します。
削除	反転表示したスケジュールを削除します。
全削除	すべてのスケジュールを削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

スケジュールを登録する

1 待受画面表示中に[左]→(ツール)→「スケジュール」

2 [左]→「新規作成」

3 以下の項目を設定

項　目	説　明
日付	スケジュールを登録する日付を設定します。 で年／月／日を選択しで数値を選択→
時刻	スケジュールの開始時刻を設定します。 時刻表示選択を「12時間」に設定している場合 で時（12時間）／分／AM、PMを選択しで数値を選択→ 時刻表示選択を「24時間」に設定している場合 で時（24時間）／分を選択しで数値を選択→
内容	スケジュールの内容を入力します。
アラーム音	アラーム音を選択します。 ・ アラーム音の選択中に[左]を押すと、アラーム音を確認できます。

項　目	説　明	
繰り返し	スケジュールの繰り返しを設定します。	
	なし	設定した日付･時刻に１回だけスケジュールを設定します。
	毎日	設定した時刻に毎日スケジュールを設定します。
	曜日指定	毎週同じ曜日・時刻にスケジュールを設定します。 ・ 登録した日付以降の毎週同じ曜日・時刻に設定されます。
	日付指定	毎月同じ日付・時刻にスケジュールを設定します。 ・ 登録した日付以降の毎月同じ日付・時刻に設定されます。
ON/OFF	スケジュールを通知するかどうかを設定します。 ・「OFF」に設定すると、設定した日時になってもスケジュールは通知されません。	

4 [左]

■お願い

- 「スケジュール」に登録した内容は、別にメモを取ることをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.157）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

<めざまし時計>

めざまし時計を使う

● めざまし時計は３件まで登録できます。

1 **待受画面表示中に[左]→(ツール)→「めざまし時計」**

2 **設定する項目を選択**

3 **以下の項目を設定**

項　目	説　明	
時刻入力	アラームを鳴らす時刻を設定します。 時刻表示選択を「12時間」に設定している場合 で時（12時間）／分／AM、PMを選択しで数値を選択→ 時刻表示選択を「24時間」に設定している場合 で時（24時間）／分を選択しで数値を選択→	
繰り返し	めざまし時計の繰り返しを設定します。	
	なし	設定した時刻に１回だけアラームを鳴らします。
	毎日	設定した時刻に毎日アラームを鳴らします。
	曜日指定	選択した曜日にアラームを鳴らします。 曜日を選択→[左]
アラーム音	アラーム音を選択します。 ・ アラーム音の選択中に[左]を押すと、アラーム音を確認できます。	
めざまし名	めざましの名前を入力します。	
ON/OFF	めざまし時計を開始するか停止するかを設定します。 ・「OFF」に設定すると、設定した時刻になってもアラームは鳴りません。	

おしらせ

- 電源をOFFにしている場合、設定した時刻になってもアラームは鳴りません。

<電卓>

電卓を使う

FOMA端末で四則演算（+、−、×、÷）を行うことができます。
● 数字は9桁まで表示できます（−（マイナス）、小数点を除く）。
● 計算結果が9桁を超えた場合は、「E」と表示されます。

1 待受画面表示中に◉[左]→（ツール）→「電卓」

2 計算を行う

<例：「23」+「57」を計算する場合>

2（2）→3（3）→◉（+）→5（5）→7（7）→◉（=）

おしらせ

● 四則演算を行う前に◉[左]を押すと、入力中の数値が消去されます。四則演算を行ったあとに◉[左]を押すと、計算中の数値がすべて消去されます。

<テキストメモ>

テキストメモを利用する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。
● テキストメモは9件まで登録できます。

1 待受画面表示中に◉[左]→（ツール）→「テキストメモ」

テキストメモ一覧画面が表示されます。

2 「<未登録>」→◉

■ すでに登録されているテキストメモの内容を確認する場合

確認するテキストメモを選択

・テキストメモの内容確認中に◉[左]を押すと、テキストメモの内容を編集できます。

3 内容を入力する

■お願い

● 「テキストメモ」に登録した内容は、別にメモを取ることをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.157）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
● FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

テキストメモ一覧画面の機能メニュー

● **テキストメモ一覧画面**を表示中に ⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
表示	テキストメモの内容を表示します。 ・ テキストメモの内容表示中に ⊙[左]を押すと、テキストメモの内容を編集できます。
編集	テキストメモの内容を編集します。
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成して送信します。本文にはテキストメモの内容が入力された状態になります。→P.78
削除	反転表示したテキストメモを削除します。
全削除	すべてのテキストメモを削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

＜定型文＞

定型文を利用する

定型文をあらかじめ登録しておくと、文字入力（編集）画面で呼び出して入力できます。定型文は3つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1～2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ9件保存されています。フォルダ3には自作の定型文を9件まで登録できます。

1 待受画面表示中に ⊙[左]→ (ツール)→「定型文」

定型文フォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択

定型文一覧画面が表示されます。

3 「<未登録>」→内容を入力

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

● **定型文フォルダ一覧画面**を表示中に ⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時の名前に戻します。

定型文一覧画面の機能メニュー

● **定型文一覧画面**を表示中に ⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
定型文編集	定型文の内容を編集します。
削除	反転表示した定型文を削除します。
全削除	すべての定型文を削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

おしらせ

- フォルダ1～2の固定定型文も編集できます。
- 固定定型文の削除／全削除を行った場合は、お買い上げ時の内容に戻ります。

<ユーザ辞書>

よく使う単語を登録する

よく使う単語をユーザ辞書に登録しておくと、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換したとき、変換候補に登録した単語が表示されます。

- 単語は100件まで登録できます。
- 単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで8文字まで入力できます。

1 待受画面表示中に◉[左]→ (ツール)→「ユーザ辞書」

ユーザ辞書一覧画面が表示されます。

2 ◉[左]→「新規登録」

■ すでに登録されている単語の内容を確認する場合

確認する単語を選択

ユーザ辞書詳細画面が表示され、選択した単語の内容を確認できます。

・ユーザ辞書詳細画面表示中に◉を押すと、単語を編集できます。

3 単語を入力→読みを入力

ユーザ辞書一覧／詳細画面の機能メニュー

- **ユーザ辞書一覧**／**詳細画面**を表示中に◉[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
新規登録	新しく単語を登録します。
編集	単語と読みを編集します。
削除	反転表示した単語を削除します。
選択削除	選択した複数の単語を削除します。 削除する単語を選択→◉[左]
全削除	すべての単語を削除します。 端末暗証番号を入力→「YES」

<スイッチ付イヤホンマイク>

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを使って電話を受けることができます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.18
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

FOMA端末を折り畳んだ状態でスイッチを押してもかかってきた電話を受けることができます。

■ 音声電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

■ テレビ電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、代替画像でテレビ電話に出ます。◉[左]を押して「自画像送信／代替画像送信」を選択すると、カメラ映像に切り替えることができます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- 「オート着信」を「ON」に設定すると、かかってきた電話をスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。→P.53
- 電話がかかってきたとき、着信音は最初の約20秒間は平型スイッチ付きイヤホンマイクから鳴り、以降はFOMA端末のスピーカから鳴ります。
- 通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してもハンズフリーにはなりません。スイッチを1秒以上押すと通話が切れますのでご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末ではドコモの各種ネットワークサービスをご利用いただけます。サービスを利用するにはFOMA端末のメニュー操作から行う方法と、ダイヤル操作（特番操作）で行う方法があります。
本書ではメニュー操作による以下のサービスのご利用方法について説明します。

サービス名称	内容	お申込	使用料
発信者番号通知サービス →P.28	電話をかけたときにお客様のFOMA端末の電話番号を相手にお知らせします。	不要	無料
留守番電話サービス→P.118	お客様に代わって伝言をお預かりします。	必要	有料
キャッチホン →P.119	通話中にかかってきた別の電話を受けることができます。	必要	有料
転送でんわサービス→P.120	かかってきた電話をあらかじめ登録したほかの電話番号に転送します。	必要	無料
迷惑電話ストップサービス →P.121	いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの着信を自動的にストップします。	必要	無料

公共モードについてはP.31を、公共モード（電源OFF）についてはP.33をご覧ください。
その他のダイヤル操作（特番操作）によるサービスのご利用方法およびネットワークサービスの詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、「追加サービス」で新しいサービスをメニューに登録できます。
- ダイヤル操作（特番操作）の一部を「追加サービス」として登録することもできます。
- 「サービスダイヤル」からドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先に簡単に電話をかけることができます。
- 海外でのネットワークサービスのご利用については、「海外でネットワークサービスを利用する」（P.138）を参照してください。

おしらせ

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

＜留守番電話＞

留守番電話サービス

留守番電話サービスとは、お客様が圏外にいるときやFOMA端末の電源が入っていないときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージの録音時間は1件あたり約3分間、20件まで録音できます。
- 伝言メッセージは最大72時間保存されます。

留守番電話サービスを開始する

1 待受画面表示中に◉[左]→（サービス）→「留守番電話」

2 「留守番電話サービス開始」→「YES」

■ 留守番電話サービスを停止する場合

「留守番サービス停止」→「YES」

■ 留守番電話サービスの設定内容を確認する場合

「留守番設定確認」

■ 留守番電話サービスが起動するまでの時間を設定する場合

「留守番呼出時間設定」→呼出時間（0～120秒）を入力

■ 伝言メッセージの増加を着信音でお知らせする場合

「件数増加鳴動設定」→「YES」

伝言メッセージが増えると、待受画面に「留守番電話　X件」（「X」は件数）と表示されます。

おしらせ

- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定すると、留守番電話サービスは自動的に「停止」になります。

伝言メッセージを再生する

1 待受画面表示中に⊙[左]→ (サービス)→「留守番電話」

2 「留守番メッセージ再生」→「YES」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生してください。

伝言メッセージがあるかどうか確認する

1 待受画面表示中に⊙[左]→ (サービス)→「サービス問い合わせ」

問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「 」が表示されます。

■ 待受画面の「 」の表示を消去する場合

待受画面表示中に⊙[左]→ (サービス)→「留守番電話」→「留守番アイコン消去」→「YES」

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

1 待受画面表示中に⊙[左]→ (サービス)→「留守番電話」

2 「留守番サービス設定」→「YES」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示に従って留守番電話サービスを設定してください。

<キャッチホン>

キャッチホン

キャッチホンとは、音声通話中にかかってきた音声電話を受けることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手へ音声電話をかけることもできます。

キャッチホンサービスを開始する

1 待受画面表示中に⊙[左]→ (サービス)→「キャッチホン」

2 「キャッチホンサービス開始」→「YES」

■ キャッチホンサービスを停止する場合

「キャッチホンサービス停止」→「YES」

■ キャッチホンサービスの設定内容を確認する場合

「キャッチホン設定確認」を選択する

通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら または⊙[左]→「応答」

最初の相手との通話が保留になり、あとからかかってきた相手と通話ができます。
切替通話中画面には通話中および保留中の相手の名前と電話番号が表示されます。

■ 通話と保留を切り替える場合

⊙[右]を押す

通話中の相手が保留に、保留中の相手が通話に切り替わります。

- ⊙[右]を押すたびに通話と保留が切り替わります。

■ ハンズフリーに切り替える場合

◉を押す

- ◉を押すたびに、ハンズフリーと通常の通話が切り替わります。

切替通話中画面の機能メニュー

● **切替通話中画面**を表示中に ⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
通話先切替	通話中と保留中の相手を切り替えます。
通話呼切断	通話中の電話を終了します。
保留呼切断	保留中の通話を終了します。
消音／解除	自分の声が相手に聞こえないようにします。
電話帳参照	通話中の電話帳の操作内容を「電話帳登録」、「電話帳検索」から選択します。→P.42、44
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。

通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら ☎

通話中の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 ☎ または ●

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に ⊙[左]→「音声発信」→電話番号をダイヤル→ ☎

切替通話中画面が表示され、最初の相手との通話が自動的に保留になり、新しく電話をかけた別の相手と通話ができます。

<転送でんわ>

転送でんわサービス

転送でんわサービスとは、お客様が圏外にいるときや、FOMA端末の電源が入っていないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、あらかじめ設定しておいた転送先に転送するサービスです。

● 転送先は1件登録できます。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面表示中に ⊙[左]→ (サービス)→「転送でんわ」

2 「転送サービス開始」

■ 転送でんわサービスを停止する場合

「転送サービス停止」→「YES」

■ 転送先のみを変更する場合

「転送先変更」→電話番号を入力する場合は「新規登録」、電話帳から設定する場合は「電話帳検索」→転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」、「停止」にしている場合は「転送先変更＋開始」

■ 転送でんわサービスの設定内容を確認する場合

「転送サービス設定確認」を選択する

3 転送先と呼出時間を設定する

■ 転送先を直接入力する場合

「転送先設定」→「新規登録」→電話番号を入力

■ 転送先を電話帳から設定する場合

「転送先設定」→「電話帳検索」→電話帳を検索→電話番号を検索

■ 呼出時間を設定する場合

「転送先設定」→「呼出時間設定」→呼出時間（0～120秒）を入力

4 「開始」→「YES」

おしらせ

● 一部ご利用になれない料金プランがあります。

●「留守番電話サービス」を「開始」に設定すると、転送でんわサービスは自動的に「停止」になります。

転送先が通話中のときに留守番電話サービスに接続する

● 転送先も「留守番電話サービス」へのご契約と「開始」の設定が必要です。

1 待受画面表示中に ◉[左]→ (サービス)→「転送でんわ」

2 「転送先通話中時設定」→「YES」

＜迷惑電話ストップ＞

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスとは、いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録できるサービスです。登録後はその相手からの着信をネットワーク上で自動的に拒否し、相手には着信拒否ガイダンスで応答します。
迷惑電話ストップサービスは、最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録できます。

● 最大30件まで拒否登録できます。
● 拒否登録した電話番号の確認や問い合わせはできません。拒否登録した電話番号はメモなどを取っておくことをおすすめします。

最後に着信応答した電話を拒否登録する

1 待受画面表示中に ◉[左]→ (サービス)→「迷惑電話ストップ」

2 「迷惑電話拒否登録」

最後に着信応答した相手の電話番号が拒否登録されます。

■ 最後に拒否登録した電話番号を削除する場合

「迷惑電話1登録削除」→「YES」

■ 拒否登録した電話番号をすべて削除する場合

「迷惑電話全登録削除」→端末暗証番号を入力→「YES」

＜追加サービス＞

サービスを追加して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたとき、FOMA端末に新しいネットワークサービスを登録できます。

● 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
● ダイヤル操作（特番操作）の一部を登録することもできます。

新しいサービスを登録する

新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。その「特番」または「サービスコード」を使用して新しいサービスを登録します。

1 待受画面表示中に ◉[左]→ (サービス)→「追加サービス」

2 「追加サービス」

3 「＜未登録＞」→ ◉[左]→「設定追加」

■ サービスの設定を変更する場合

変更するサービスを選択→ ◉[左]→「設定変更」

■ サービスを1件削除する場合

削除するサービスを選択→ ◉[左]→「1件削除」→「YES」

■ サービスをすべて削除する場合

◉[左]→「全削除」→端末暗証番号を入力→「YES」

4 サービス名を入力

5 サービスへの接続方法を選択

■ 特番で接続する場合

「特番」→4桁までの番号を入力

■ USSD（サービスコード）で接続する場合

「USSD」→40桁までの番号を入力

6 「YES」

登録したサービスを利用する

1 待受画面表示中に◉[左]→ (サービス)→「追加サービス」

2 「追加サービス」

3 サービスを選択→●

応答メッセージを登録する

登録したネットワークサービスを「USSD（サービスコード）」で利用するとき、ネットワークから通知されるコマンドに対する応答メッセージを登録します。

●応答メッセージは最大10件まで登録できます。

1 待受画面表示中に◉[左]→ (サービス)→「追加サービス」

2 「応答メッセージ設定」

3 「<未登録>」→◉[左]→「設定追加」

■ 応答メッセージの設定を変更する場合

変更するサービスを選択→◉[左]→「設定変更」

■ 応答メッセージを1件削除する場合

削除するサービスを選択→◉[左]→「1件削除」→「YES」

■ 応答メッセージをすべて削除する場合

◉[左]→「全削除」→端末暗証番号を入力→「YES」

4 コマンドを入力→応答メッセージを入力→「YES」

<サービスダイヤル>

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ簡単に電話をかけることができます。

1 待受画面表示中に◉[左]→ (サービス)→「サービスダイヤル」

2 以下の項目から選択

項　目	説　明
ドコモ総合案内・受付	総合案内・受付へ電話がかかります。
ドコモ故障問合せ	故障の問い合わせ先へ電話がかかります。

おしらせ

●お客様がお使いのFOMAカードによっては、総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先の項目番号が異なる場合や、表示されない場合があります。→P.24
表示されない場合は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先を電話帳に登録しておくと便利です。

データ通信

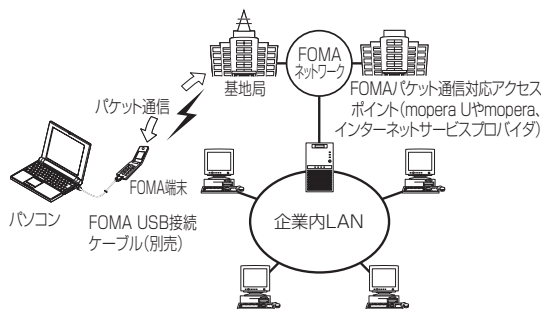
FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末では、パソコンと接続してパケット通信によるデータ通信を行えます。ご利用にあたっては、添付の「FOMA N600i用CD-ROM」のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

● パケット通信

パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

■ パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMA パケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

おしらせ

- 本FOMA端末では64Kデータ通信はご利用できません。
- 海外ではパソコンと接続したパケット通信によるデータ通信をご利用できません。

● ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS	・Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	・Windows 98、Windows Me：32Mバイト以上※ ・Windows 2000：64Mバイト以上※ ・Windows XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※

※：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- 「FOMA N600i通信設定ファイル」(ドライバ)はドコモのホームページからダウンロードしてインストールすることもできます。

● 必要な機器

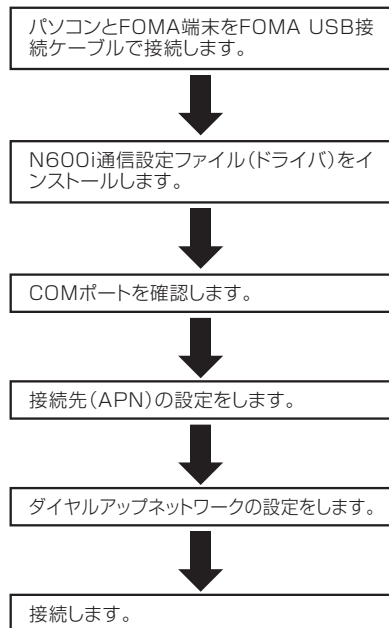
FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）
- 添付CD-ROM「FOMA N600i用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

設定完了までの流れ

詳しい設定方法については、本体付属「FOMA N600i用CD-ROM」内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続します。

↓

N600i通信設定ファイル(ドライバ)をインストールします。

↓

COMポートを確認します。

↓

接続先(APN)の設定をします。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をします。

↓

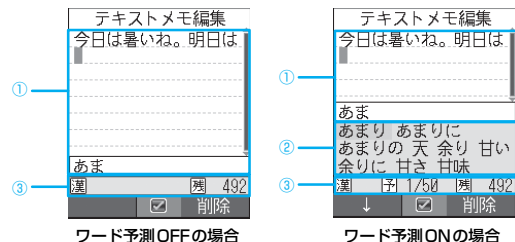
接続します。

※：FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミング等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

文字入力

文字入力について

FOMA端末では、メールの作成や電話帳の登録など、さまざまな機能で文字を入力できます。

文字入力（編集）画面について

①文字入力エリア：■（カーソル）の位置に文字を入力します。
入力モードが「漢字ひらがな（漢）」の場合は、下側に入力したひらがなが表示され、変換・確定すると、■（カーソル）の位置に文字が入力されます。
絵文字・記号の入力時は、絵文字・記号が一覧で表示され、絵文字・記号を選択すると、■（カーソル）の位置に選択した絵文字・記号が入力されます。

②予測候補表示エリア：「ワード予測」を「ON」にして文字を入力するとき、予測候補が一覧で表示されます。

③情報表示エリア：現在の入力モードや大文字／小文字モード、全角／半角モード、入力できる残りバイト数が表示されます。

- 漢：漢字ひらがな入力モード
- カナ：カタカナ入力モード
- 英：英字入力モード
- 数：数字入力モード
- 全：全角モード
- 半：半角モード
- 小：小文字モード（大文字モードの場合は何も表示されません。）
- 残：入力可能な残りバイト数

入力モードを切り替える

FOMA端末では漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字の入力モードがあります。

●入力モードを切り替えることができる場合には、「文字」が表示されます。

1 文字入力画面で を押す

を押すたびに「漢字ひらがな（漢）」→「カタカナ（カナ全／カナ半）」→「英字（英全／英半）」→「数字（数全／数半）」の順に入力モードが切り替わります。

・半角／全角は機能メニューの「半角切替／全角切替」で切り替わります。

おしらせ

●文字の入力中に を押すと、大文字／小文字に切り替わります。

文字を入力する

<例：「9時」と入力する場合>

1 入力モードが「数字（数全）」になるまで繰り返し

2 9

「9」が入力されます。

3 入力モードが「漢字ひらがな（漢）」になるまで繰り返し

4 3 を2回→ # を1回

文字入力エリアの下側に「じ」が入力されます。

5

最初の漢字候補に切り替わります。

■ 漢字候補が「時」の場合

●

「時」が入力されます。これで文字が入力されました。

■ 漢字候補が「時」以外の場合

手順6に進みます。

6 ◎

漢字候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなやカタカナ、英字も表示されます。

7 「時」を選択

「時」が入力されます。

> **おしらせ**
> - 文字を確定する前に [確認] を押すと、ダイヤルボタンに割り当てられている範囲内で文字が逆方向に切り替わります。

大文字／小文字を切り替える

大文字モード／小文字モードの設定にかかわらず、文字の入力中に大文字／小文字を切り替えることができます。

<「っ」を入力する場合>

1 4 を3回 → ☎

☎ を押すたびに「つ」／「っ」が切り替わります。

<「ェ」を入力する場合>

1 1 を4回 → ☎

☎ を押すたびに「エ」／「ェ」が切り替わります。

<「a」を入力する場合>

1 2 を1回 → ☎

☎ を押すたびに「A」／「a」が切り替わります。

文字を削除する

文字を削除するには ⊙[右]を押します。カーソルの位置や ⊙[右]の押しかたによって、削除の対象が異なります。

■ カーソル上に文字があるときに ⊙[右]を押した場合

カーソル上の文字が削除されます。

■ カーソル上に文字がないときに ⊙[右]を押した場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■ ⊙[右]を1秒以上押した場合

カーソル以降の文字がすべて削除されます。

■ カーソル以降に文字がないときに ⊙[右]を1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

文字入力画面の機能メニュー

● **文字入力画面**を表示中に ⊙[左]で機能メニューを表示します。

項　目	説　明
絵文字記号連続入力	絵文字記号の一覧を消去するまで、連続で絵文字・記号を入力します。 **⊙[左]で種類を切り替え → ◎ で入力する絵文字・記号を反転表示 → ● で絵文字・記号を連続で入力 → ⊙[右]** ・ 文字入力画面で ⊙[左]を1秒以上押しても絵文字・記号の連続入力に切り替わります。
小文字切替／大文字切替	入力する文字を小文字モード／大文字モードに切り替えます。 ・ 入力モードが「数字（数全／数半）」の場合は切り替えられません。
半角切替／全角切替	入力する文字を半角モード／全角モードに切り替えます。 ・ 入力モードが「漢字ひらがな（漢）」の場合は切り替えられません。
コピー	選択した範囲の文字をFOMA端末に記憶します。 一部の文字をコピーする場合 **始点の文字にカーソルを合わせる → ● → 終点の文字にカーソルを合わせる → ●** すべての文字をコピーする場合 **⊙[左]** ・ コピーは2,048バイトまで可能です。 ・ コピー、切り取りでFOMA端末に記憶した内容は、電源を切るまで保持されます。

項　目	説　明
切り取り	選択した範囲の文字を削除して、FOMA端末に記憶します。 一部の文字を切り取る場合 始点の文字にカーソルを合わせる→●→終点の文字にカーソルを合わせる→● すべての文字を切り取る場合 ⊙[左] ・切り取りは2,048バイトまで可能です。 ・コピー、切り取りでFOMA端末に記憶した内容は、電源を切るまで保持されます。
貼り付け	コピー、切り取りでFOMA端末に記憶した文字を貼り付けます。 ・貼り付けられない種類の文字はスペースに変換されます。
定型文入力	あらかじめ登録されている定型文を入力します。 フォルダを選択→定型文を選択 ・定型文一覧→P.156
スペース入力	スペース（空白）を入力します。
改行入力	改行マーク「↵」が入力され、文章が改行されます。 ・☎を1秒以上押しても改行を入力できます。
記号入力	記号が一覧で表示され、記号を1文字入力できます。 記号を選択→●
先頭へJUMP	■（カーソル）を文頭へ移動させます。
文末へJUMP	■（カーソル）を文末へ移動させます。
区点入力	4桁の区点コードを入力すると、区点コードに該当する文字が入力されます。 ・入力モードが「漢字ひらがな（漢）」の場合、*を1秒以上押しても区点入力になります。 ・区点コード一覧→P.152
電話帳引用	電話帳から入力する文字を引用します。 電話帳を検索→引用する電話帳を選択→引用する項目を選択→● ・電話帳の検索について→P.44 ・フリガナ検索、名前検索による電話帳引用はできません。
個人データ引用	自局番号表示から入力する文字を引用します。 引用する項目を選択→●
ワード予測ON／ワード予測OFF	予測変換機能を使用するかしないかを設定します。

予測変換を使う

「ワード予測」を「ON」に設定している場合、予測変換で文字を入力できます。予測変換とは、文字を途中まで入力するだけで、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節に変換できる機能です。

1 読みを入力

入力した読みの予測候補が予測候補表示エリアに表示されます。

2 ⊙[左]

予測候補表示エリアに■（カーソル）が移動します。

■ 入力したい文字が予測候補に表示されない場合

続けて読みを入力

入力した読みに応じて予測候補が変更されます。

■ 読みの入力に戻る場合

⊙[右]または続けて読みを入力

3 予測候補を選択

選択した文字が入力され、その文字に続く予測候補が続けて表示されます。

■ 予測候補を消去する場合

⊙[右]

おしらせ

- 予測候補が表示されないときや、入力したい文字が予測候補に表示されない場合は、ボタンを押して次の文字を入力してください。

海外利用

国際ローミングサービスについて

国際ローミング（WORLD WING）は、ドコモがFOMAをご利用の皆様に提供するサービスで、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどをご利用いただけるものです。
FOMA N600iは、国内で使用している電話番号で国際ローミングを利用できます。海外でも音声電話、テレビ電話、ｉモード、SMSを利用できます。さらに、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの便利なネットワークサービスを利用できます。

- 国際ローミングサービスの利用にWORLD WINGのお申し込みは不要です。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、FOMA カード（緑色）をFOMA N600iに取り付けておく必要があります。
- 海外でのネットワークサービスの利用はお申し込みが必要です。
- 海外のネットワークには、以下の3つがあります。

ネットワーク名	説明
3Gネットワーク	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GPRS※2ネットワーク	GSMネットワーク上でGPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動体通信ネットワークです。
GSM※3ネットワーク	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信ネットワークです。

※1： 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2： GPRS（General Packet Radio Service）
通信速度最大115kbpsのパケット通信サービスで、ヨーロッパや中国を中心に普及しています。
※3： GSM(Global System for Mobile Communications)
ヨーロッパで規格が統一された携帯電話機の標準規格で、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。

- 利用できる通信サービスや機能は、接続している通信事業者によって異なります。
- 国際ローミング中に利用できる通信サービスの詳細は『国際サービスご利用ガイド』をご覧ください。
  また、ドコモのホームページでは、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、『国際サービスご利用ガイド』の最新版をダウンロードいただけます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

本FOMA端末を使って海外で利用できるサービス

できること	詳細
音声電話	・ 海外でもそのまま同じ電話番号で、音声電話を利用できます。 ・ 日本への国際電話、その他の海外への国際電話、滞在国内への電話をかけることができます。
テレビ電話	・ 海外の特定3G通信事業者ユーザまたは日本のFOMAユーザと国際テレビ電話が可能です。
ｉモードメール	・ 海外でもそのまま同じアドレスでｉモードメールの送受信ができます。画像やメロディなどが添付されたｉモードメールの送受信も可能です。
ｉモード	・ 海外でもｉモードをご利用いただけます。
SMS（ショートメッセージ）	・ 海外でもSMSの送受信が可能です。 宛先がドコモ以外の海外事業者の場合→P.92

ネットワークの切り替えについて

お買い上げのときの設定では、国内ではFOMAネットワークに、海外では3Gネットワークに接続します。

● 日本国内から海外に移動したとき

「ネットワーク切替」を「自動」または「GSM」に設定すると、自動的に接続可能な通信事業者を検索して接続します。
・ 日本国内で「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

● 海外で滞在先を移動したとき

接続していた通信事業者のサービスエリア外に移動したときは、自動的にネットワークの再検索を行い、別の通信事業者に接続し直します。

● 日本に帰国したとき

「ネットワーク切替」を「自動」または「3G」に設定するとFOMAネットワークに接続しますので、いままで通りご利用できます（「3G」に設定することをおすすめします）。
・ 海外で「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

おしらせ

- 利用している場所の電波や海外ネットワークの状況によっては、ネットワークが切り替わりにくい場合があります。
- 接続先の通信事業者の切り替え中は、FOMA端末のボタン操作や機能の一部がご利用になれませんのでご注意ください。

主要国の国番号

国際電話を利用するときや、「プレフィックス設定」を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

2006年2月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ	689	モルディヴ	960
チェコ	420	ロシア	7

※：この他の国の番号および詳細については、ドコモのホームページを確認してください。

海外でご利用になる前の確認

海外でご利用になる前に、出発前の準備、滞在先での利用にあたっての基本事項、帰国後の設定についての基本事項を確認してください。

出発前の準備

海外で本FOMA端末を利用するためには、海外へ行く前に以下の準備をしておく必要があります。

FOMAカードについて

海外で利用するためには、FOMAカード（緑色）を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。

充電について

滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。

- 「FOMA海外兼用ACアダプタ01」はAC100Vから240Vまで対応していますが、付属のAC電源コードのプラグの形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。変換プラグアダプタは、家電量販店、海外旅行用品取扱店等でお買い求めいただけます。
- 海外旅行用の変圧器を使用して充電しないでください。

ｉモード、ｉモードメールの利用について

海外でｉモードやｉモードメールを利用する場合は、あらかじめ「iMenu」から「海外利用設定」を設定しておく必要があります。

- 詳しくは、『国際サービスご利用ガイド』および『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ネットワークサービスの設定

海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用するには、あらかじめ日本国内で「遠隔操作設定」の設定が必要です。

- 詳しくは『国際サービスご利用ガイド』をご覧ください。
- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。また、日本国内でのみ設定や確認が可能なネットワークサービスもありますので、ご出発前に『国際サービスご利用ガイド』および『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

海外でのお問い合わせについて

海外での紛失、盗難、利用累積額精算や故障に関しては、取扱説明書裏面に記載の「海外での紛失、盗難、利用累積額精算などについて」または「海外での故障に関して」の電話番号の前に「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」または「国際電話アクセス番号」をダイヤルしてお問い合わせください。

● ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）

お問い合わせ先の電話番号の前に「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」をダイヤルして電話をかけると、海外からでも各種お問い合わせをすることができます。
各国の「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」は以下のとおりです。

2006年2月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	タイ	001
アメリカ合衆国	011	台湾	00
アルゼンチン	00	中国	00
イギリス	00	デンマーク	00
イスラエル	014	ドイツ	00
イタリア	00	ニュージーランド	00
オーストラリア	0011	ノルウェー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブラジル	0021
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	香港	001
スイス	00	マレーシア	00
スウェーデン	00	ルクセンブルグ	00
スペイン	00		

※：最新の情報はドコモホームページでご確認ください。

● 主要国の国際電話アクセス番号（表2）

海外からのお問い合わせ時に「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」が利用できない場合は、「国際電話アクセス番号」を利用してください。
主要国の「国際電話アクセス番号」は以下のとおりです。

2006年2月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00/990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0041/0021/0023
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルグ	00
中国	00	ロシア	810

※：最新の情報はドコモホームページでご確認ください。

滞在先でのご利用について

お買い上げのときの設定では、海外へ移動した後FOMA端末の電源を入れ直すだけで利用可能なネットワークや通信事業者が自動的に識別されるため、滞在中の国や場所を気にせず通信サービスを利用できます。

ディスプレイの表示について

海外利用中は、利用しているネットワークを示すアイコンと接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。
利用中のネットワークは、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	説明
FOMA	国内のFOMAネットワークを利用中です。
3G	海外の3Gネットワークを利用中です。
GSM	海外のGPRS/GSMネットワークを利用中です。

ネットワークによる通信サービスの違いについて

接続するネットワークによって利用できる通信サービスが異なります。

ネットワーク／通信サービス	国内	海外		
	FOMA	3G	GPRS	GSM
音声電話をかける／受ける	○	○	○	○
テレビ電話をかける／受ける	○	○	×※1	×※1
iモードの利用	○	○	○	×
メッセージR／メッセージFの受信	○	○※2	○※2	×
iモードメールの送受信	○	○	○	×
パソコンなどと接続して行うパケット通信	○	×	×	×
SMS送受信	○	○	○	○

○：利用できます（ご利用中の通信事業者や地域によっては、利用できない場合があります）。
×：利用できません。
※1：テレビ電話の着信があっても、着信動作は行いません。発信時は、「音声自動再発信」が「ON」に設定されている場合は、音声電話で自動的にかけ直します。
※2：メッセージFは受信できません。

このようなときは

● 画面に「圏外」が表示されたままになっている

・「ネットワーク切替」の設定を確認してください。
・「ネットワーク接続モード選択」の設定を確認してください。
・日本国内から海外へ移動した後に、「ネットワーク切替」を「自動」または「GSM」に設定してください。日本国内で「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。
・本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあり、その間は「圏外」と表示される場合があります。

● テレビ電話／iモード／SMSが利用できない

・利用可能な通信事業者かどうか、『国際サービスご利用ガイド』やドコモのホームページを確認してください。
・「ネットワーク切替」の設定を確認してください。
・「ネットワーク接続モード選択」の設定を確認してください。

● 相手の電話番号が通知されてこない

・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。

帰国後の設定について

帰国後に「ネットワーク切替」を「自動」または「3G」に設定すると、FOMAネットワークに接続します（「3G」に設定することをおすすめします）。海外で「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

FOMAネットワークに接続できないときは

●「ネットワーク切替」を「GSM」に設定していませんか

「GSM」以外に変更してください。

●「ネットワーク接続モード選択」を「マニュアル」に設定していませんか

「オート」に変更してください。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

国際ローミングサービスを利用して、本FOMA端末で日本以外の国や地域から電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

滞在国以外（日本を含む）に電話をかける

1 「＋」（0を1秒以上押す）－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤル

・市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 （発信キー）

国際電話がかかります。

■ 国際テレビ電話をかける場合

（●キー）

滞在国内に電話をかける

1 相手の市外局番からダイヤル

2 （発信キー）

電話がかかります。

■ 国際テレビ電話をかける場合

（●キー）

おしらせ

- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ滞在国内にいても、国際電話として電話をかけてください。
- 国際テレビ電話を利用できるのは、テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合のみです。
  テレビ電話に対応した通信事業者の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

電話を受ける

国際ローミングサービスを利用して、海外でも電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら（発信キー）または（●キー）を押す

相手と通話できます。

■ テレビ電話がかかってきた場合

（発信キー）または（●キー）

（発信キー）を押すとカメラ画像、（●キー）を押すと代替画像が送信されます。

相手からの電話のかけかた

● 日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本FOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

090（または080）－XXXX－XXXX

● 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

海外利用に関する設定を行う

ネットワーク内の通信事業者の検索方法や通信事業者の優先順位設定など、海外利用に関する機能を設定します。

通信事業者の検索方法を設定する

利用中のネットワークが圏外になったときの通信事業者の検索方法を設定します。

1 **待受画面表示中に◉[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」**

2 **「ネットワーク接続モード選択」→以下の項目から選択**

項目	説明
オート	自動的にネットワークを検索してほかの通信事業者に接続し直します。 ・「優先ネットワーク設定」で最優先に設定されている通信事業者に接続されます。
マニュアル	ネットワークを検索し、接続可能な通信事業者の候補から接続先を選択します。

おしらせ

● 「マニュアル」で設定した通信事業者が圏外になった場合は、もう一度通信事業者を検索し直すか、「オート」に設定してください。

接続先のネットワークを検索する

接続先のネットワークを検索して、ほかの通信事業者に接続を切り替えます。

1 **待受画面表示中に◉[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」**

2 **「ネットワーク検索」**

接続中のネットワークが検索され、接続できる通信事業者が一覧で表示されます。

3 **接続する通信事業者を選択**

おしらせ

● ネットワーク検索を行った後に検索結果の一覧から接続する通信事業者を選択すると、「ネットワーク接続モード選択」は「マニュアル」に設定されます。

優先的に接続する通信事業者を設定する

利用中のネットワークが圏外になったとき、接続し直す通信事業者の優先順位を設定します。

1 **待受画面表示中に◉[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」**

2 **「優先ネットワーク設定」**

優先ネットワークリストが表示され、優先順位の高い通信事業者から順番に一覧で表示されます。

3 **優先順位を変更する通信事業者を選択→◉[左]→「優先順位変更」**

4 **◈で優先順位を変更→●**

通信事業者を追加登録する

1 **待受画面表示中に◉[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」**

2 **「優先ネットワーク設定」→◉[左]→「登録」**

■ 通信事業者を削除する場合

削除する通信事業者を選択→◉[左]→「削除」

3 **以下の項目から設定**

項目	説明
手動登録	FOMA端末に登録されていない通信事業者を優先ネットワークリストに登録します。 国番号(MCC)を入力→ネットワーク番号(MNC)を入力
リストから登録	FOMA端末に登録されている通信事業者一覧から優先ネットワークリストに登録する通信事業者を選択します。
在圏ネットワーク登録	現在接続中の通信事業者を優先ネットワークリストに登録します。

ネットワークの接続切り替え方法を設定する

1 待受画面表示中に⊙[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」

2 「ネットワーク切替」→以下の項目から選択

項目	説明	利用できるネットワーク			
		FOMA	3G	GSM	GPRS
自動	海外では3Gネットワーク、GSMネットワーク、GPRSネットワークへ自動的に切り替えます（3Gネットワーク接続を優先）。日本国内ではFOMA ネットワークサービスに接続します。	○	○	○	○
3G	海外では3Gネットワークのみに接続します。日本国内ではFOMAネットワークに接続します。	○	○	×	×
GSM	GSMネットワークおよびGPRSネットワークのみに接続します。	×	×	○	○

おしらせ

- 本機能の設定を変更すると、設定に応じて接続先の通信事業者の再検索が行われ、接続先が切り替わります。このとき、電波の状態やネットワークの状況によっては、切り替えに時間がかかったり、接続先が切り替わらない場合もあります。

ローミング中の通信事業者名の表示について設定する

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかしないかを設定します。

1 待受画面表示中に⊙[左]→(各種設定)→「アプリケーション通信設定」

2 「ネットワーク名表示設定」→「ON」／「OFF」

海外でネットワークサービスを利用する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部の機能を、海外から利用できます。

- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）を利用するには、あらかじめ留守番電話サービス、転送でんわサービスのご契約が必要です。
- ネットワークサービスの詳細については、『国際サービスご利用ガイド』をご覧ください。

海外でネットワークサービスを利用できるように設定する

海外でネットワークサービスを利用するには、あらかじめ日本国内で遠隔操作設定を行ってください。

1 1 5 9 ☎

2 1

海外で留守番電話サービスの操作をする

海外で留守番電話サービスを操作するには、以下の番号をダイヤルしてください。

操作内容	ダイヤルする番号
留守番電話サービスを開始する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14110－☎
留守番電話サービスを停止する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14100－☎
伝言メッセージを再生する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14170－☎
留守番電話サービスの設定を変更する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14160－☎

海外で転送でんわサービスの操作をする

海外で転送でんわサービスを操作するには、以下の番号をダイヤルしてください。

操作内容	ダイヤルする番号
転送でんわサービスを開始する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14210－☎
転送でんわサービスを停止する	「+」（0 を1 秒以上押す）－81 －90310 －14200－☎

海外でローミングガイダンスの操作をする

ローミングサービスの開始／停止を設定できます。

1. 「＋」（+0 を1秒以上押す）－81－90310－18160の順にダイヤル
2. 発信キー→ガイダンスに従って操作

付録

メニュー一覧

● は、「設定リセット」（P.53）でお買い上げ時の設定に戻る項目を示しています。

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
メール	受信BOX		⊙[右]① ⊙[左]①①	－	86
	送信BOX		⊙[右]② ⊙[左]①②	－	86
	保存BOX		⊙[右]③ ⊙[左]①③	－	81
	新規メール作成		⊙[右]④ ⊙[左]①④	－	78
	ｉモード問い合わせ		⊙[右]⑤ ⊙[左]①⑤	－	83
	メール選択受信		⊙[右]⑥ ⊙[左]①⑥	OFF	83
	SMS		⊙[右]⑦ ⊙[左]①⑦	SMS center設定：NTT DoCoMo 保存先設定：本体	96
	メール設定	受信設定	⊙[右]⑧① ⊙[左]①⑧①	「メール機能について設定する」（P.90）をご覧ください。	90
		編集設定	⊙[右]⑧② ⊙[左]①⑧②		90
		表示設定	⊙[右]⑧③ ⊙[左]①⑧③		90
		その他の設定	⊙[右]⑧④ ⊙[左]①⑧④	－	91
ｉモード	iMenu		●① ⊙[左]②①	－	67
	Bookmark		●② ⊙[左]②②	－	69
	画面メモ		●③ ⊙[左]②③	－	70
	ラストURL		●④ ⊙[左]②④	－	68

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
ｉモード	Internet		●5 ⊙[左]2 5	－	68
	メッセージ		●6 ⊙[左]2 6	－	73
	ｉモード問い合わせ		●7 ⊙[左]2 7	－	75
	ｉモード設定	ホームURL	●8 1 ⊙[左]2 8 1	「ｉモードの設定を行う」（P.76）をご覧ください。	76
		表示設定	●8 2 ⊙[左]2 8 2		76
		証明書	●8 3 ⊙[左]2 8 3		76
		その他の設定	●8 4 ⊙[左]2 8 4		76
ｉアプリ	ソフト一覧		⊙[左]3 1	－	99
	α照明設定		⊙[左]3 2	システム依存	100
	αバイブレータ		⊙[左]3 3	システム依存	100
	自動起動失敗情報		⊙[左]3 4	－	100
各種設定	着信／音量	音量設定	⊙[左]4 1 1	電話着信音量：レベル2 メール着信音量：レベル2 受話音量：レベル2 ボタン確認音量：レベル2	48
		着信音設定	⊙[左]4 1 2	電話：トロイメライ テレビ電話：トロイメライ メール：フレンチポップ SMS：フレンチポップ メッセージR：フレンチポップ メッセージF：フレンチポップ	48
		呼出時間設定	⊙[左]4 1 3	無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する	48
		バイブレータ	⊙[左]4 1 4	OFF	48
		電話帳画像着信設定	⊙[左]4 1 5	ON	48
		着信アンサー設定	⊙[左]4 1 6	OFF	48

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
各種設定	時計	時刻設定	◉[左]4 2 1	−	49
		日付設定	◉[左]4 2 2	−	49
		時刻表示選択	◉[左]4 2 3	24時間制	49
		時計表示設定	◉[左]4 2 4	ON	49
	マナーモード	マナーモード選択	◉[左]4 3 1	マナーモード	49
		オリジナルマナー	◉[左]4 3 2	オリジナルマナー１／２設定 音量設定 着信音量：レベル0 ボタン確認音量：レベル0 受話音量：レベル2 メール着信音量：レベル0 アラーム音量：レベル0 着信音設定 マナーモード未設定時の「着信音設定」と同じ バイブレータ：パターン１ 通話中マイク感度：アップ 低電圧アラーム：OFF	49
	ディスプレイ	ウェイクアップ表示	◉[左]4 4 1	内蔵画像	50
		待受画面	◉[左]4 4 2	カレンダー：ON 画像：Illuminations	50
		配色パターン	◉[左]4 4 3	グレー	50
		省電力モード	◉[左]4 4 4	照明設定：レベル2 待ち時間：10秒	50
		バイリンガル	◉[左]4 4 5	Japanese	51
	通話	オートリダイヤル	◉[左]4 5 1	OFF	51
		プレフィックス設定	◉[左]4 5 2	「WORLD CALL」（009130010） （ユーザ設定はリセットされません）	51
		通話時間	◉[左]4 5 3	前回通話時間：000:00:00 積算通話時間：000:00:00 テレビ電話：000:00:00	51
	ロック／セキュリティ	オールロック	◉[左]4 6 1	−	58
		PIN設定	◉[左]4 6 2	−	57
		端末暗証番号変更	◉[左]4 6 3	−	57

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
各種設定	アプリケーション通信設定	ネットワーク接続モード選択	⊙[左]471	オート	137
		ネットワーク検索	⊙[左]472	－	137
		優先ネットワーク設定	⊙[左]473	－	137
		ネットワーク切替	⊙[左]474	3G	138
		ネットワーク名表示設定	⊙[左]475	OFF	138
		接続先選択	⊙[左]476	ｉモード(FOMAカード) ユーザ設定：未登録状態	52
	テレビ電話	テレビ電話画面設定	⊙[左]481	親画面相手画像表示	40
		画像品質設定	⊙[左]482	標準	40
		色調切替	⊙[左]483	通常	40
		発信時自画像送信	⊙[左]484	自画像送信	40
		音声自動再発信	⊙[左]485	OFF	40
	その他	オート着信	⊙[左]491	OFF	53
		サイドボタン操作	⊙[左]492	閉じた時有効	53
		充電確認音	⊙[左]493	ON	53
		文字入力方式	⊙[左]494	ワード予測：ON	53
		イルミネーション	⊙[左]495	着信イルミネーション選択 カラー設定 電話：色1 テレビ電話：色2 メール：色3 SMS：色3 メッセージR：色4 メッセージF：色4 パターン設定：固定パターン 通話中イルミネーション 電話：色1 テレビ電話：色2	53
		設定リセット	⊙[左]496	－	53
		端末初期化	⊙[左]497	－	53

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
データBOX	マイピクチャ		●[左]⑤①	ソート：新しい順 一覧表示切替：ピクチャー一覧	102
	ｉモーション		●[左]⑤②		104
	メロディ		●[左]⑤③	ソート：新しい順	107
	保存容量確認		●[左]⑤④	−	103
カメラ	フォトモード		●[左]⑥①	カメラ方向：外側カメラ 画像サイズ選択：メール大（176×144） 画像保存設定：メール（小） ホワイトバランス設定：オート 色調切替：通常 明るさ調節：0 ズーム：×1 フレーム選択：OFF シャッター音選択：シャッター音1	61
	ムービーモード		●[左]⑥②	カメラ方向：外側カメラ 画像サイズ選択：サイズ大（176×144） 動画容量設定：メール添付 動画保存設定：標準 ホワイトバランス設定：オート 明るさ調節：0 ズーム：×1 撮影種別設定：通常	63
サービス	サービス問い合わせ		●[左]⑦①	−	119
	発信者番号通知		●[左]⑦②	※：ネットワークサービスご契約時の設定となります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。	28
	留守番電話		●[左]⑦③		118
	キャッチホン		●[左]⑦④		119
	転送でんわ		●[左]⑦⑤		120
	迷惑電話ストップ		●[左]⑦⑥		121
	追加サービス		●[左]⑦⑦	追加サービス：未登録状態 応答メッセージ設定：未登録状態	121
	サービスダイヤル	ドコモ総合案内	※ FOMA カードによって異なる	−	122
		ドコモ故障問合せ		−	122

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定	参照ページ
電話帳	電話帳登録		▼ 1 ●[左] 8 1	−	42
	電話帳検索		▼ 2 ●[左] 8 2	−	44
	指定着信拒否設定		▼ 3 ●[左] 8 3	OFF	58
	電話帳登録件数		▼ 4 ●[左] 8 4	−	45
	グループ設定		▼ 5 ●[左] 8 5	FOMA端末（本体）：グループ0～19 FOMAカード：0～10	45
	通話履歴	着信履歴	◀ ●[左] 8 6 1	−	36
		リダイヤル	▶ ●[左] 8 6 2	−	35
	自局番号表示		●[左] 0 ●[左] 8 7	−	28 45
ツール	スケジュール		●[左] 9 1	−	111
	めざまし時計		●[左] 9 2	−	112
	電卓		●[左] 9 3	−	113
	テキストメモ		●[左] 9 4	−	113
	定型文		●[左] 9 5	定型文：固定定型文初期化（フォルダ1、2のみ） フォルダ名：フォルダ1、2	114
	ユーザ辞書		●[左] 9 6	−	115

ダイヤルボタンの文字割り当て

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ
2	かきくけこ	カキクケコ
3	さしすせそ	サシスセソ
4	たちつてとっ	タチツテトッ
5	なにぬねの	ナニヌネノ
6	はひふへほ	ハヒフヘホ
7	まみむめも	マミムメモ
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ
9	らりるれろ	ラリルレロ
0	わをんーゎ	ワヲンーヮ※1
*	―― ※2	――
#	゛゜、。・！？※3	゛゜、。・！？※3

ボタン	英字入力モード	数字入力モード
1	♥☎※4	1
2	ABCabc	2
3	DEFdef	3
4	GHIghi	4
5	JKLjkl	5
6	MNOmno	6
7	PQRSpqrs	7
8	TUVtuv	8
9	WXYZwxyz	9
0	――	0+※5
*	.ne.jp .co.jp .ac.jp ※6 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp ※6 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
#	.@/!?(),-_:'~※7&¥	#.@/!?(),-_:'~※7&¥

※1：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※2：「漢字ひらがな入力モード」の「大文字入力」時に * を1秒以上押すと、「区点入力モード」に切り替わります。
※3：「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」をつけることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。
※4：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※5：「＋」は、SMS宛先入力時や電話番号ダイヤル時に1秒以上押して入力できます。
※6：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。
※7：「全角入力モード」のときは「￣」となります。
（網掛け）：小文字は機能メニューの「小文字切替」を行った後か、文字を確定する前に * を押すことで入力できます。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´
｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々
〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥
‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂
♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆
＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■
△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈
∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡
¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α

Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν
Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А
Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л
М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч
Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о
п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ
ы	ь	э	ю	я	─	│	┌	┐	┘	└	├
┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	☎	♥									

■ 特殊記号

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧
㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡
∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪	

■ 半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,
-	.	/	:	;	<	=	>	?	@	[	¥
]	^	_	`	{	|	}	~	｡	｢	｣	､
･	ｰ	ﾞ	ﾟ								

■ 変換記号

「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、以下のような記号名をひらがなで入力して記号に変換することもできます。

記号名（入力文字）	記号
あっと、あっとまーく	@
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々〃
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	「」『』【】‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》＜＞≪≫()[]{}｢｣
から	～
こめ	※
ころん	:
こんま	,

記号名（入力文字）	記号
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ々〃
ぱーせんと	%
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★※
まる	○●◎｡.
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
わる	÷

絵文字一覧

■ 絵文字１

■ 絵文字２

おしらせ

- メールの本文などに絵文字を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字が正しく表示されないことがあります。また、受信側がｉモード端末であっても、絵文字２の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。

顔文字一覧

「かお」または「かおもじ」と入力するか顔文字の意味を入力して変換すると、顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することができます。
●「かお」と入力した場合は、「顔文字１」および「顔文字２」の候補を表示します。
●「かおもじ」と入力した場合は、「顔文字１」の候補を表示します。
●顔文字の意味を入力した場合は、「顔文字１」の顔文字を表示します。

■ 顔文字１

意味（入力文字）	顔文字	意味（入力文字）	顔文字	意味（入力文字）	顔文字
あせあせ	(;^_^A	ぎゃはは	(^Q^)/^	ねてる	(-_-)zz
あは	(o^o^o)	きらーん	(☆。☆)	ねむい	＼(~o~)／
ありがと ありがとう	m(_ _)m	こあら	(ーQー)	はてな	(・・?)
いかり	(｀´)	こそこそ	(・_・|	ばんざい	＼(^0^)／
いたた	(>_<)	こまった	(￣～￣)ξ	びくっ	(*_*)
いっぷく	(^!^)y~	さよなら	(^_^)/~	ひやあせ	(^o^;
いっぷく	(^.^)y-~~~	さよなら	(T_T)/~	ぶい	(^^)v
ういんく	(^_-)	じーっ	(-_-)	ぶたー	)^o^(
うん	(°_°)(。_。)	しくしく	(T_T)	ほし	☆彡
え	(@_@;)	ちゅ	(^3^)/	ぽりぽり	(^^ゞ
えーん	(;_;)	ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!	む	(ー_ーメ)
えへん	(￣^￣)	どき	(◎-◎;)	むか	(;-_-+
おーい	(^0^)／	ども	＼(^_^)(^_^)／	めがてん	(・・;)
がーん	(￣□￣;)!!	なぜ	(?_?)	めも	φ(..)
がんば	p(^^)q	にこ	(^-^)	わーい	(^0^)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)	にこ	(*^_^*)	わくわく	o(^-^)o
きこえない	|(-_-)|	ね	(^.^)b		

■ 顔文字２

顔文字の候補				
(^_^)	(-_-;)	(T_T)	:-(	!(^^)!
(^^)	m(_ _)m	('_')	:-0	(>_<)
(^o^)	<(_ _)>	(^_^)/	(^_-)	(*_*)
(*^_^*)	_(._.)_	(^^)/	(^-^)	(@_@)
(^_^;)	_(^_^)_	(^^)/~~~	(^_^)v	(?_?)
(^^;)	(;_;)	(^_^)/~	(^0^)	(=_=)
^^;	(/_;)	:-)	(~o~)	(-_-)

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点１～３桁目」の数字を入力してから、次に「区点４桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ~の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
						は				
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
						ひ				
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
						ふ				
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
						へ				
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
						ほ				
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
						ま				
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
						み				
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
						む				
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
						め				
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
						も				
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
						や				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る〜れ				
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

定型文一覧

■ フォルダ1（固定定型文）

No	日本語表現	英語表現
1	ごめんなさい	Sorry
2	ありがとう	Thank you
3	おめでとう！	Congratulations!
4	時間だよ！	It’ s time
5	もう少し待ってて	Wait a minute
6	今着いた！	Just arrived
7	予定変更！	Schedule change
8	どこにいるの？	Where are you?
9	がんばってね	Do your best

■ フォルダ2（固定定型文）

No	日本語表現	英語表現
1	了解しました	All right
2	いつも大変お世話になります	I hope you are well
3	お疲れさまです	Well done
4	至急確認ください	Emergency
5	いかがでしょうか？	How do you think?
6	電話ください	Please call
7	遅れます	I will be late
8	留守電にメッセージを入れてください	Leave a message on voice mail
9	よろしくお願い致します	Thank you for your help

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1 回の通話ごとの取扱手数料90 円（税込94.5円）がかかります。（2006年2月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2006年2月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- FOMA USB接続ケーブル
- FOMA ACアダプタ 01
- FOMA DCアダプタ 01
- 電池パック N12
- リアカバー N11
- データ通信アダプタ N01
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※2

※1： FOMA　N600iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※2： 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA N600iデータリンクソフト」を使って電話帳、ブックマークのデータをFOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。
NECのインターネットホームページからFOMA N600i用のデータリンクソフトをダウンロードしてご利用いただけます。

- NEC「ワイワイもばいる」
  http://www.n-keitai.com/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

（FOMA端末のサイト機能ではダウンロードできません。ダウンロードするにはパソコンをお使いください。また使用料金は無料です。ダウンロード時に別途通信料が必要となります）

● 動作環境および注意事項
パソコンとの接続には「FOMA USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。その他の動作環境・対応OSについては、ダウンロードページの「ソフトウェアのご紹介」【動作環境】を参照してください。
なお、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末外に転送することができません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

■ 対応OS

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP
（各日本語版）
※上記OSが動作するPC/AT互換機

■ ご使用にあたって

- ・日本電気株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に対し、許諾プログラムにおける一切の動作保証、使用目的への適合性の保証、使用結果に関わる的確性や信頼性の保証をせず、かついかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- ・弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任に基づく損害について一切責任を負いません。又、お客様は弊社に対し、何らの請求も行わないものとします。

データリンクソフトに関するお問い合わせ
NEC（NEC NTTドコモターミナル営業本部）
0120-102-001
受付時間：平日 午前 9:00〜12:00 午後 1:00〜5:00
（土･日･祝日･NEC所定の休日を除く）
※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

操作中に「故障かな？」と思った場合は、次の表を参考に対処してください。
● 海外利用時に「故障かな？」と思った場合は、まずP.160を参照してください。

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	・電池パックが正しく取り付けられていますか。 ・電池切れになっていませんか。	24 26
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	・サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	27
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	・発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ・市外局番を忘れていませんか。 ・「圏外」の表示が出ていませんか。 ・「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	30 30 27 −
着信できない 着信音が鳴らない	・指定着信拒否設定中ではありませんか。 ・公共モード設定中ではありませんか。 ・マナーモード設定中ではありませんか。 ・オールロック設定中ではありませんか。 ・留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ・着信音量を「消去」に設定していませんか。	58 31 49 58 118 120 48
着信音が鳴らない	・「呼出時間設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	48

現象	チェックする箇所	参照ページ
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	・「件数増加鳴動設定」を設定していませんか。圏外または電源が切れているときに留守番電話の件数が増えた場合、再び圏内になるか、電源を入れると留守番電話の件数が増えたことをメール着信音でお知らせします。	118
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	・FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ・ACアダプタのプラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ・ACアダプタのコネクタとFOMA端末がしっかりと接続されていますか。	24 26 26
ボタン確認音が出ない	・「ボタン確認音量」を「レベル0」に設定していませんか。 ・マナーモード設定中ではありませんか。	48 49
エニーキーアンサーで音声電話／テレビ電話に出ることができない	・「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ・テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	48 –
通話中、相手の声が聞こえにくい	・受話口と耳の位置がずれていませんか。 ・受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ・ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ・「受話音量」の設定を変更していませんか。聞き取りやすい音量に変更してください。 ・「受話音量」を「レベル0」に設定していませんか。音量を変更してください。	18 18 18 48 48
通話中、相手の声が大きすぎる	・「受話音量」の設定を変更していませんか。聞き取りやすい音量に変更してください。	48
相手に自分の声が伝わらない	・送話口が何かでふさがれていませんか。	18
「オールロック」と表示される	・端末暗証番号を入力してオールロックを解除してください。	58

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末を折り畳んでいるときに、▯を押しても操作できない	・「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定していませんか。	53
FOMA端末を折り畳んでいるときに、▯を押しても不在着信などの確認ができない		
機能名やメッセージなどが英語で表示される	・「バイリンガル」を英語表示に設定していませんか。	51
ディスプレイが暗い	・「省電力モード」の「照明設定」を「レベル1」に設定していませんか。	50
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示される	・電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	–
☎を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	・電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	–
☎を押しても通話が終わらない	・ネットワークサービスなどで音声ガイダンスのボタン操作（0～9、＊、＃）を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。もう一度☎を押してください。	–
ディスプレイに何も表示されず、◉[左]、◉[右]が点滅する	・省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	50
SMSを受信したとき電話帳に登録した名前が表示されない	・電話帳の電話番号欄に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	42

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールが自動振り分けされない	・相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ・相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメイン名まですべて登録しないと振り分けされません。	87 87
メールを自動で受信しない	・メール設定の「メール選択受信設定」を「ON」に設定していませんか。「OFF」に設定してください。	90
iモード、iモードメール、iアプリに接続できない	・「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。 ・iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	52 －
メールに［添付ファイル削除］と表示される	・iモードメールに対応していない添付ファイルの受信はできません。iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。	－
パソコンなどから送信されたメールの添付ファイルが削除された	・FOMA端末以外から送信されたメールに添付された画像ファイルは、500KバイトまでのJPEG画像しか受信できません。	－
内蔵カメラで撮影すると画像がちらつく	・室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。	－
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	・FOMA端末内に大量のデータが保存されているときなどに起こる場合があります。	－

■ 海外利用時の場合

現象	チェックする箇所	参照ページ
画面に「圏外」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない	・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 ・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『国際サービスご利用ガイド』やドコモのホームページで確認してください。 ・「ネットワーク切替」でサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。 ・「ネットワーク接続モード選択」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。 ・日本国内で「ネットワーク切替」を「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	－ － 138 137 －
テレビ電話が利用できない SMSが利用できない iモードが利用できない パケット通信が利用できない	・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『国際サービスご利用ガイド』やWORLD WINGのホームページで確認してください。 ・「ネットワーク切替」でサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。 ・「ネットワーク接続モード選択」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。 ・海外ではパソコンと接続したパケット通信によるデータ通信をご利用できません。	－ 138 137 124
海外から帰国後、「圏外」が表示されたままになっている	・「ネットワーク切替」を「GSM」に設定していませんか。 ・海外で「ネットワーク切替」を「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	138
相手の電話番号が通知されてこない 相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる 電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者によって、発信者番号が通知されずに「通知不可能」の着信となる場合や、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	－

こんな表示が出たら

● ｉモードエラーメッセージの中の（数字）については、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
同じファイル名が登録されています	・ 静止画や動画、メロディなどは同じファイル名で保存できません。違うファイル名で編集してください。	－
該当するデータはありません	・ 電話帳を検索したとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	44
再生可能回数が終了しました	・ 再生回数が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	－
再生可能期限が切れました	・ 再生可能期限が過ぎているｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	－
再生可能日時が終了しました	・ 再生可能期間が過ぎているｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	－
操作内容をご確認ください	・ サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。「Tıl」が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	－
端末暗証番号が違います 端末暗証番号は４～８桁です	・ 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になります。	－
ネットワーク暗証番号が誤っています	・ ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になります。	－
非対応データのため取得できません	・ ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取り込もうとしたときに表示されます。	－
FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません	・ FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR、またはメッセージFを選んで実行しようとしたときに表示されます。	23
FOMAカード(UIM)を挿入してください	・ FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	23
PINロック解除コードが ロックされています	・ PIN ロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。	－
PIN1コードが違います PIN2コードが違います	・ PIN1 ／ PIN2 コードの入力が必要な機能で、PIN1／PIN2コードを間違えたときに表示されます。正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。	－

保証とアフターサービス

保証について

● FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

● この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

● FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災・けが・故障の原因となります。
- FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

● FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカ、受話口部

● 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えいたします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

携帯電話機の吸収比率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N600iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N600iのSARの値は1W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product
NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIOWAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified powerlevel, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.07W/kg, and when worn on the body, is 0.1W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ fccid after search on FCC ID A98-FOMA-N600I.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "FOMA N600i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on www.neceurope.com.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.451W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for anyvariations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmittingat its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference,you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

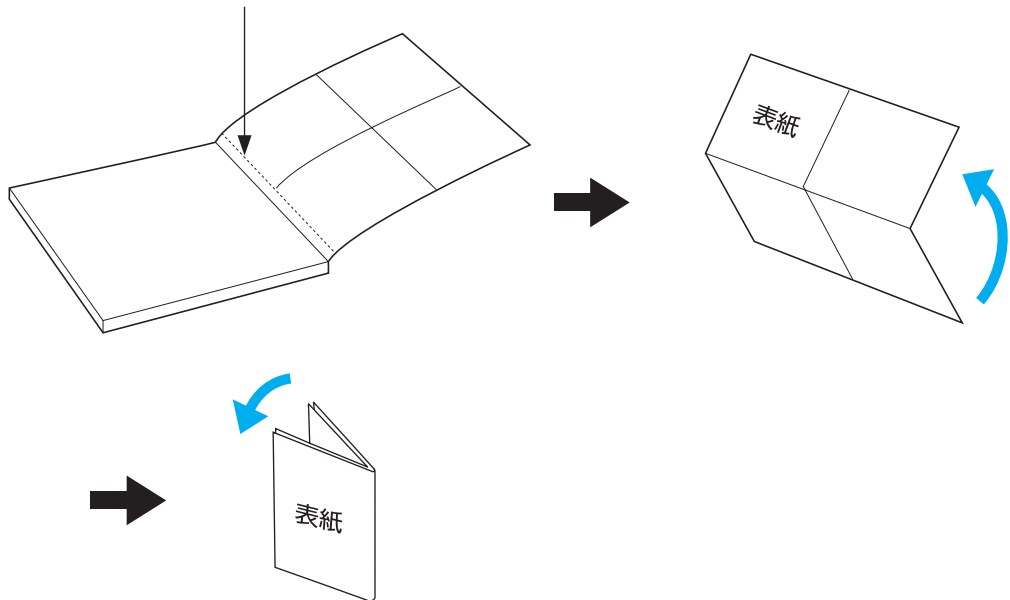
索引／クイックマニュアル

索引

クイックマニュアル

■ クイックマニュアルの使いかた

- クイックマニュアルでは、FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。また、クイックマニュアル（海外利用編）では、海外利用時に必要な設定や基本的な操作方法を記載しています。
- 本書から切り離し、折り曲げたりして利用できます。
- 切り離すときは、ほかのページを切らないように１ページずつ切り離してください。また、ケガなどには十分にご注意ください。

NTT DoCoMo

FOMA® N600i

クイックマニュアル

●総合お問い合わせ
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)**151**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●故障お問い合わせ

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)**113**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

キリトリ線

電話帳　電話帳を登録する

1. →「電話帳登録」→「本体」または「FOMA カード (UIM)」
2. 名前を入力→フリガナを確認・修正
3. 項目を選択してそれぞれを入力または選択
   - 電話番号
   - メールアドレス
   - グループ(グループ 0 〜 19 から選択)※1
   - 静止画※2
   - 指定番号拒否設定(「ON」または「OFF」)※2
   - メモリ番号(001 〜 500 から選択)※3

   ※1: FOMA カードの場合はグループ 0 〜 10
   ※2: FOMA カードでは登録できません。
   ※3: FOMA カードの場合は 001 〜 050
4. [左] で保存して完了

■ 着信履歴／リダイヤルから登録する

1. で着信履歴を表示／ でリダイヤルを表示→登録する番号を選択
2. [左]→「電話帳登録」

電話帳　電話帳を検索する

1. →「電話帳検索」→検索方法を選択
2. 検索する条件を指定して検索
   - 「フリガナ検索」:フリガナの一部を入力※→
   - 「名前検索」:名前の一部を入力※→
   - 「電話番号検索」:電話番号の一部を入力※→
   - 「グループ検索」:グループを選択→
   - 「メモリ番号(本体)」:FOMA 端末(本体)のメモリ番号を入力→
   - 「メモリ番号(FOMA カード)」:FOMA カードのメモリ番号を入力→
   - 「行検索」:「ア行」〜「ワ行」、「全検索」、「その他」を選択→

   ※: すべてを入力しなくても検索できます。
3. で検索結果一覧から名前を選択→

電話帳　電話帳を修正・削除する

■ 電話帳を修正する

1. 修正したい電話帳を検索して呼び出す
2. → [左]→「電話帳編集」→必要な項目を修正→ [左]

■ 電話帳を削除する

1. 削除したい電話帳を検索して呼び出す
2. → [左]→「電話帳削除」→「1 件削除」

文字入力　大文字／小文字を切り替える、全角／半角を切り替える

1. 文字編集画面を表示中に [左]
2. 項目を選択
   - 大文字／小文字に切り替える:「大文字切替」または「小文字切替」
   - 全角／半角を切り替える:「全角切替」または「半角切替」

文字入力　文字を入力する

〈 例:「鈴木」と入力 〉

3 を 3 回(「す」)→ → 3 を 3 回、# (「ず」)→ 2 を 2 回(「き」)→ → で候補から「鈴木」を選択→

カメラ　写真(静止画)を撮影する

1. [左]→ (カメラ)→「フォトモード」
2. 被写体を表示→ または [📷] で撮影→ →

カメラ　動画を撮影する

1. ◉［左］→ (カメラ)→「ムービーモード」
2. 被写体を表示→ ◉ または [📷] で撮影開始
3. ◉ または [📷] で撮影停止→ ◉ → ◉

テレビ電話　テレビ電話をかける／受ける

■ テレビ電話をかける

1. 相手電話番号をダイヤル→ ◉
2. 相手がテレビ電話の場合、テレビ電話で通話
　→お話が終わったら ☎

■ テレビ電話を受ける

1. 電話がかかってきたら ☎
　代替画像で出る場合：電話がかかってきたら ◉
2. お話が終わったら ☎

■ テレビ電話中の操作

◉：ハンズフリーへの切替／解除

◉［右］: 内側／外側カメラの切替

メール　メールを送信する／受信する

■ メールを送信する

1. ◉［右］→「新規メール作成」
2. 宛先を入力
　・宛先の入力欄を選択しアドレスを入力または ◉［左］で「宛先」→「電話帳参照」で電話帳からアドレスを選択→ ◉
3. 件名／本文を入力
　・件名／本文の入力欄を選択し文字を入力→ ◉
4. ◉［左］→「送信」

■ 受信したメールを見る

1. ◉［右］→「受信 BOX」→フォルダを選択→表示したいメールを選択

キリトリ線

ネットワークサービス　留守番電話サービス

■ 伝言メッセージがあるかどうかを確認する

1. ◉［左］→ (サービス)→「サービス問い合わせ」

FOMA 端末からご利用可能なサービス

コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内および	（局番なし）104
ドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）	
※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。	
電報の発信（有料）	（局番なし）115
※午前 8 時～午後 10 時	
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番 -177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

○おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

WORLD CALL（ドコモの国際電話サービス）

009130-010- 国番号 - 市外局番 - 相手先電話番号
の順にダイヤルして ☎

市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

※FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

FOMA® N600i

クイックマニュアル（海外利用編）

海外での紛失、盗難 利用累積額精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24 時間受付）
●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）**-800-0120-0151**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表 2）**-81-3-5366-3114**※

※日本向け通話料がかかります。

※600i からご利用の場合は、+81-3-5366-3114 でつながります。（「+」は「0」ボタンを 1 秒以上押します。）
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号(表 2)は､P.7をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉
●ユニバーサルナンバー（24 時間受付）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）**-800-5931-8600**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表 2）**-81-3-6718-1414**※

※日本向け通話料がかかります。
※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

※600i からご利用の場合は、+81-3-6718-1414 でつながります。（「+」は「0」ボタンを 1 秒以上押します。）
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号(表 2)は、P.7をご覧ください。

キリトリ線

海外利用　ご利用の前に

●日本国内から海外に移動して、後にはじめて利用するときは、FOMA 端末の電源を入れ直してください。
●ネットワークによる通信サービスの違いは、下の表のとおりです。

	音声電話をかける／受ける	テレビ電話をかける／受ける	i モードの利用	メッセージR／F の受信	i モードメールの送受信	パソコンなどと接続して行うパケット通信	SMS 送受信
3G	○	○	○	○※2	○	×	○
GPRS	○	×※1	○	○※2	○	×	○
GSM	○	×※1	×	×	×	×	○

○：利用できます。　×：利用できません。
※1：テレビ電話の着信があっても、着信動作は行いません。
　発信時は、「音声自動再発信」が「ON」に設定されている場合に、音声電話で自動的にかけ直します。
※2：メッセージ F は受信できません。

※上の表で「○」となっている通信サービスであっても、ご利用中の通信事業者や地域によっては、利用できない場合があります。

海外利用　出国前の準備

海外で本 FOMA 端末をご利用になるには、FOMA カード（緑色）を取り付けておく必要があります。

■ 遠隔操作設定を行う

海外で留守番電話・転送電話を使うには、必ず日本国内で遠隔操作設定を行います。

[1] [5] [9] [発信] → [1]

■ i モードの設定を行う

【日本国内から行う】

[●]→「iMenu」→「オプション設定」→「海外利用設定」→「利用する」

【 海外から行う 】

[●]→「iMenu」→「海外利用設定」→「利用する」

海外利用　電話をかける

■ 滞在国から日本の携帯電話・一般電話へかける

[+0] を 1 秒以上押して「+」を表示→ [8] [1]
→市外局番の「0（ゼロ）」を除いた相手の電話番号→ [発信]

■ 他の WORLD WING / WORLD WARKER 利用者へかける

[+0] を 1 秒以上押して「+」を表示→ [8] [1]
→市外局番の「0（ゼロ）」を除いた相手の電話番号→ [発信]

■ 滞在国内へかける

相手の電話番号を市外局番からそのままダイヤル→ [発信]

■ 滞在国から他の国の携帯電話・一般電話へかける

[+0] を 1 秒以上押して「+」を表示→相手国の国番号
→市外局番の「0（ゼロ）」を除いた相手の電話番号→ [発信]

海外利用　電話を受ける

■ 電話の受けかた

【 音声電話 】

電話がかかってきたら ☎ または ●

【 テレビ電話 】

カメラ画像で出るときは ☎

代替画像で出るときは ●

■ 相手からの電話のかけかた

【 日本からかけてもらう場合 】

090-XXXX-XXXX　または　080-XXXX-XXXX

【日本以外からかけてもらう場合 】

国際アクセス番号 -81（日本の国番号）-90-XXXX-XXXX

または　-80-XXXX-XXXX

海外利用　ネットワークの設定を行う

■ ネットワークの接続切り替え方法を設定する

お買い上げ時の設定：「3G」

1. ● [左]→ (各種設定)→「アプリケーション通信設定」→「ネットワーク切替」
2. 設定したい項目を選択

項目	海外での利用	日本国内での利用
自動	3G ネットワークに優先して接続	FOMA ネットワークに接続
3G	3G ネットワークのみに接続	FOMA ネットワークに接続
GSM	GSM/GPRS のみに接続	ネットワークに接続しない

キリトリ線

■ 通信事業者の検索方法を設定する

お買い上げ時の設定：「オート」

1. ● [左]→ (各種設定)→「アプリケーション通信設定」→「ネットワーク接続モード選択」
2. 「マニュアル」→接続したい通信事業者を選ぶ

海外利用　ネットワークサービスを利用する

■ 留守番電話・転送でんわサービスを操作する

1. 0 を 1 秒以上押して「+」を表示→ 8 1 9 0 3 1 0
2. 以下のようにダイヤル

【 留守番電話 】

新しいメッセージの再生 1 4 1 7 0 ☎

保存メッセージの再生、設定変更など 1 4 1 6 0 ☎

留守番サービス開始 1 4 1 1 0 ☎

留守番サービス停止 1 4 1 0 0 ☎

【 転送でんわ 】

転送サービス開始 1 4 2 1 0 ☎

転送サービス停止 1 4 2 0 0 ☎

海外利用　主要国の国番号

2006 年 2 月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	カナダ	1
イギリス	44	韓国	82
イタリア	39	ギリシャ	30
インドネシア	62	シンガポール	65
オーストラリア	61	スイス	41

※この他の国の番号および詳細については、ドコモのホームページを確認してください。

海外利用　主要国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1)

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	011	韓国	001
イギリス	00	シンガポール	001
イタリア	00	スイス	00
オーストラリア	0011	タイ	001
カナダ	011	台湾	00

※この他の国の番号および詳細については、ドコモのホームページを確認してください。

海外利用　主要国の国際電話アクセス番号(表 2)

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	011	カナダ	011
イギリス	00	韓国	001
イタリア	00	ギリシャ	00
インドネシア	001	シンガポール	001
オーストラリア	0011	スイス	00

※この他の国の番号および詳細については、ドコモのホームページを確認してください。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.49

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。バイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード/オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード）／（電源OFF)】→P.31、P.33

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

【バイブレータ】→P.48

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.118)、転送でんわサービス（P.120）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから	ｉMenu ⇒ 料金＆お申込 ⇒ ドコモｅサイト	パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo(https://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種手続き（ドコモｅサイト）	

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHS からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHS からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくは FOMA 端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、利用累積額精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表１） **-800-0120-0151**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表２） **-81-3-5366-3114**※

※日本向け通話料がかかります。

※600iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P.134をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24 時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表１） **-800-5931-8600**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表２） **-81-3-6718-1414**※

※日本向け通話料がかかります。
※表１、表２の番号形態は変更になる場合があります。
※600iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P.134をご覧ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社 NTT ドコモ北海道　株式会社 NTT ドコモ東北　株式会社 NTT ドコモ
株式会社 NTT ドコモ東海　株式会社 NTT ドコモ北陸　株式会社 NTT ドコモ関西
株式会社 NTT ドコモ中国　株式会社 NTT ドコモ四国　株式会社 NTT ドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMo または代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'06.2（1 版）
MDY-000032-JAA0

データ通信マニュアル

本マニュアルでは、FOMA N600iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「N600i通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

目 次

Windowsの表記について

- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
- 本書では、Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

● Windows XPの操作手順について
本書では、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

- 本書の本文中においては、『FOMA N600i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

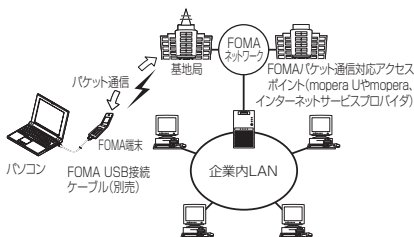
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

本FOMA端末では、パソコンと接続してパケット通信によるデータ通信を行えます。

● パケット通信
  受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

■パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

おしらせ

● 本FOMA端末は、64Kデータ通信には対応しておりません。「FOMA PC設定ソフト」の「かんたん設定」（P.9）では接続方法として「64Kデータ通信」という項目が表示されますが、64Kデータ通信はご利用になれません。
● 海外ではパソコンと接続したパケット通信によるデータ通信をご利用できません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS	・Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ※	・Windows 98、Windows Me：32Mバイト以上※ ・Windows 2000：64Mバイト以上※ ・Windows XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量※	・5Mバイト以上の空き容量※

※：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

● 「FOMA N600i通信設定ファイル」（ドライバ）はドコモのホームページからダウンロードしてインストールすることもできます。
● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）
・添付CD-ROM「FOMA N600i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■ 添付の「FOMA N600i用CD-ROM」について

- N600i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフトが入っています。
- N600i通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N600i通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
  FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

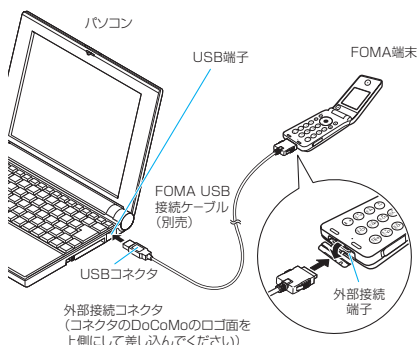
パケット通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンとの接続／N600i通信設定ファイル（ドライバ）のインストール

- パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続します。→P.3
- N600i通信設定ファイルをインストールします。→P.4

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミング等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

取り付け方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**

2 **FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する**

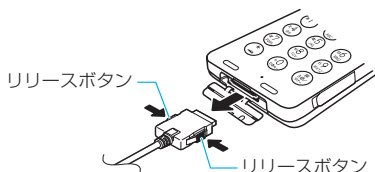
3 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末の画面に「　」が表示されます。

おしらせ

- FOMA　USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- FOMA端末に表示される「　」は、N600i通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。N600i通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「　」は表示されません。

取り外し方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り外し方法について説明します。

1 FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く

2 パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルの取り付け･取り外しを連続して行う場合、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルの取り外しは行わないでください。

パソコンの設定をする

ここでは、パソコンとの接続から、N600i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1 FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

2 Windows を起動して、「FOMA N600i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 FOMA端末の電源を入れて、パソコンと接続したFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続する

Windows 98、Windows Meの場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

Windows 2000、Windows XPの場合
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示される

N600i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- Windows 2000またはWindows XPでN600i通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- N600i通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
  Windows 98、Windows Meの場合はこのページを参照してください。
  Windows 2000、Windows XPの場合はP.5へ進みます。

● Windows 98／Windows Meの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.4）の操作3でFOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続すると、自動的に「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

Windows 98の場合
「次へ」をクリックする

2 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows 98の場合
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win98」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

Windows 98の場合
「検索場所の指定」をチェックしてフォルダを指定し「次へ」をクリックする
「更新されたドライバ（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N600i」と表示されます。

5 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする

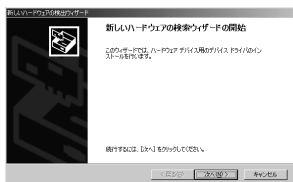
Windows 98の場合
「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。

6 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの5つのドライバ（P.6）をすべてインストールします。
操作5の終了後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.6）に進みます。

● Windows 2000の場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.4）の操作5でFOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続すると、自動的に下の画面が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

5 検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

6 ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N600i」と表示されます。

「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示される場合
「はい」 をクリックしてインストールを続ける（インストール作業および動作には影響ありません）

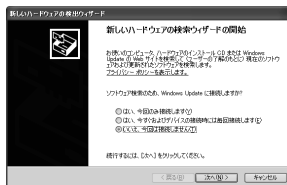
7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

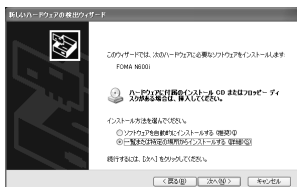
8 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～7を参考にして、残りの3つのドライバ（P.6）をすべてインストールします。
操作7の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.6）に進みます。

● Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.4）の操作3でFOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続すると、自動的に下の画面が表示されます。

2 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。ドライバはWindows 2000と共通です。

「Windowsロゴテストに合格していません」と表示される場合

「続行」 をクリックしてインストールを続ける（インストール作業および動作には影響ありません）

5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

6 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの3つのドライバ（P.6）をすべてインストールします。
操作5の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。「インストールしたドライバを確認する」（P.6）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

N600i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システム」を開く

Windows Meの場合

コントロールパネルに「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする

Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 デバイスマネージャを開く

Windows 98、Windows Meの場合

「デバイスマネージャ」タブをクリックする

Windows 2000、Windows XPの場合

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.16）へ進みます。

(Windows XP)

デバイス名	ドライバ名
ポート（COM／LPT）	・ FOMA N600i OBEX Port
モデム	・ FOMA N600i
ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ、またはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ	・ FOMA N600i ・ FOMA N600i Modem※ ・ FOMA N600i OBEX※

※： Windows 98/Meのみ

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合や、間違って違うOS用の通信設定ファイルをインストールした場合は、アンインストール（P.7）の手順に従ってN600i通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

N600i通信設定ファイルをアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（Windowsをバージョンアップした場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XP を例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、FOMA端末が接続されているというメッセージが表示され、アンインストールを実行できません。
- Windows2000またはWindowsXPでN600i通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 **FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す**

2 **Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する**

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

3 **「FOMA N600i USB」を選択して「変更と削除」をクリックする**

4 **「OK」をクリックしてアンインストールする**

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 **「はい」をクリックしてWindowsを再起動する**

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N600i USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ②CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択
  ③CD-ROM内の「USB Driver」→「Win98」または「Win2000」フォルダを開く
  ④「n600i_un.exe」※をダブルクリックする
  ※お使いのパソコンの設定によっては「n600i_un」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

- FOMA PC設定ソフトを使わずに設定することもできます。→P.16

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.3を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末に APN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。moperaについてはAPN: mopera.ne.jpがcidの1番、mopera UについてはAPN: mopera.netがcidの3番に登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

- N600i通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APNの設定の際、APN情報の取得・書き込みができません。その場合は「ハイパーターミナル」を使って設定します。「接続先（APN）を設定する」→P.18

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- インストールする前に動作環境を確認してください。→P.2
- Windows 2000またはWindows XPで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- 600i シリーズより前に発売された FOMA 端末に添付の「FOMA PC設定ソフト」をインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

2 「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する

3 「FOMA_PCSET」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックする

4 「次へ」をクリックする

セットアップをはじめる前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトおよび旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.8を参照してください。

5 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。

6 「次へ」をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
（参考）：「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックします。
ハードディスクスペースの問題などで、違うドライブにインストールすることもできますが、そのままお進みください。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。

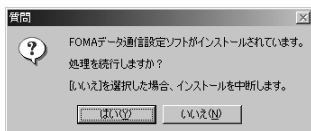
9 「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

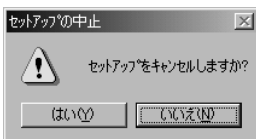
<旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合>

・「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

＜旧APN設定ソフトがインストールされている場合＞

・「はい」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

＜FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合＞

・「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
・古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

＜インストール途中で「キャンセル」を押した場合＞

・インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は、「はい」をクリックします。

各種設定の方法

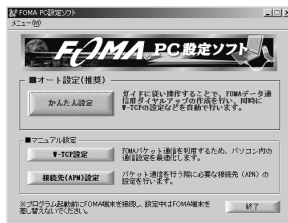
通信設定をする前に、FOMA 端末が FOMA USB接続ケーブル（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上に通信設定ファイルが正しく認識されている必要があります。

● FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、「FOMA PC設定ソフト」は動作しません。

1 「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると下図の操作画面が表示されます。

かんたん設定「mopera U または mopera を利用したパケット通信設定方法」

● 最大 384kbps のパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
パケット通信：受信最大 384kbps、送信最大 64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。
● ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です
● 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

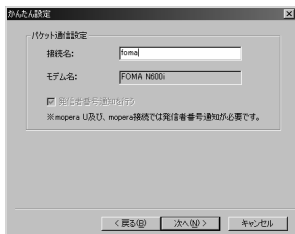
3 「[mopera U]への接続」または「[mopera]への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.10を参照してください。

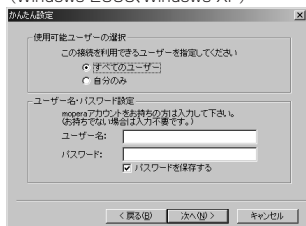
4 「OK」をクリックする

パソコンに接続された FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力し､｢次へ｣をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<> | ”（半角のみ）は使用できません。

6 ユーザー名･パスワードを設定し、｢次へ｣ をクリックする

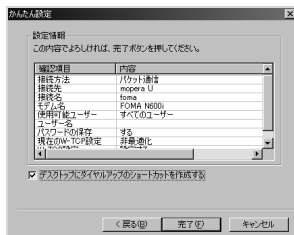
mopera Uまたはmopera接続の場合は､ユーザー名・パスワードについては空欄で接続できます。

(Windows 2000､Windows XP)

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をします。
｢すべてのユーザー｣ を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

7 ｢最適化を行う｣をチェックし､｢次へ｣ をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し､｢完了｣ をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9 ｢OK｣ をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.12

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1 ｢かんたん設定｣ をクリックする

2 ｢パケット通信｣ を選択し、｢次へ｣ をクリックする

3 ｢その他｣ を選択し、｢次へ｣ をクリックする

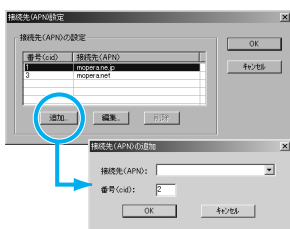
4 ｢OK｣ をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmopera Uに接続するためのAPN:mopera.netとmoperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpが設定されています。

6「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～16番に接続先（APN）を設定してください。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックします。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

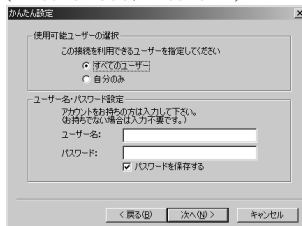
操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

8「接続先（APN）の選択」で接続先（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

＜高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合＞
「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

9 ユーザー名･パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

（Windows 2000、Windows XP）

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

10「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

11 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

12「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.12

設定した通信を実行する

● FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要となります。

1 **デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする**

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows 98／Windows Meの場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」→接続先を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

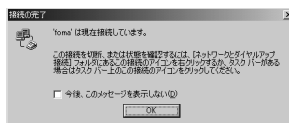
Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

2 **「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する**

mopera Uまたはmoperaを選択した場合は「ユーザー名」･「パスワード」については空欄で接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、接続先によって指示された「ユーザー名」･「パスワード」を入力します。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 **接続されたことを確認し、「OK」をクリックする**

通常の状態で、ダイヤルアップを接続すると、以下のような接続画面が表示されます。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。

● パケット通信中には、通信状態によって FOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送受信なし）

（通信中、データ発信時）

（通信中、データ送受信中）

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする**

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 **「切断」をクリックする**

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

- ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N600i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2）を満たしているかを確認してください。 ・N600i通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・接続先の APN が正しいかどうかを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

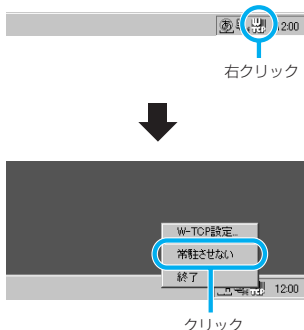
FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

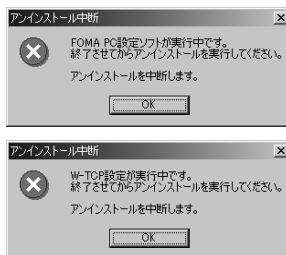
- Windows 2000またはWindows XPで「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックする

(2) 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、次のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックする

Windows 98、Windows Meの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

Windows XPの場合

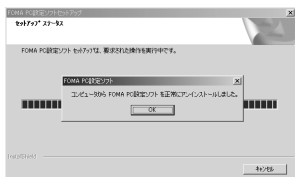
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする

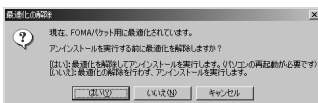
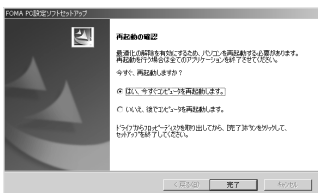
3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 「OK」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

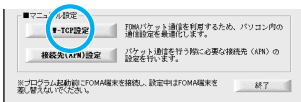
● 「W-TCP最適化」の解除
「W-TCP最適化」がされている場合は下の画面が出ます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

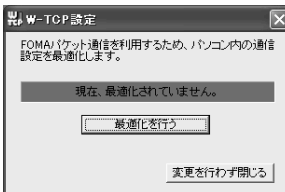
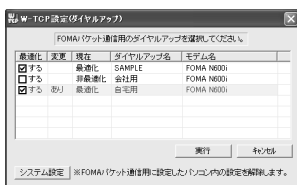
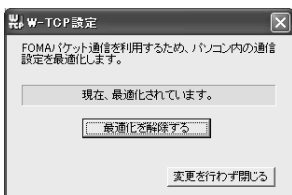
＜Windows XPの場合＞
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 プログラムを起動する

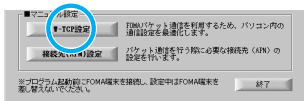
(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

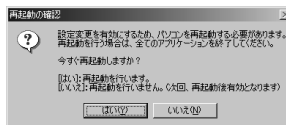
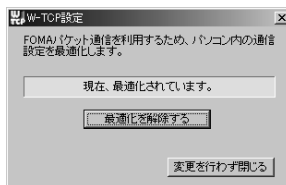
(1) システム設定が最適化されていない場合
「最適化を行う」をクリックする
「W-TCP（ダイヤルアップ）設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

(2) **システム設定が最適化されている場合**
「W-TCP（ダイヤルアップ）設定」画面が表示される。
内容の変更等がある場合は設定を行ってください。

(3) **最適化を解除する場合**
「システム設定」をクリックする
「W-TCP設定」画面が表示されます。
「最適化を解除する」をクリックしてください。

<Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合>

1 プログラムを起動する

(1) **「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合**
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) **タスクトレイから操作する場合**
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

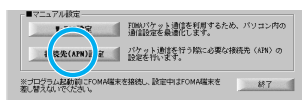
2 以下の操作を行う

(1) **最適化されていない場合**
「W-TCP設定」画面で「最適化を行う」をクリックし、最適化設定を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

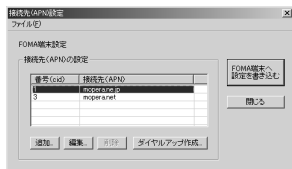
(2) **最適化されている場合**
「W-TCP設定」画面で「現在、最適化されています。」と表示される。
FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックします。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大16件まで設定でき、cid（登録番号）の1～16に登録して管理します。

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- PC上のAPNを継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。
- お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、cid2または4～16に接続先（APN）を設定します。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。
FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して「削除」をクリックする
  cid1とcid3に登録されている接続先（APN）は削除できません（cid3に登録されている接続先(APN)を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックします。接続先（APN）への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックします。
ユーザー名とパスワードを入力して（Windows 2000、Windows XPの場合は使用可能ユーザーの選択をして）［OK］をクリックします。mopera Uまたはmoperaの場合、ユーザー名、パスワードについては空欄でも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。
設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、N600i通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA N600i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.18）で使用します。

接続先について＜APN/cid＞

- パケット通信の接続先には、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPN（P.18）を設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から16の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmopera.ne.jp、cid3にはmopera.netが設定されていますので、cidを設定するときは、2番または4～16番に設定します。※1
- APNは「cid（1～16までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊＜cid番号＞#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		—	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○ （FOMA PC設定ソフトなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。

※2：ほかのインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cid番号の2番または4番以降に登録してください。APNの設定と登録方法について→P.18

● Windows 98/MeでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

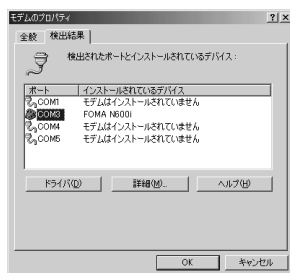
2 コントロールパネル内の「モデム」を開く

コントロールパネルに「モデム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

3 「FOMA N600i」がセットアップされていることを確認し、「検出結果」タブをクリックする

4 「FOMA N600i」が設定されているCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は接続先（APN）の設定（P.18）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

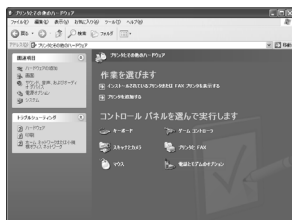
4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N600i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.18）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N600i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.18）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp cid3：mopera.net cid2、4～16：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大16件設定でき、登録番号cid1～cid16（P.16）を付けて管理します。
- cid1にはmoperaに接続するための接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するための接続先（APN）「mopera.net」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2または4～16に設定します。
- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号に使用します。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

Windows 98の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開いた後、「Hypertrm.exe」をダブルクリックする

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N600i」を選択し、[OK] をクリックする

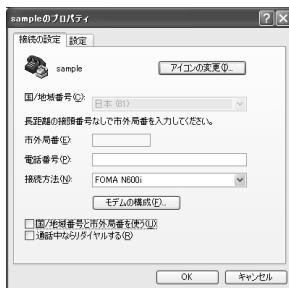
「FOMA N600i」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする

ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N600i」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」（P.16）を参照して確認してください。

「FOMA N600i」のCOMポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

（1） 「ファイル」→「プロパティ」を選択
（2） 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N600i」を選択
（3） 「国 / 地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
（4） 「OK」をクリックする

7 接続先（APN）を入力し、⏎を押す

AT+CGDCONT=<cid>，“PPP”，“APN”の形式で入力する

<cid>： 2、4～16までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

“PPP”： そのまま“PPP”と入力します。

“APN”： 接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

⏎と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「“sample”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.19の操作6以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1⏎と入力すれば、以降に入力するATコマンドが表示されるようになります。

おしらせ

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～16の設定は未登録となります。

<入力方法>

AT+CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

・現在の設定内容を表示させせます。

<入力方法>

AT＋CGDCONT? ↵

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmoperaに接続する場合を例に説明しています。
- mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。

発信者番号の通知／非通知の設定について

パケット通信を行うときに、発信者番号の通知／非通知設定（接続先にお客様の電話番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。電話番号はお客様の大切な情報なので、発信者番号を通知する際には十分にご注意ください。

ダイヤルアップの接続先番号に186（通知する）／184（通知しない）を付けることで設定します（例：184＊99＊＊＊1＃）。通知／非通知の設定をしない場合は、接続先にお客様の発信者番号が通知されます。

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

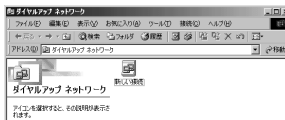
Windows 98、Windows Meでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」の順に開く

2 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

この画面はダイヤルアップネットワークをはじめて起動したときのみ表示されます。「次へ」をクリックして操作4に進んでください。

2回目以降は、この画面は表示されず、操作3の「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ダイヤルアップネットワーク内の「新しい接続」をダブルクリックする

4 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

「モデムの選択」欄が「FOMA N600i」になっていることを確認します。「FOMA N600i」になっていない場合は、「FOMA N600i」を選択します。

5 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

「市外局番」欄には何も入力しません。

画面はパケット通信でmoperaへ接続する場合の例です。

6 接続名（任意の名前）を確認し、「完了」をクリックする

7 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

8 「全般」タブで「電話番号」および「接続方法」を確認する

「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外す

「接続方法」欄が「FOMA N600i」になっていることを確認します。「FOMA N600i」になっていない場合は、「FOMA N600i」を選択します。

画面はパケット通信でmoperaへ接続する場合の例です。

9 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択する

「使用できるネットワークプロトコル」欄は「TCP／IP」のみをチェックします。

Windows 98の場合

「サーバーの種類」タブをクリックして各種設定を行う
「ダイヤルアップサーバーの種類」欄には「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択してください。
「使用できるネットワークプロトコル」欄は「TCP／IP」のみをチェックします。

10 「セキュリティ」タブをクリックして設定を確認、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄で接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

Windows 98の場合

「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

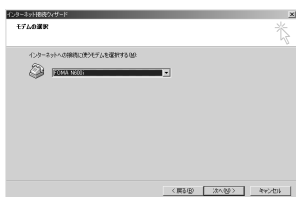
6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N600i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

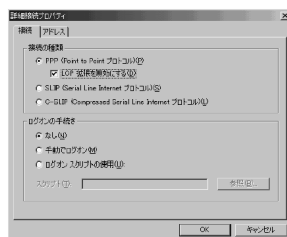
「FOMA N600i」になっていない場合は、「FOMA N600i」を選択する

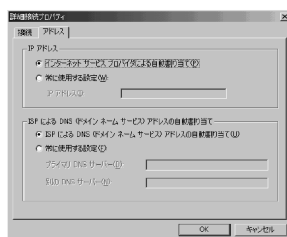
「FOMA N600i」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmoperaへ接続する場合の例です。

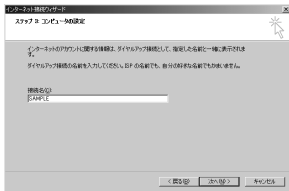
11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄で接続できます。mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17 「完了」をクリックする

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする

19 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N600i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

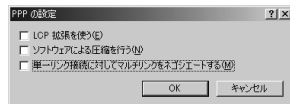
画面はパケット通信でmoperaへ接続する場合の例です。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

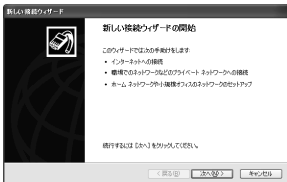
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP／IP）」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N600i（COM x）」のみを選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
（COMx）は、「COMポートを確認する」（P.16）で表示されるCOM ポートの番号です。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

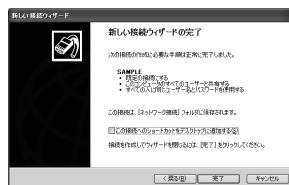
8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmoperaへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄で接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N600i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択する

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP／IP)」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

- パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送受信なし）
（通信中、データ発信時）
（通信中、データ送受信中）

<例：Windows Meの場合>

1 FOMA USB接続ケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.3

2「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択し、「ダイヤルアップネットワーク」を開く

3 接続先のアイコンを選択し、「接続」を開く

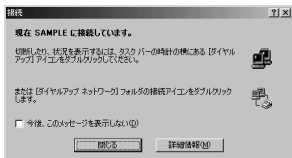
4 各項目を確認し、「接続」をクリックする

「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄で接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認やログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞

ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

＜例：Windows XPの場合＞

1 FOMA USB接続ケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.3

2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

3 接続先を開く

P.24の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

以下の画面はmoperaに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄で接続できます。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、次のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。
通信状態については、P.25を参照してください。

こんなときは

- ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N600i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2）を満たしているかを確認してください。 ・N600i通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・接続先の APN が正しいかどうかを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする**

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 **「切断」をクリックする**

おしらせ
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[＆F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N600i（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT&Cn [&F]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n＝0：CDは常にON n＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [&F]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	n＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） n＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる n＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&Fn	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT+CBST [&F]	回線接続時のベアラサービス設定を行います。	書式： AT+CBST=<speed>,<name>,<ce> <speed>116：64000 bps(初期値) 131：32000 bps 134：64000 bps <name> 1：data circuit synchronous (UDI or 3.1 kHz modem)(初期値) <ce> 0：transparent(初期値) 本コマンドは、+FCLASS=0の時のみ有効です。	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0
AT+CBC	バッテリの状態を表示します。	リザルト：+CBC <bcs> <bcl> <bcs> 0：FOMA端末にバッテリから電源が供給されている 1：FOMA端末にバッテリから電源が供給されていない 2：FOMA端末がバッテリに接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 <bcl> 0～100：バッテリ残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.34	P.34

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN= [パラメータ] (P.34) AT+CGEQMIN=? :設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? :現在の設定値を表示する	P.34
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。	AT+CGEQREQ = [パラメータ] (P.34) AT+CGEQREQ=? :設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? :現在の設定値を表示する	P.34
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=n [&F]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内/圏外を表示します。	n=0: 通知なし(初期値) n=1: 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? : 現在の設定値を表示する +CGREG:<n>,<stat> n :設定値 stat: 0:パケット圏外 1:パケット圏内 4:不明 5:パケット圏内	AT+CGREG=1 OK(通知ありに設定) AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG: (0,1) OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	−	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=n [&F]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0: ERRORリザルトを用いる(初期値) n=1: +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n=2 :+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? : 現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1:no connection to phone 10:SIM not inserted 15:SIM wrong 16:incorrect password 100:unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	number:電話番号 type : 129または145 129 : 国際アクセスコード+を含まない 145 : 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト:+CPAS:<pas> <pas> 0: FOMA端末は制御信号の送受信が可能 1: FOMA端末は制御信号の送受信が不可能 2: 不明(制御信号の送受信は保証されない) 3: FOMA端末は制御信号の送受信が可能で着信中 4: FOMA端末は制御信号の送受信が可能で通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態 (PIN1ロック解除コード入力可) +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態 (PIN2ロック解除コード入力可) 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678","1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=n [&F]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n＝0：表示しない（初期値） n＝1：表示する <serv>：パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する （回線種別により“SYNC”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR＝1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [&F]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n＝0：+CRINGを使用しない（初期値） n＝1：+CRING.<type>を使用する AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK
AT+CREG=n [&F]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	n＝0：通知なし（初期値） n＝1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<n>,<stat> n ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK (通知ありに設定) AT+CREG? +CREG ：1,0 OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CREG ：1
AT+GMI	メーカ名（NEC）を表示します。	－	AT+GMI NEC OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CUSD [&F]	USSD信号を送出してネットワークサービスの設定変更や設定内容の確認をします。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>",<dcs> <n> 0: 中間リザルト＜m＞[<str>,<dcs>]を送出しない(初期値) 1: 中間リザルト＜m＞[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト <m>0: 設定完了 1: ネットワークから情報要求あり <str> 0～9、#、＊のみUSSDとして許容します。＜str＞は" "で囲んでください。 <dcs> 0のみ入力できます(省略可)。	AT+CUSD=0, "xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,＊148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=n	モード設定を行います。	n=0: データ（初期値）	AT+FCLASS=0 OK AT +FCLASS? 0
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMAN600i）を表示します。	－	AT+GMM FOMAN600i OK
AT+GCAP	追加コマンドの一覧を表示します。	－	AT+GCAP +GCAP:+CGSM, +FCLASS, +W OK AT+GCAP? ERROR AT+GCAP=? OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [&F]	フロー制御方式を選択します。	n ：DCE by DTE m ：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS (RTS/CTS) フロー制御 初期値はn,m =2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2)，(0,1,2) OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid># ：パケット通信 <cid> 1 ～ 16：+ CGDCONT 設定したAPNを表す	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [&F]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n＝0 ：エコーバックなし n＝1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATHn	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	n＝0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATIn	認識コードを表示します。	n＝0：「NTT DoCoMo」を表示する n＝1：製品名を表示する（+GMMと同じ） n＝2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） n＝3：ACMP信号の各要素を表示する n＝4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N600i OK
ATOn	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n＝0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [&F]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n＝0 ：リザルトコードを表示する（初期値） n＝1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=n [&F]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n＝0 ：自動着信しない（初期値） n＝1-255：指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS3=n [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n＝13 ：初期値（n=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n＝10 ：初期値（n=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n＝8 ：初期値（n=8のみ指定可） ATS5? ：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=n [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	n=2～10 （初期値は5）（単位：秒） ATS6?：現在の設定値を表示する ※本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS7=n [&F]	発信時、設定時間以内に接続できなければ、回線を切断します。	n＝1～120 （初期値は60）（単位：秒） 121～255の指定は120とみなす ATS7?：現在の設定値を表示する	ATS7=60 OK ATS7? 060 OK
ATS8=n [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	n=0：ポーズしない n=1～255 （初期値は3）（単位：秒） ATS8?：現在の設定値を表示する ※本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS10=n [&F]	自動切断遅延時間設定 (1/10秒)	n=1～255 (初期値は1)(単位:10分の1秒) ATS10?:現在の設定値を表示する ※本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10=? ERROR
ATVn [&F]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0: リザルトコードを数値で返送する n=1: リザルトコードを文字で返送する(初期値)	ATV1 OK
ATXn [&F]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0: ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし n=1: ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり n=2: ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり n=3: ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり n=4: ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり(初期値)	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	(オンラインコマンドモード時) ATZ NO CARRIER (オフラインコマンドモード時) ATZ OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
- ATT（トーン設定）
- ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※：1～16

<APN>※：任意

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～16が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～16に設定します。<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての <cid> に対し初期値を設定します。

+CGDCONT=<cid>：指定された <cid> を初期値に設定します。

+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"

OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※　：1～16

<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）

<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～16が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～16に設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。

(1) 上り / 下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2) 上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64,384
OK

(3) 上り 64kbps/ 下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,64
OK

(4) 上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,384
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1～16

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～16が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～16に設定します。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQREQ=<cid>：指定された <cid> を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。

上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）

AT+CGEQREQ=2

OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.18）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、

ATZ ↵

と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
121	CONNECT 32000	FOMA端末－基地局間速度32,000bpsで接続しました。
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATVnコマンド（P.33）がn＝1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n＝0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとのパソコンでの処理上の互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥Vnコマンド（P.33）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
PACKET mopera.ne.jp /64/384

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。ATX1、AT¥V0を設定した状態（初期値）でのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

リクエストの内容に関する切断理由は、以下のとおりです。

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。